

## 市民協働に関するアンケート

## ＝ 調査結果報告書 ＝

<b>1. 調査概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査の概要 .....	1
(3) 報告書の見方 .....	1
<b>2. 回答者の属性</b> .....	<b>3</b>
(1) 性別 .....	3
(2) 年齢 .....	4
(3) 職業 .....	5
(4) 家族構成 .....	6
(5) 中学校区 .....	8
(6) 居住年数 .....	10
<b>3. 地域活動(町内会等)</b> .....	<b>11</b>
(1) 町内会への加入状況 .....	11
(2) 町内会へ加入していない理由 .....	13
(3) 地域活動への参加状況 .....	15
(4) 地域活動の必要性 .....	17
(5) 地域活動の状況 .....	18
(6) 地域活動の改善点 .....	20
(7) 町内会が担う役割 .....	22
<b>4. 市民活動(ボランティア・NPO等)</b> .....	<b>24</b>
(1) 市民活動(ボランティア・NPO等)への参加状況 .....	24
(2) 参加した活動分野 .....	26
(3) 参加したい活動分野 .....	27
(4) 活動に参加できるための条件 .....	28
(5) 「町内会」と「ボランティア・NPO等」の役割分担 .....	29
<b>5. 条例の認知度</b> .....	<b>30</b>
(1) 自治基本条例 .....	30
(2) 市民参加条例 .....	31
<b>6. 市民の意見の反映状況</b> .....	<b>32</b>
(1) 市民の意見の反映状況 .....	32
(2) 市民の意見を反映させる方法 .....	33
(3) 市民参加の機会 .....	34
(4) 市政への参加 .....	35

<b>7. 協働の機会、内容、方法</b> .....	<b>36</b>
(1) 「市民協働」の認知度 .....	36
(2) 「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」の認知度 .....	37
(3) 「市民協働推進条例」への関心 .....	38
(4) 「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」への期待 .....	39
(5) 市民及び安城市の役割 .....	40
(6) 「協働のまちづくり」の推進方策 .....	42
<b>8. 公共施設の利用</b> .....	<b>44</b>
(1) 公共施設の利用状況 .....	44
(2) 活動しやすい公共施設の運営 .....	46
<b>9. 自由意見</b> .....	<b>47</b>
<b>10. 調査票</b> .....	<b>59</b>

# 1

## 調査概要

### (1) 調査の目的

本調査は、市民が主役の自治の実現を目指し行っている「協働に関する指針」策定の基礎資料にするとともに、協働によるまちづくりを推進する各施策へ市民の意見を反映することを目的として実施しました。

### (2) 調査の概要

調査対象は、安城市に在住の16歳以上の男女の中から無作為に抽出した2,000名を対象に配布・回収を行い、平成23年7月1日から7月15日までを調査期間として実施しました。

配布数2,000票に対し回収数は1,035票、回収率は51.8%でした。このうち無効票（回答のないもの）が2票あり、有効回収数は1,033票、有効回収率は51.7%となりました。

表1-1 配布・回収結果

調査対象	安城市在住の16歳以上の男女
抽出方法	無作為抽出
調査方法	行政連絡員による配布と郵送による回収
調査時期	平成23年7月
配布数	2,000票
回収数	1,035票
回収率	51.8%
無効票数	2票（無回答）
有効回収数	1,033票
有効回収率	51.7%

### (3) 報告書の見方

○グラフは、帯グラフ、ダンゴグラフの2種類を必要に応じて使い分けています。具体的には、単数回答の単純集計、クロス集計結果には横帯グラフを使用し、複数回答のクロス集計にはダンゴグラフを使用しています。

○図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は100.0%になりません。

○グラフ内の「N=〇〇」は、その回答母数を表しています。

- 一部のグラフについて、クロス集計上の「回答なし」を省略しているものがあります。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。
- 性別・年齢別などクロス集計の結果については、全体と比較しておよそ±5%以上の差異がある場合に、分析結果を言及しています。

# 2

## 回答者の属性

### (1) 性別

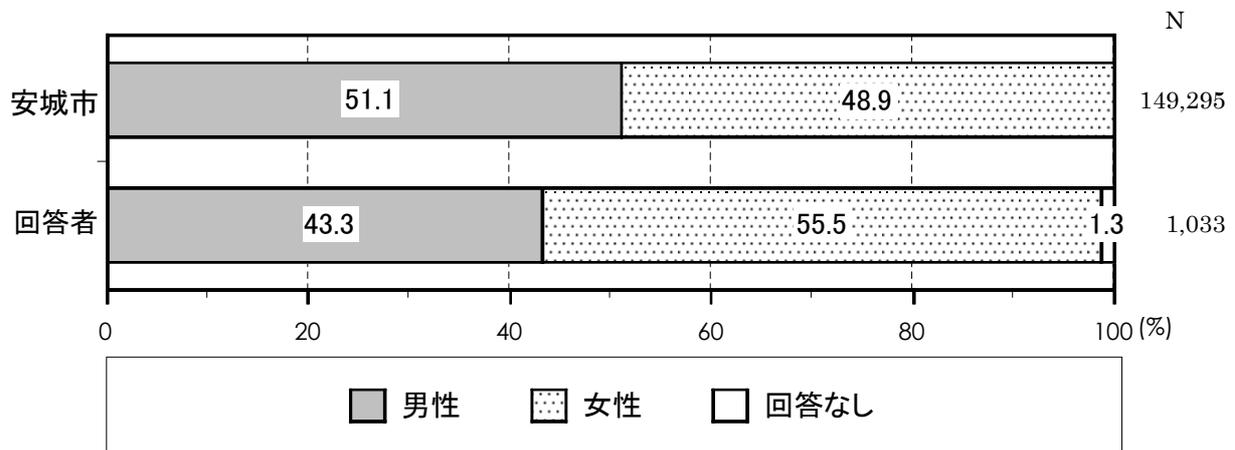
問1 あなたの性別をお答えください。【〇は1つ】

◆回答者の性別は、「男性」が43.3%、「女性」が55.5%と、女性が男性を上回っています。

○回答者の性別は、「男性」が43.3%、「女性」が55.5%と、女性の割合が高くなっており、女性の関心が高い傾向が伺えます。

○安城市の男女の構成割合(住民基本台帳：平成23年4月1日現在)は、「男性」が51.1%、「女性」が48.9%であり、回答者の性別と比較すると男性で7.8ポイント低く、女性で6.6ポイント高くなっています。

図2-1 性別



## (2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。【〇は1つ】(平成23年4月1日現在)

◆回答者の年齢は、若年者層(10歳代・20歳代・30歳代)で33.0%、壮年者層(40歳代・50歳代)で42.7%、高齢者層で24.0%となっています。

○安城市の年齢構成は、「10歳代」が5.0%、「20歳代」が15.2%、「30歳代」が20.2%で、これらを合わせた若年者層は40.4%となっています。

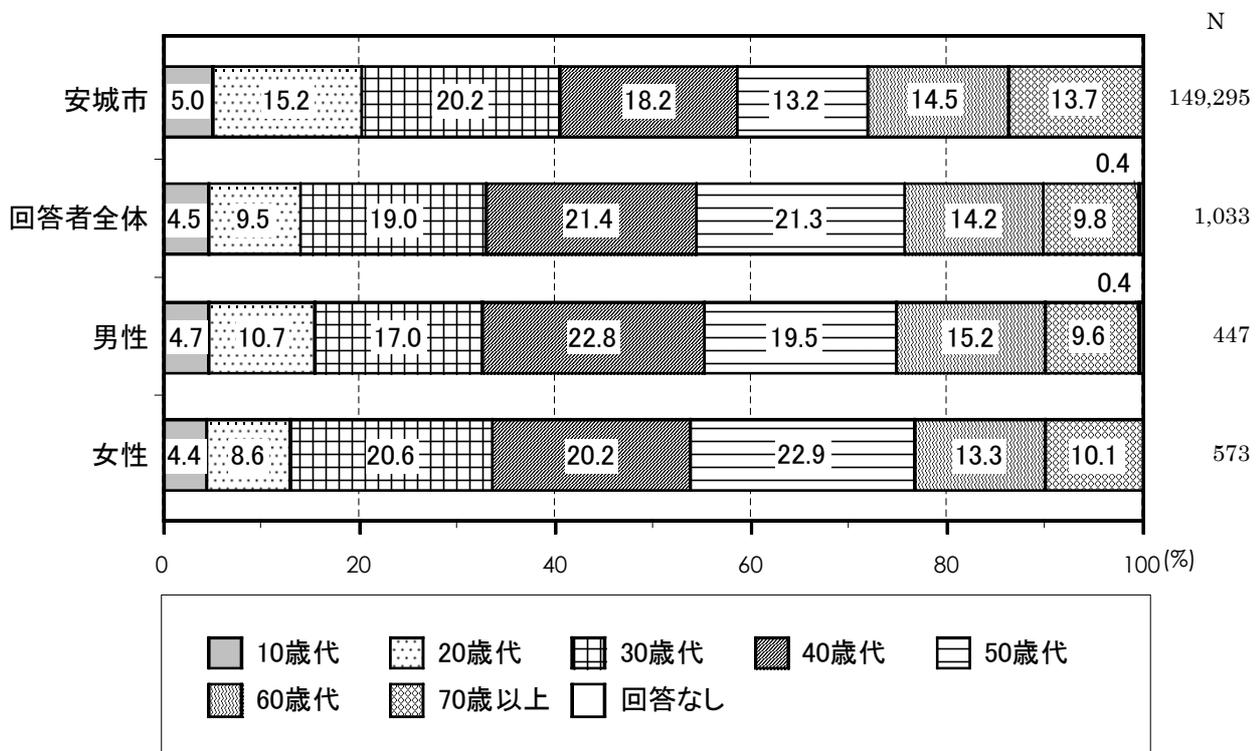
○壮年者層は、「40歳代」が18.2%、「50歳代」が13.2%で、これらを合わせ31.4%となっています。

○高齢者層は、「60歳代」が14.5%、「70歳以上」が13.7%で、これらを合わせ28.2%となっています。

○回答者の年齢傾向を安城市の年齢構成と比較すると、“若年者層”で7.4ポイント低く、“壮年者層”で11.3ポイント高くなっており、働き盛りの40歳代、50歳代からの回答が多くなっています。

○性別でみると、女性の30歳代、50歳代、70歳以上で男性よりも回答割合がやや高くなっていますが、男性女性の各回答数の差からでは性別の違いによる回答者の年齢構成に大きな差はみられません。

図2-2 年齢



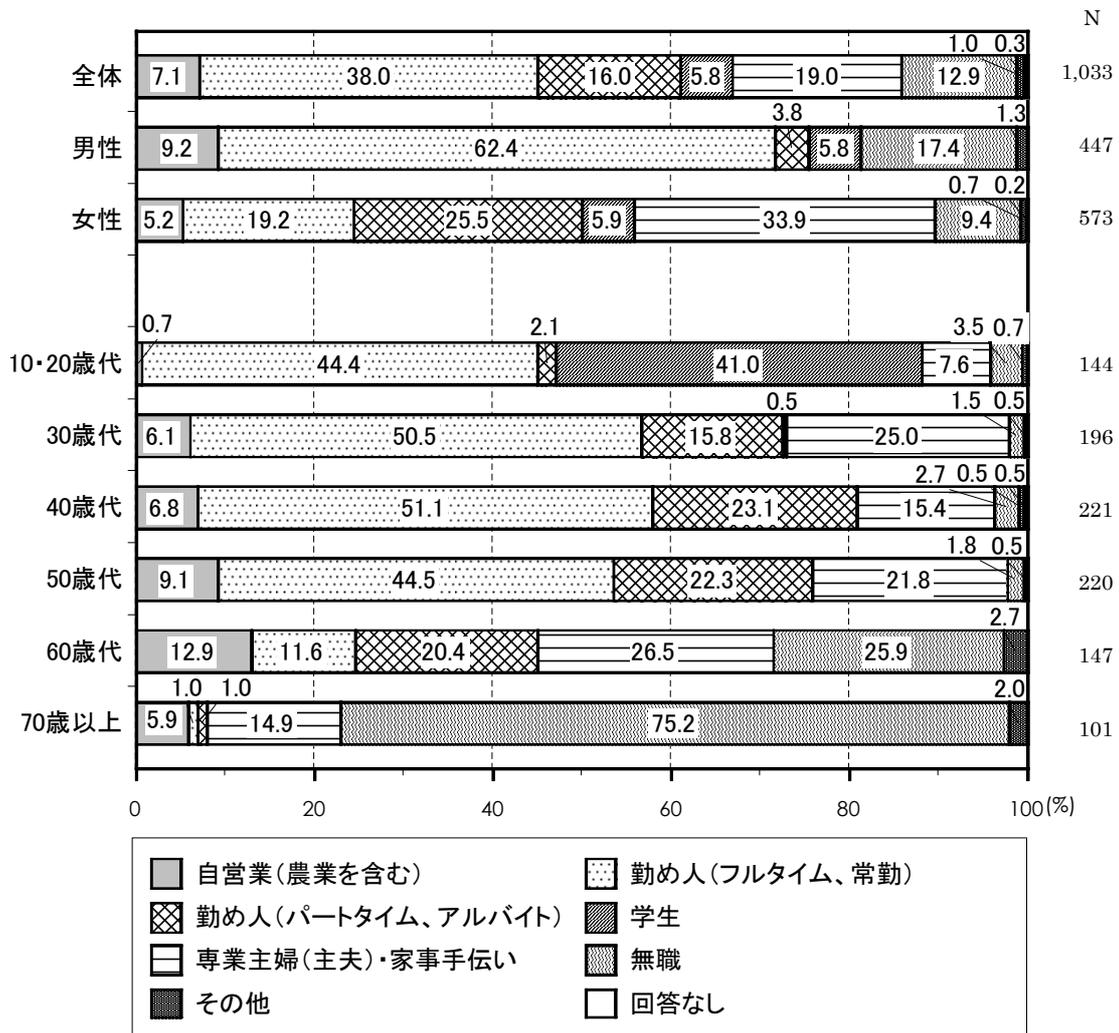
### (3) 職業

問3 あなたの主な職業についてお答えください。【〇は1つ】

◆就業者の割合は61.1%と非就業者の37.7%を上回っており、特に「勤め人(フルタイム、常勤)」が全体の38.0%を占め最も多くなっています。

- 回答者の職業については、「勤め人(フルタイム、常勤)」が38.0%と最も多くを占め、次いで、「専業主婦(主夫)・家事手伝い」が19.0%、「勤め人(パートタイム、アルバイト)」が16.0%、「無職」が12.9%となっています。
- 「専業主婦(主夫)・家事手伝い」と「無職」、「学生」(5.8%)を合わせた“非就業者”は37.7%を占めています。また、この“非就業者”(37.7%)と「その他」(1.0%)、「回答なし」(0.3%)を除いた、61.1%が「自営業(農業を含む)」(7.1%)などを含めた“就業者”となっています。
- 性別でみると、男性の75.4%が“就業者”であり、一方で女性においては、“就業者”が49.9%、“非就業者”が49.2%と半々になっています。
- 年齢別にみると、“10・20歳代”では「勤め人(フルタイム、常勤)」と「学生」がそれぞれ44.4%と41.0%でともに高く、40歳以上では年齢が高くなるにつれて、“就業者”の割合が低くなり、“非就業者”の割合が高くなっています。

図2-3 職業



## (4) 家族構成

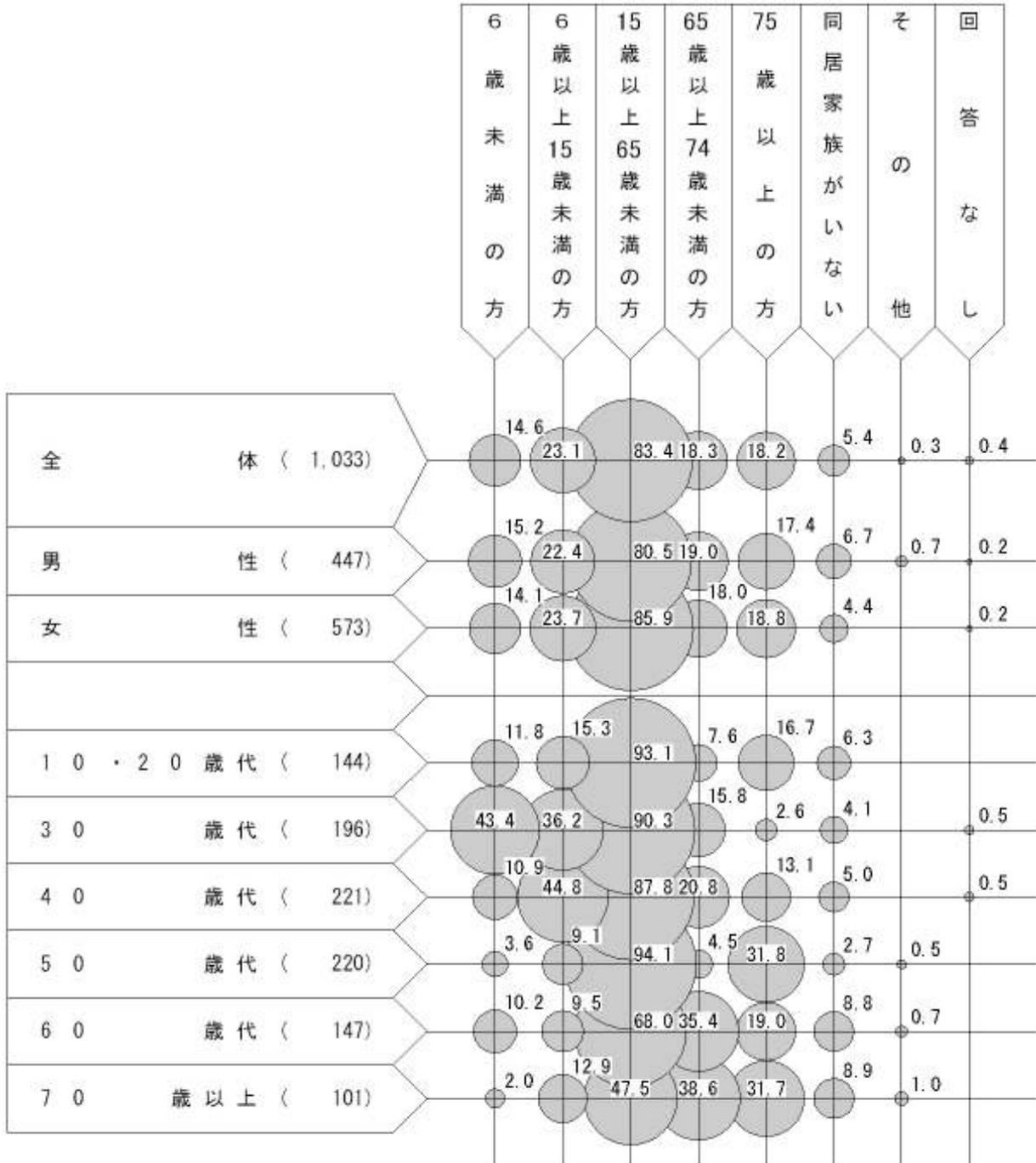
**問4** あなた以外の同居家族の年齢構成をお答えください。【すべてに○】

(平成23年4月1日現在)

**◆就学前の子どもとの同居は主に“30歳代”で、小中学生との同居は“40歳代”において割合が多くなっています。また、高齢単身世帯は、1割弱となっています。**

- 回答者の同居家族について年齢別で見ると、“10・20歳代”では、いわゆる就学前の子どもである「6歳未満の方」が11.8%、親や配偶者との同居が考えられる「15歳以上65歳未満の方」の割合も他の年齢層に比べて若干多くなっています。
- “30歳代”では、「6歳未満の方」が43.4%、「6歳以上15歳未満の方」が36.2%と、中学生以下の家族との同居が他の家族よりも多くなっています。
- “40歳代”では、「6歳以上15歳未満の方」が44.8%、「65歳以上74歳未満の方」が20.8%、「75歳以上の方」が13.1%と比較的幅広い世代と同居しています。
- “50歳代”では、後期高齢者である「75歳以上の方」との同居が31.8%と他の世代よりも若干多くなっています。
- “60歳代”・“70歳以上”の「同居家族がない」高齢単身世帯は、それぞれ8.8%、8.9%と他の年代よりも若干高く、1割弱となっています。

図2-4 同居家族



## (5) 中学校区

**問5** あなたが現在お住まいの中学校区はどこですか。【〇は1つ】  
 中学校区がわからない場合は、ご住所をお書きください。

◆全般的にみると、学区の違いによって回答者の年齢構成・年齢層に大きな差はみられません。

○回答者が居住する中学校区については、「安城北中学校」が18.0%で最も高く、次いで、「安城西中学校」が15.5%、「安城南中学校」が13.2%、「桜井中学校」が12.6%となっています。

○中学校区別の回答者の年齢構成をみると、「10歳代」では“安城西中学校”の7.5%が最も多く、「20歳代」では“明祥中学校”で(15.6%)、「30歳代」では“安城西中学校”と“安祥中学校”でそれぞれ21.3%、「40歳代」では“明祥中学校”で29.7%、「50歳代」では“安城北中学校”で27.4%、「60歳代」では“東山中学校”で20.0%、「70歳代」では“安城北中学校”で11.84%が高くなっています。

○中学校区別の回答者の年齢層は、“安城南中学校”で「若年者層」が全体に比べ5.1ポイント低く、「壮年者層」で6.6ポイント高くなっています。また、“東山中学校”で「若年者層」が5.0ポイント低く、「高齢者層」が7.2ポイント高くなっています。

図2-5 中学校区

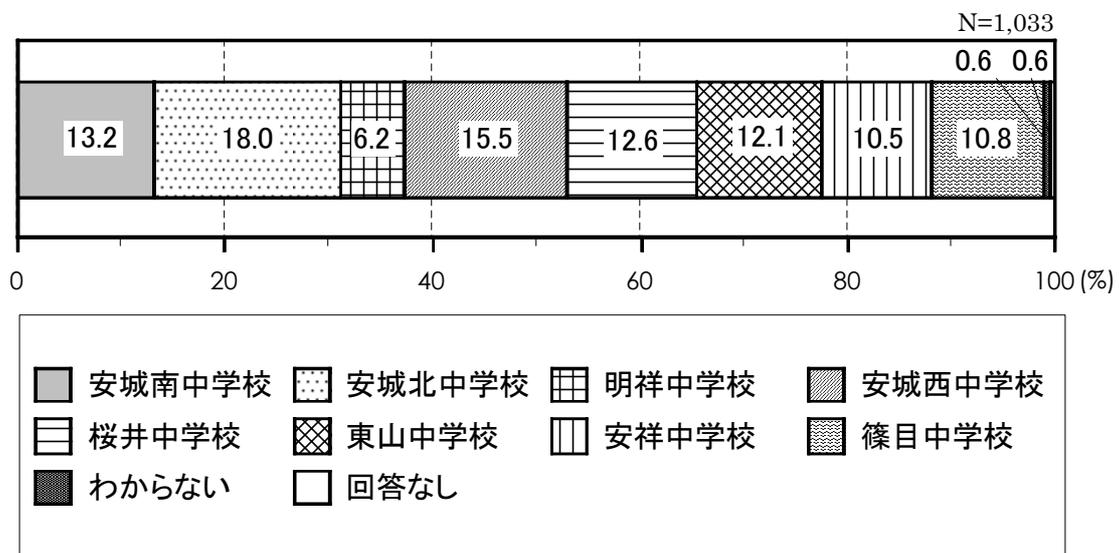
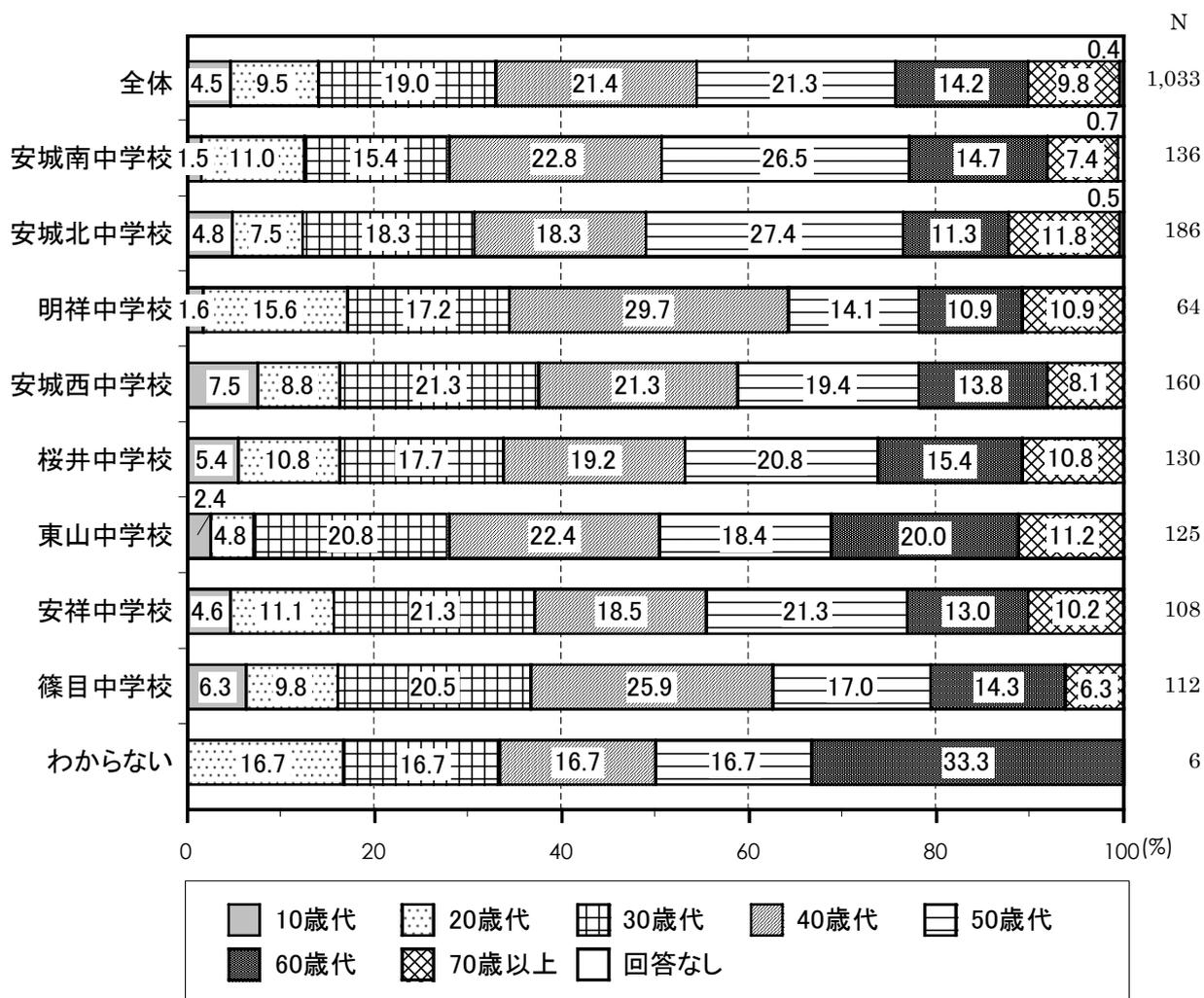


図2-6 中学校区別「年齢」



## (6) 居住年数

問6 安城市にお住いになって何年ですか。【〇は1つ】

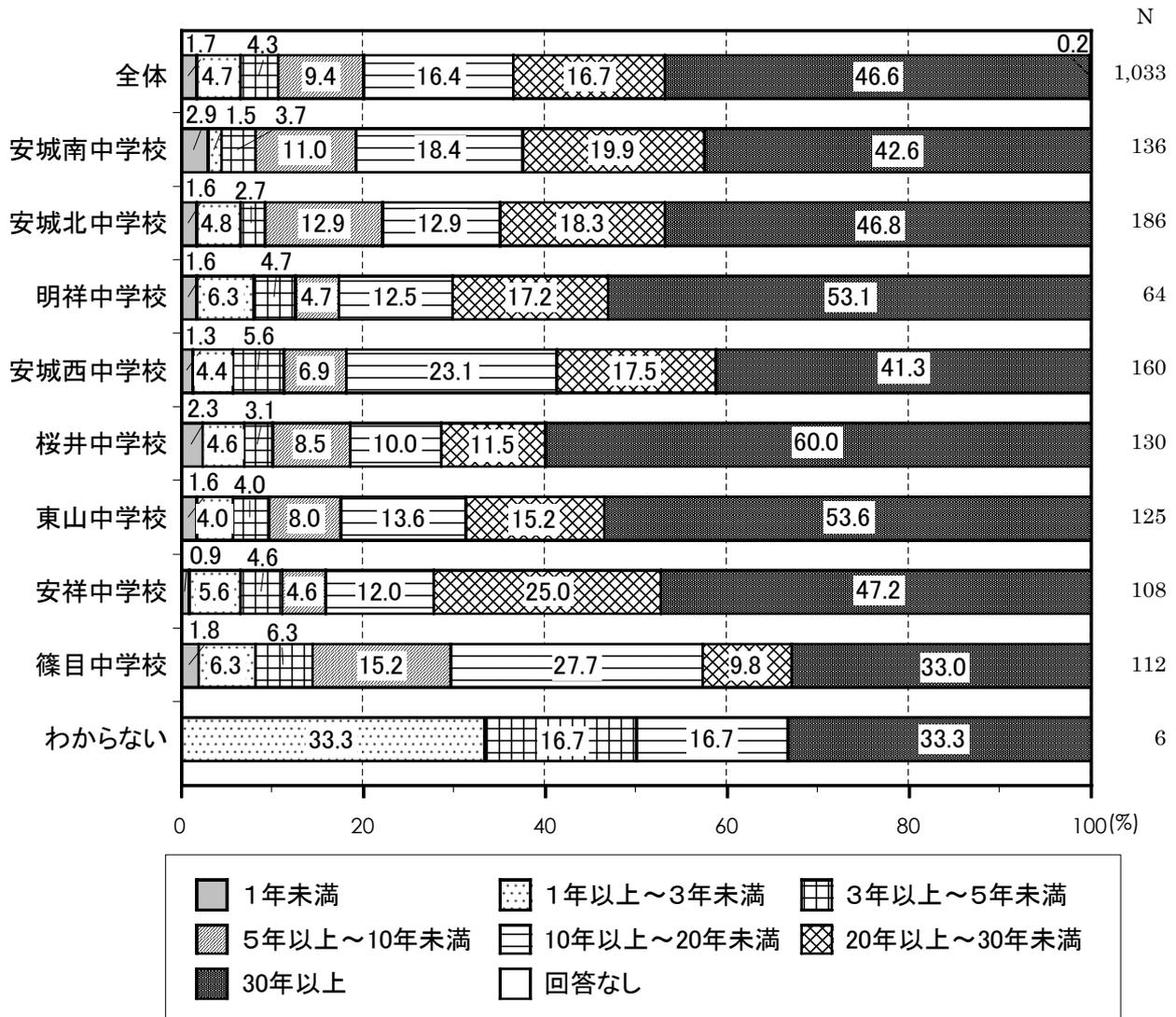
◆安城市に「30年以上」居住している方は46.6%を占めています。特に“桜井中学校”で60.0%と半数を超えています。

○居住年数については、「30年以上」が46.6%と約半数を占め最も多くなっています。次いで、「20年以上～30年未満」が16.7%、「10年以上～20年未満」が16.4%と続いています。

○居住年数が「10年未満」という、比較的最近になって安城市に居住するようになった市民は20.1%と、5人に1人程度の割合となっています。

○中学校区別にみると、“桜井中学校”で「30年以上」の占める割合が60.0%と他の中学校区よりもやや多くなっています。逆に“篠目中学校”では、「10年未満」(29.6%)や「10年以上～20年未満」(27.7%)、“安城西中学校”では「10年以上～20年未満」(23.1%)といった、居住年数が少ない市民が多くなっています。

図2-7 居住年数



# 3

## 地域活動（町内会等）

### （1）町内会への加入状況

**問7** あなた（あるいはご家族）は、町内会に加入していますか。【〇は1つ】

◆町内会に「加入している」人は、約9割と非常に多くの方が加入しています。また、若年者層（10～30歳代）や居住年数が5年未満で「加入している」人が少なくなっています。

○町内会への加入については、「加入している」が88.5%と非常に高く、「加入していない」は9.5%と1割に満たない状況です。

○居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど「加入している」の割合は高くなっていきますが、「5年未満」では、「加入している」（64.9%）が7割を下回っています。

○年齢別でみると、「10・20歳代」で77.8%、「30歳代」で82.7%と他の年齢に比べ低くなっています。

○中学校区別にみると、「明祥中学校」（90.6%）、「桜井中学校」（93.1%）、「東山中学校」（91.2%）、「篠目中学校」（91.1%）で9割を超えています。

図3-1 居住年数別「町内会」

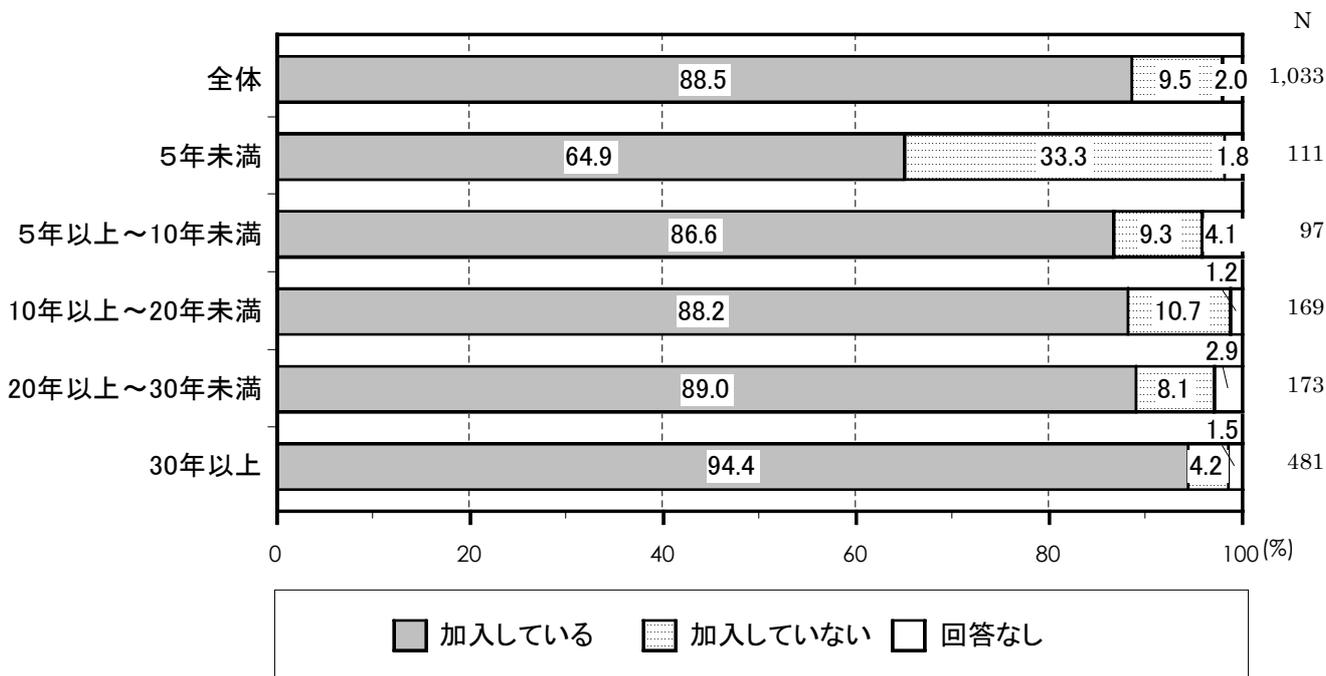
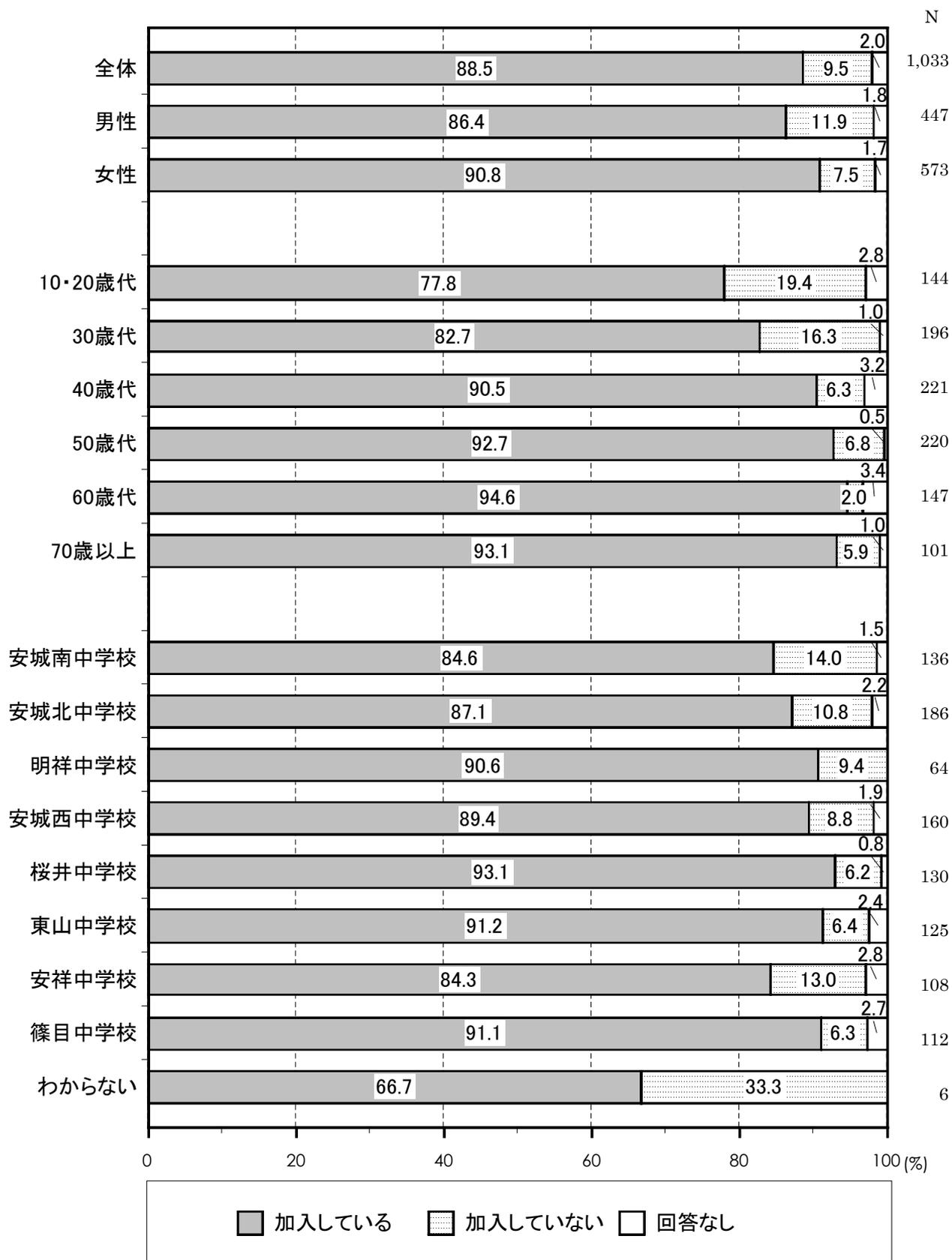


図3-2 性別・年齢別・中学校区別「町内会」



## (2) 町内会へ加入していない理由

【問7で「2. 加入していない」と回答した方へおたずねします。】

問7-1 あなたが町内会に加入していない理由は何ですか。【〇は1つ】

◆町内会に加入していない理由としては、「役や当番をこなすのが時間的に困難だから」が24.5%で最も多くなっています。加入している人が少ない“10・20歳代”では、町内会活動そのものに疑問をもっています。

○町内会に加入していない理由としては、「役や当番をこなすのが時間的に困難だから」が24.5%で最も多く、次いで「加入する方法がわからないから」が16.3%、「加入する意義が感じられないから」が15.3%と続いています。

○居住年数別については、“5年未満”では、「現住所に長く住むつもりがないから」(21.6%)を、“5年以上～10年未満”では「加入する方法がわからないから」(33.3%)を、“10年以上～20年未満”では「加入する意義が感じられないから」(33.3%)を、“20年以上～30年未満・30年以上”では「役や当番をこなすのが時間的に困難だから」(35.7%・30.0%)を町内会に加入していない主な理由としています。

○年齢別でみると、前問で「加入している」人が少なかった、“10・20歳代”では、「加入する意義が感じられないから」が25.0%で最も多く、町内会活動そのものに疑問をもっている人が多くなっています。“30歳代”では「加入する方法がわからないから」が21.9%と加入に前向きな意見が多くなっています。

図3-3 居住年数別「町内会へ加入していない理由」

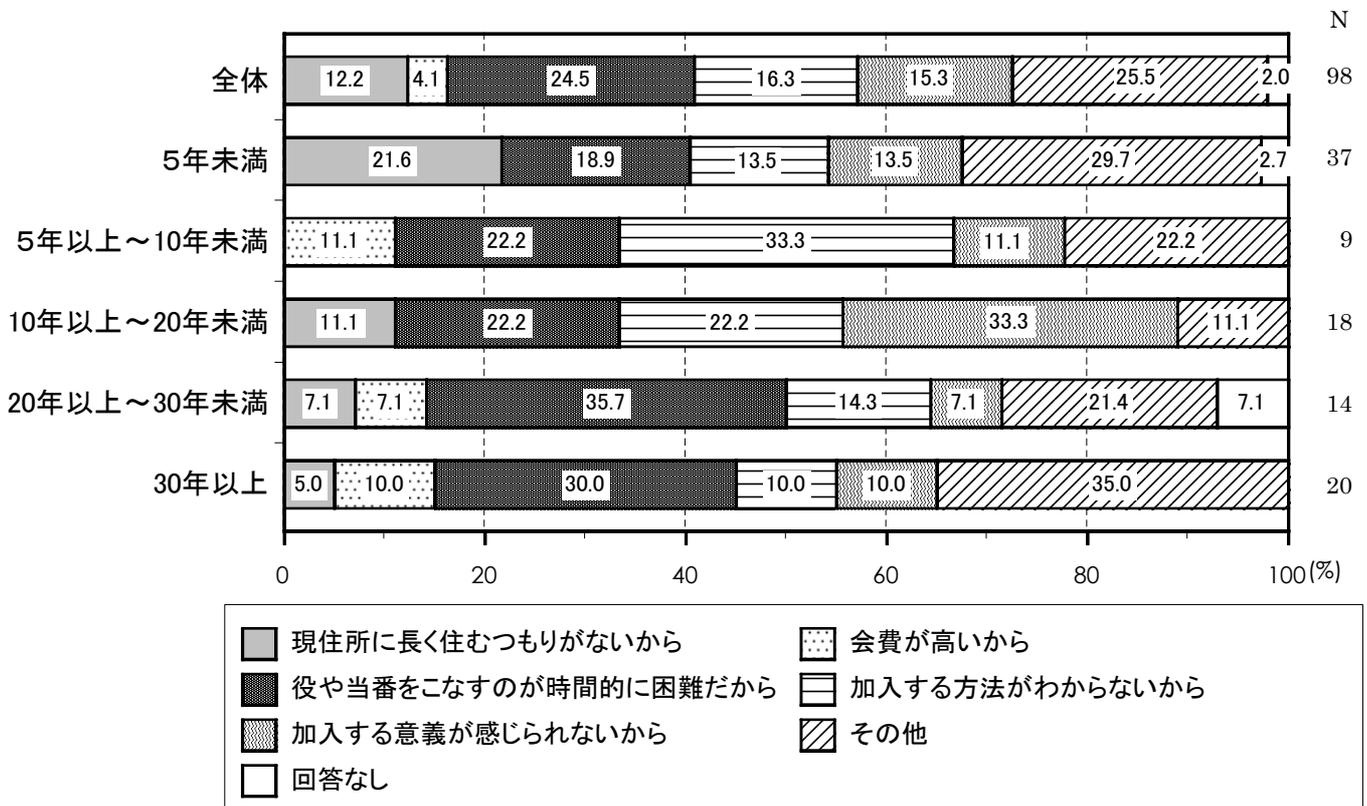
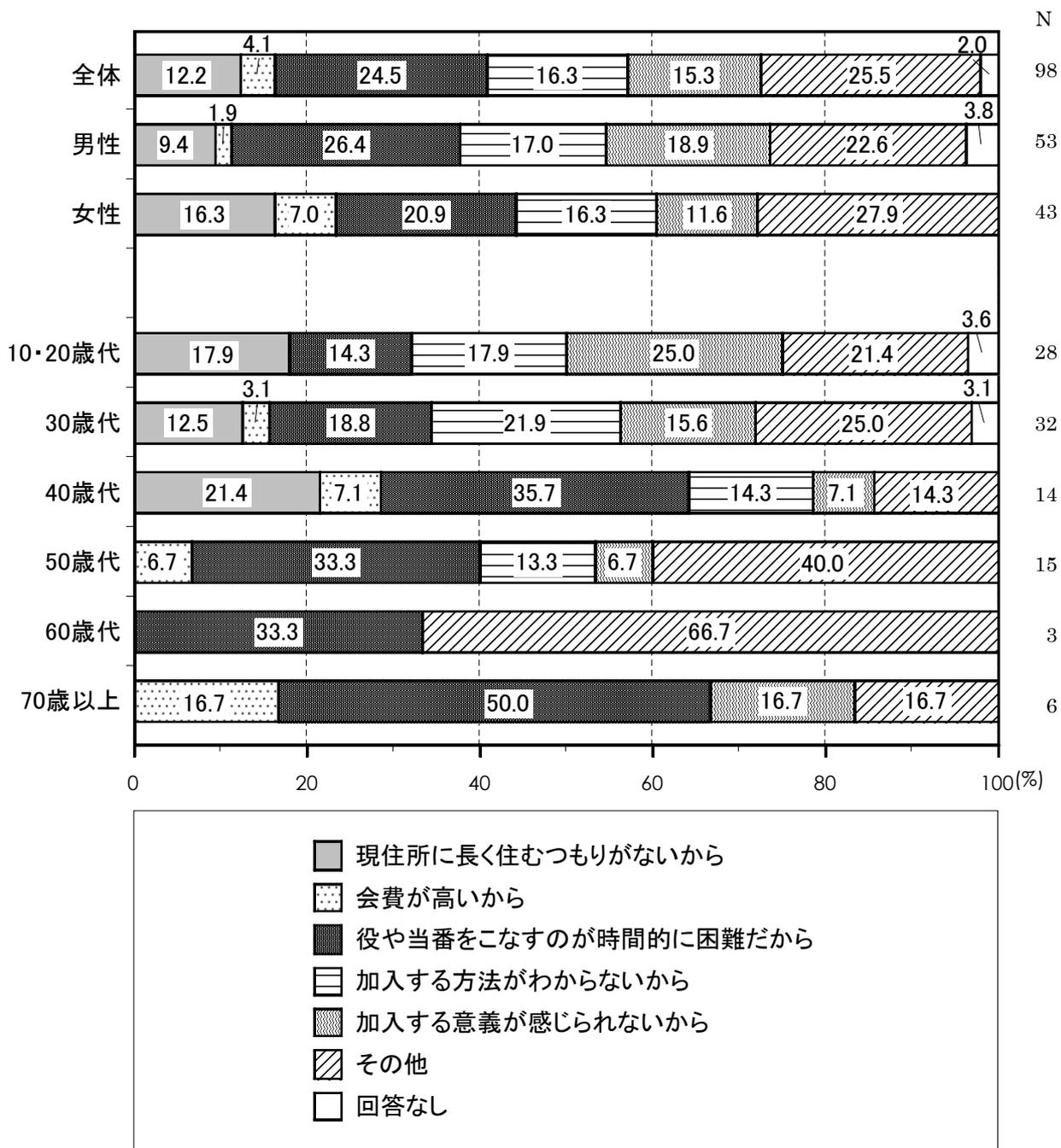


図3-4 性別・年齢別「町内会へ加入していない理由」



### (3) 地域活動への参加状況

問8 あなたは、地域における活動にどのように関わっていますか。

【〇は①～⑧のそれぞれで1つずつ】

◆地域における活動で、最も多く市民が経験したことがある活動は、「子ども会、PTA、スクールガードなどの青少年育成活動」となっています。また、全ての活動において、「関わっていない」が5割を超えています。

○地域における活動で、最も多く市民が経験したことがある活動（「役員を経験したことがある」と「参加したことがある」の合計）は、「子ども会、PTA、スクールガードなどの青少年育成活動」（44.0%）となっています。次いで、「ごみ減量や公園美化などの環境活動」が41.6%、「消防団や地域防災などの防災活動」が30.3%と続いています。また、全ての活動において、「関わっていない」が5割を超えています。

○性別でみると、「野球チームやグラウンドゴルフなどのスポーツ活動」では、男性の関わりが多く、「子ども会、PTA、スクールガードなどの青少年育成活動」や「芸能や手芸などの文化・趣味活動」では、女性の関わりが多くなっています。

○年齢別でみると、若年者層（10～30歳代）では、「子ども会、PTA、スクールガードなどの青少年育成活動」や「ごみ減量や公園美化などの環境活動」が多く、他の活動を経験したことがある人は少なくなっていますが、壮年者層、高齢者層と年齢が高くなるほど、様々な活動を経験しています。

図3-5 地域活動

N=1,033

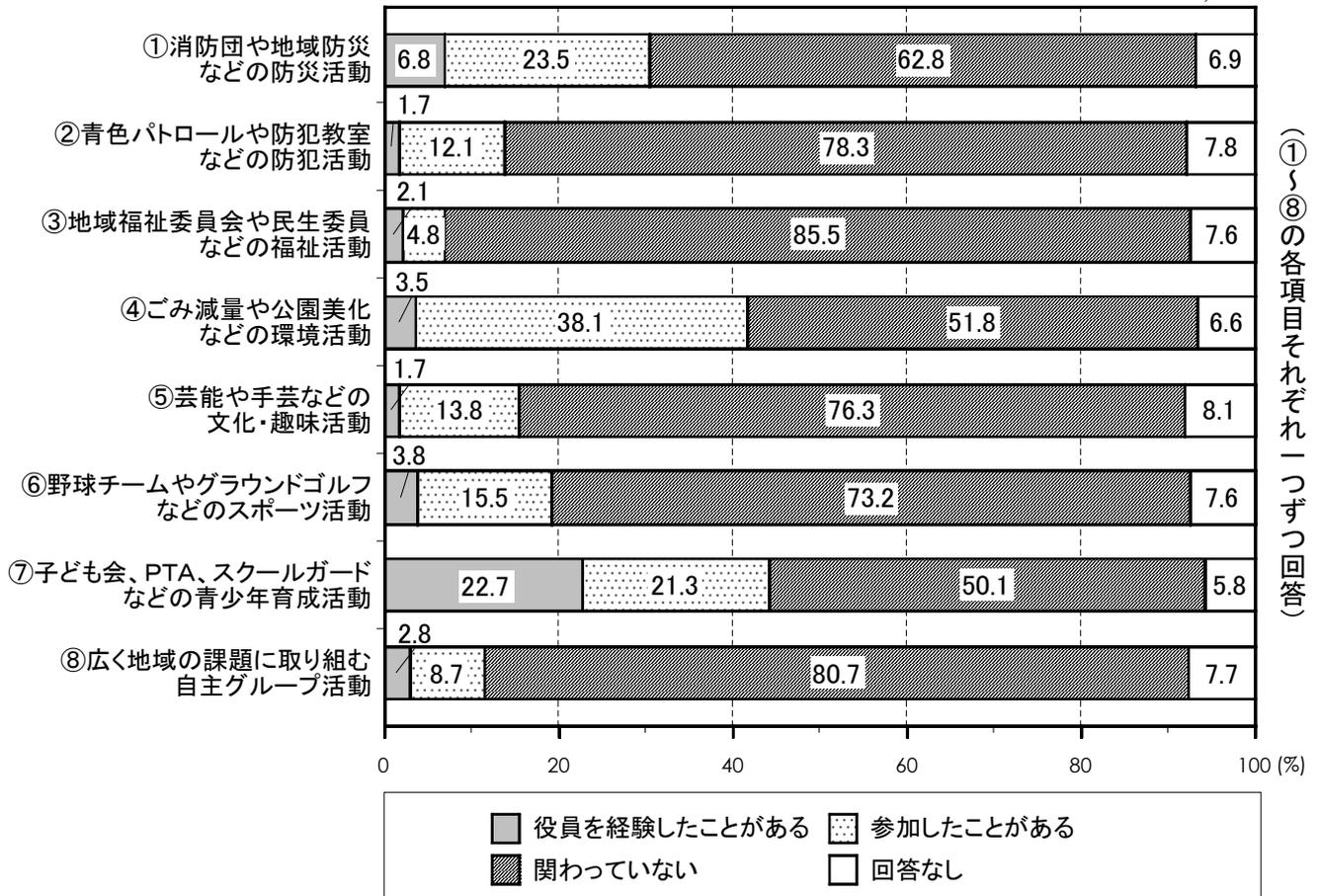
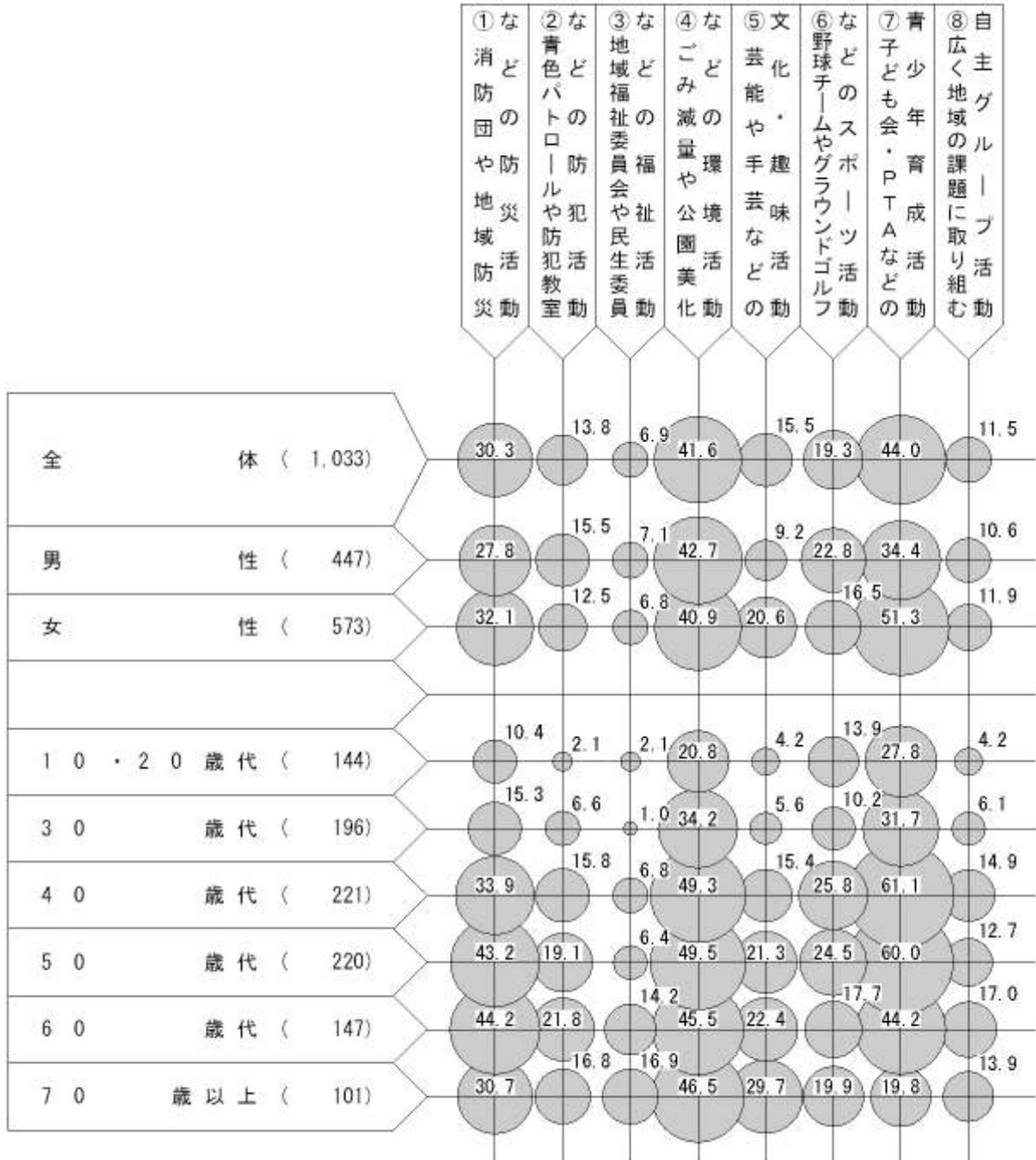


図3-6 性別・年齢別「経験したことの活動」



※「経験したことの活動」は“役員を経験したことがある”と“参加したことがある”の合計

## (4) 地域活動の必要性

**問9** あなたは、地域における活動が必要だと思いますか。【〇は1つ】

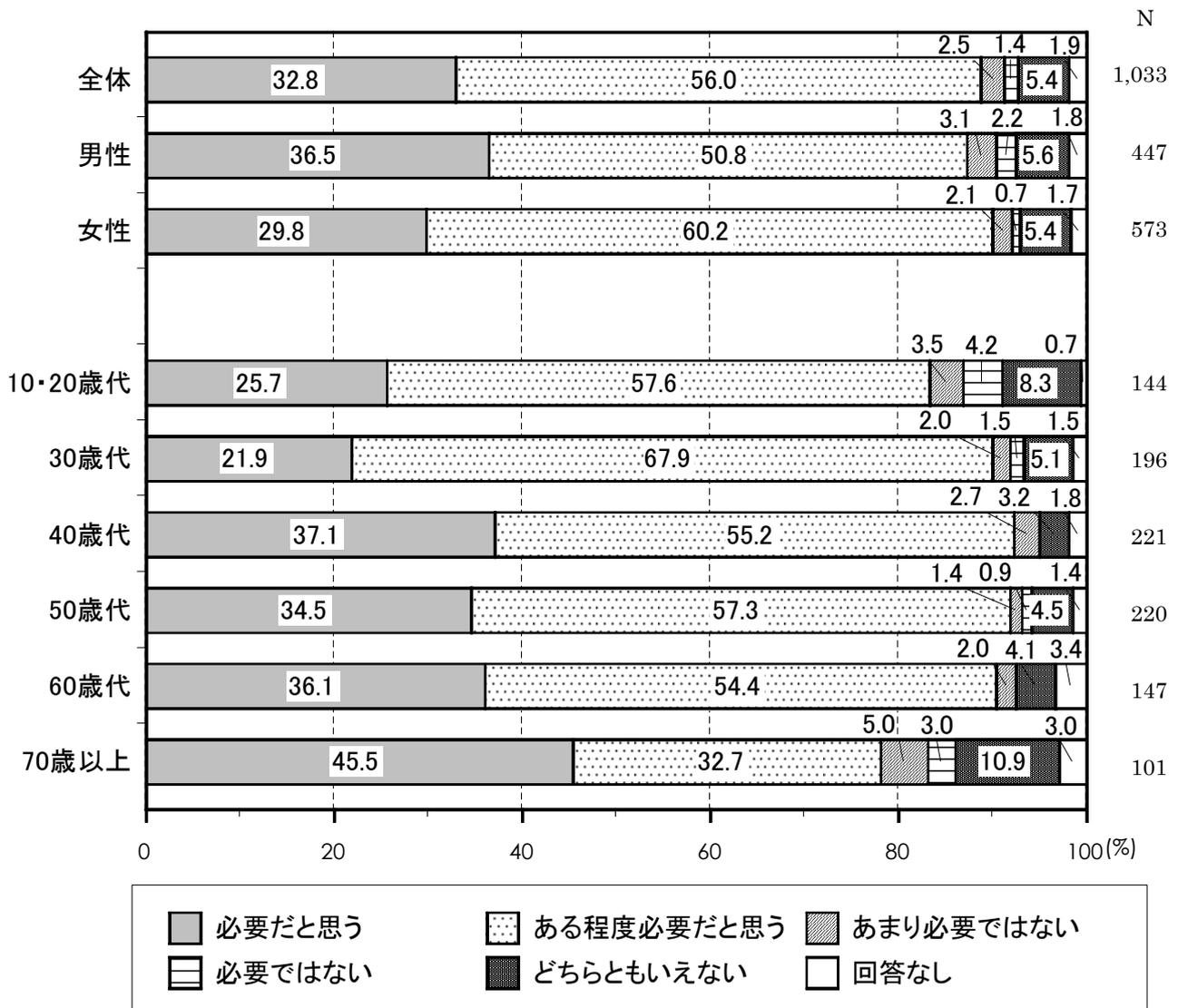
◆地域活動が「必要だと考えている」は約9割を占めています。前問で、地域における活動に関わったことのない人は5割以上いましたが、活動したことはなくとも必要性を感じている人は多くなっています。

○地域活動が「必要だと考えている（「必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合計）」は約9割を占めています。一方で「必要ではないと考えている（「必要ではない」と「あまり必要ではない」の合計）」は1割に満たない状況です。

○前問で、地域における活動に関わったことのない人は5割以上いましたが、活動したことはなくとも必要性を感じている人は多くなっています。

○年齢別でみると、地域活動が「必要だと考えている」は、“40歳代”、“50歳代”、“60歳代”で9割を超えていますが、“10・20歳代”（83.3%）と“70歳代”（78.2%）では低くなっています。

図3-7 地域活動の必要性



## (5) 地域活動の状況

**問10** あなたがお住まいの地域における活動は、全般的にうまくいっていると思いますか。【〇は1つ】

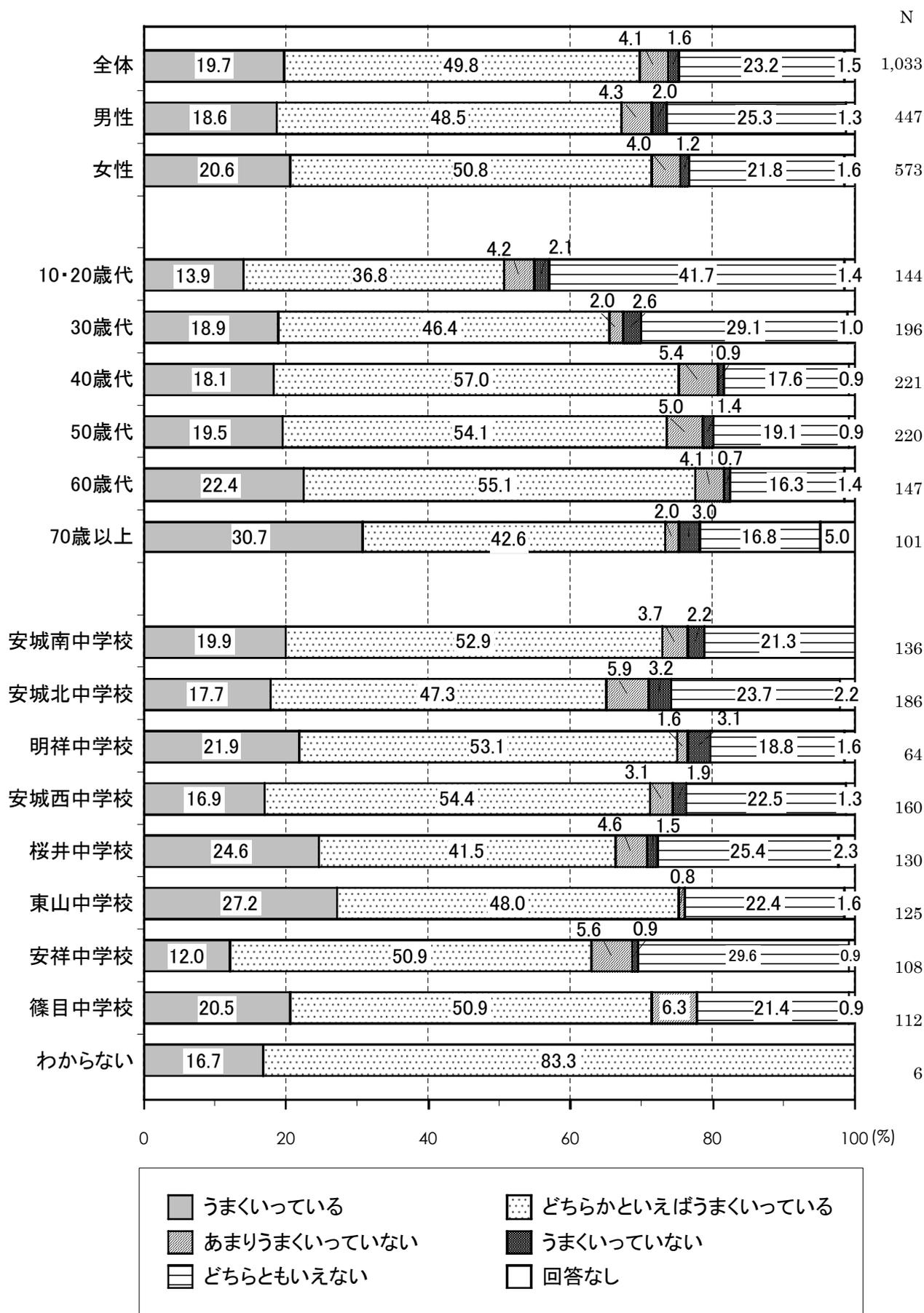
◆お住まいの地域における活動が「うまくいっていると感じている」は69.5%となっています。“安祥中学校”と“安城北中学校”、“桜井中学校”では、他の中学校区に比べ「うまくいっていると感じている」が低くなっています。

○お住まいの地域における活動については、「うまくいっていると感じている（「うまくいっている」と「どちらかといえばうまくいっている」の合計）」は69.5%となっています。一方で、「うまくいっていないと感じている（「うまくいっていない」と「あまりうまくいっていない」の合計）」は5.7%と低率にとどまっています。

○年齢別でみると、“10・20歳代”（50.7%）と“30歳代”（65.3%）で「うまくいっていると感じている」が他の年齢に比べ低くなっていますが、わからないを含んだ「どちらともいえない」もそれぞれ41.7%、29.1%と高くなっています。

○中学校区別にみると、“東山中学校”（75.2%）、“明祥中学校”（75.0%）、“安城南中学校”（72.8%）などで、「うまくいっていると感じている」が7割を超えて高くなっていますが、“安祥中学校”（62.9%）と“安城北中学校”（65.0%）、“桜井中学校”（66.1%）では、他の中学校区に比べ低くなっています。

図3-8 地域活動の状況



## (6) 地域活動の改善点

**問11** あなたがお住まいの地域における活動について、改善すべき点があるとすれば、それは何ですか。【〇はいくつでも】

◆地域における活動については、活動の情報、担い手、地域のまとまりを改善点としています。地域活動を経験している人が少ない若年者層などでは、特に「わからない」が高くなっています。

○地域における活動について、改善すべき点としては「活動のための情報を充実させること」が23.3%で高く、次いで、「活動の担い手を充実させること」が22.5%、「地域のまとまりを高めること」が20.3%となっています。地域内の活動の情報、担い手、相互連携（まとまり）を改善点としています。

○年齢別でみると、“60歳代”以外の全てで「わからない」が30%を超えて多く、地域活動を経験している人が少ない若年者層（10～30歳代）では、「わからない」が約5割を占めています。

○中学校区別でみると、“安城南中学校”では、「活動の担い手を充実させること」が高く、“篠目中学校”と“明祥中学校”では、「活動のための情報を充実させること」が高くなっています。

図3-9 地域活動の改善点

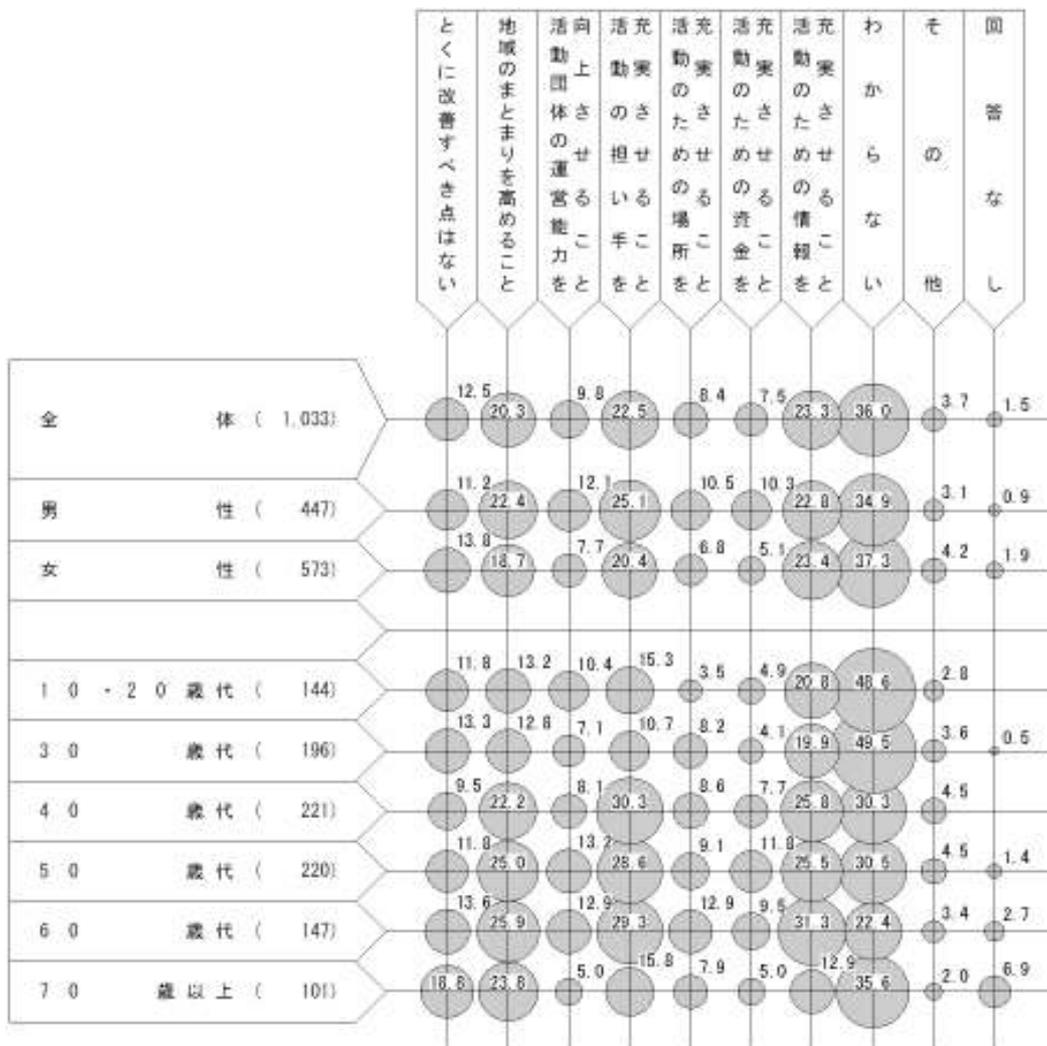
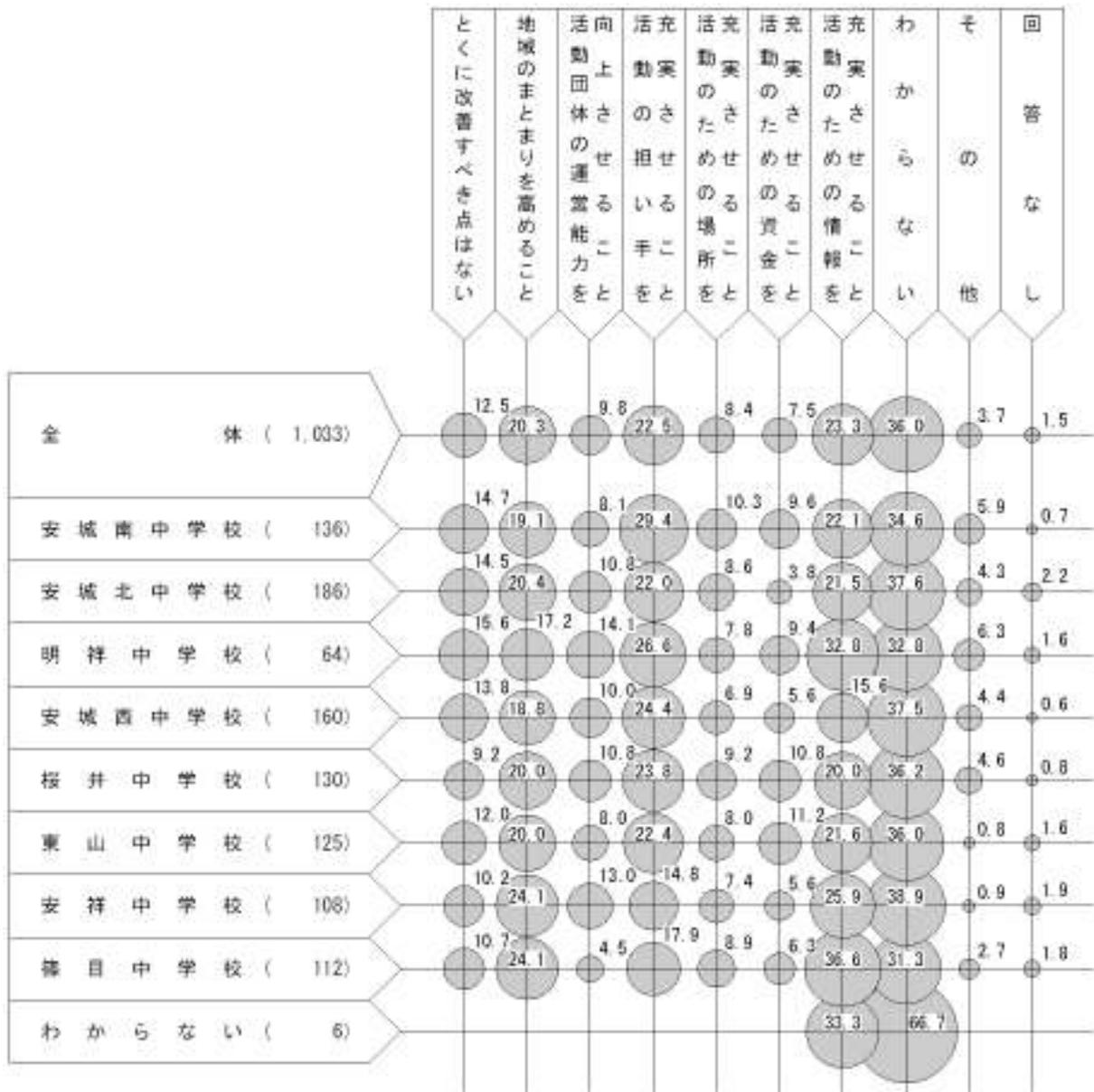


図3-10 地域活動の改善点



## (7) 町内会が担う役割

**問12** あなたがお住まいの地域の課題を考えたときに、「町内会」が担うべき活動は何だと思いますか。【〇はいくつでも】

◆「防犯・交通安全」が最も多く、年代別及び中学校区別にみてもほぼ6割近い数値になっています。防犯・防災など安全・安心に関する活動や清掃・衛生に関する活動が、主に「町内会」が担う活動となっています。

○町内会が担うべき活動として、「防犯・交通安全」が、61.8%と最も多く、次いで、「防火・防災」が49.6%、「清掃・衛生」が45.8%、「ごみ減量・リサイクル」が32.3%と続いています。

○年齢別にみると、「防犯・交通安全」はほぼ6割近い数値で、また、若年者層（10・20歳代・30歳代）では、「子育ての支援」が3割を超えており、他の年代と比較して高くなっています。壮年者層、高齢者層では、「高齢者介護の支援」や「高齢者の生きがいがづくり」の割合が他の年代と比較して高くなっています。

○中学校区別にみると、全ての地区で「防犯・交通安全」が最も多く、年齢別と同様にほぼ6割近い数値となっています。“明祥中学校”では「歴史・文化の保全」が、“安城西中学校”では「地域施設の維持・管理」、「高齢者の生きがいがづくり」が、“東山中学校”では「運動会・スポーツ大会」、「地域施設の維持・管理」、「清掃・衛生」、「まちの美化（花壇づくりなど）」が他の中学校区に比べ高くなっています。

図3-11 町内会が担う役割

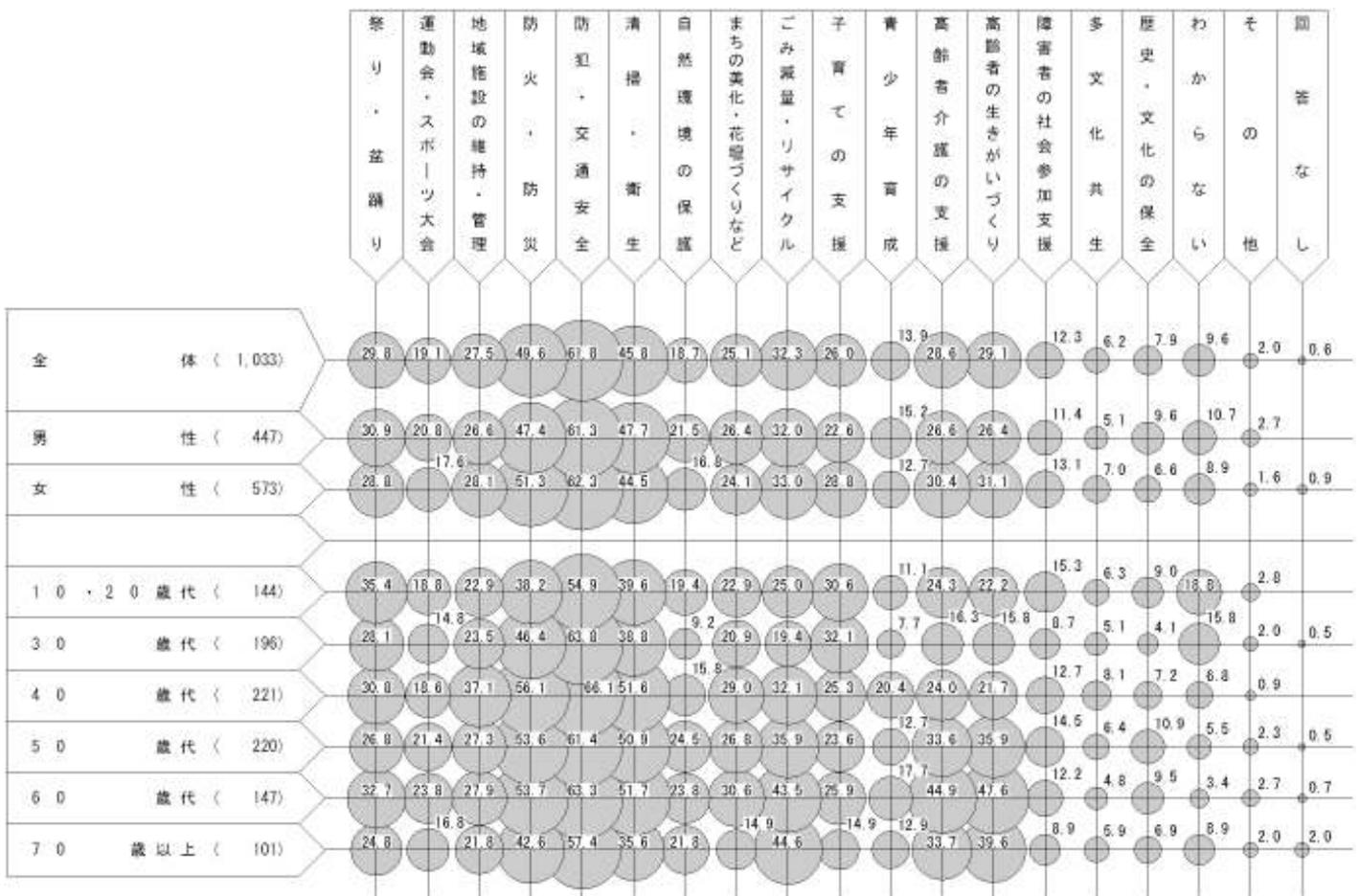
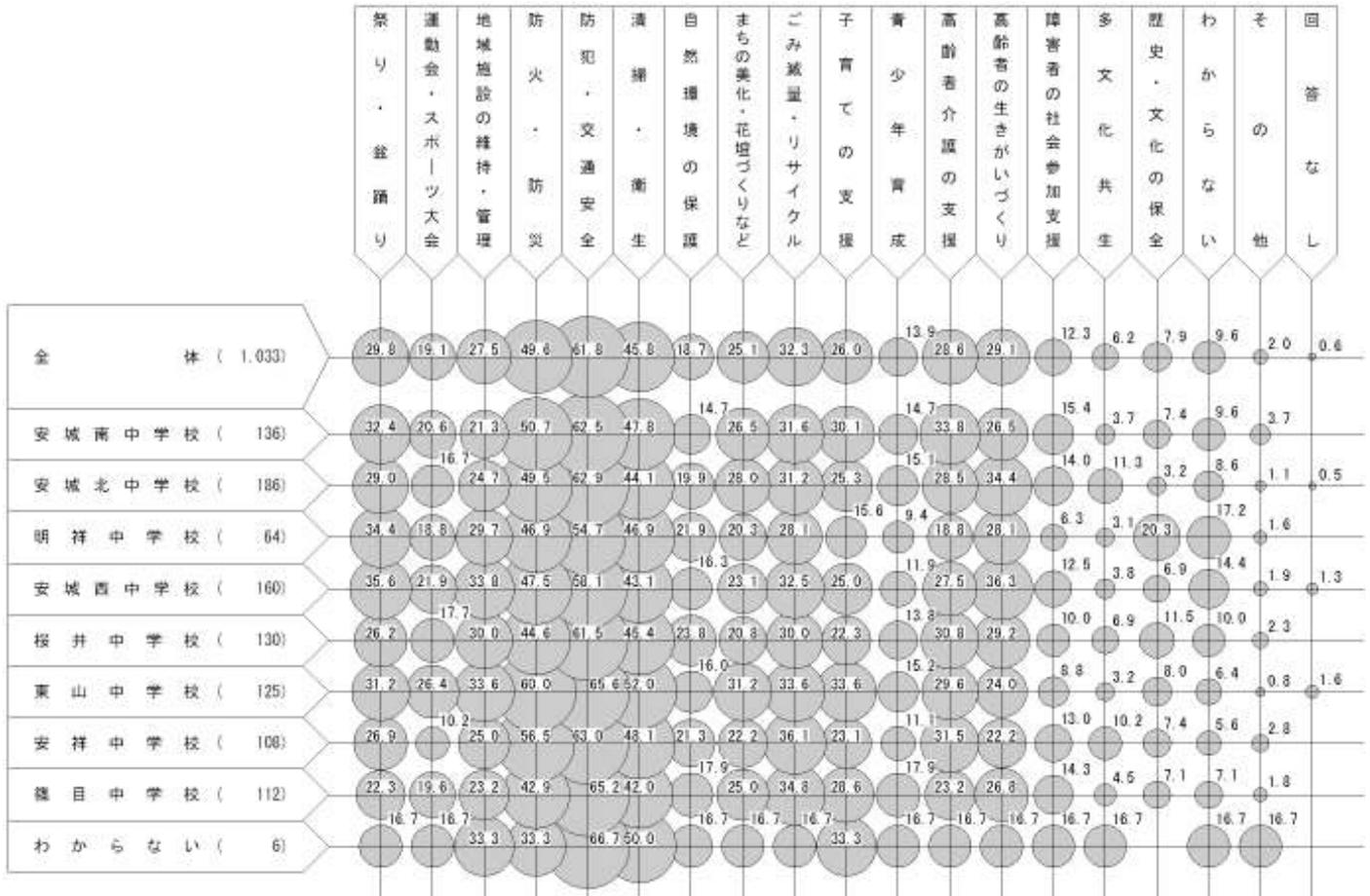


図3-12 町内会が担う役割



# 4

## 市民活動（ボランティア・NPO等）

### （1）市民活動（ボランティア・NPO等）への参加状況

問13 あなたは、ボランティア・NPO等の活動にどのように関わっていますか。

【〇は1つ】

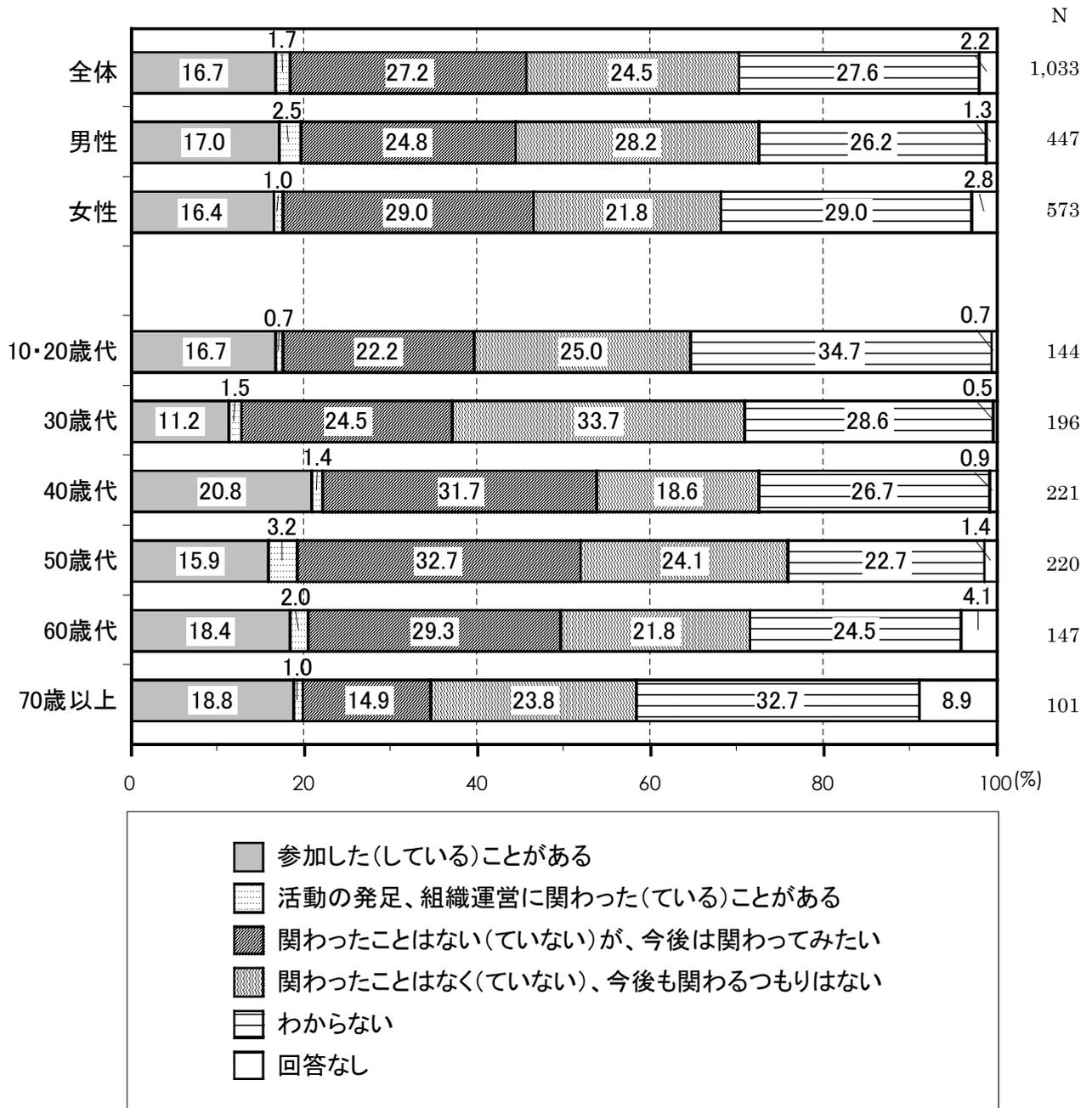
◆ボランティア・NPO 活動への関わりについては、“参加したことがある・参加してみたい”という市民が“今後も関わるつもりはない”という市民の割合を21.1ポイント上回っています。特に40歳代、50歳代、60歳代で市民活動への参加意向が高い状況です。

○ボランティア・NPO 活動への関わりについては、「参加した（している）ことがある」が16.7%、「活動の発足、組織運営に関わった（ている）ことがある」が1.7%、「関わったことはない（ていない）が、今後は関わってみたい」が27.2%となっており、これらを合わせた“参加したことがある・参加してみたい”は45.6%となっています。

○「関わったことはなく（ていない）、今後も関わるつもりはない」は24.5%であり、“参加したことがある・参加してみたい”という市民は、“今後も関わるつもりはない”という市民を21.1ポイント上回っており、市民活動への参加意向は高いといえます。

○年齢別にみると、市民活動に“参加したことがある・参加してみたい”のは、40歳代で53.9%と最も高く、次いで50歳代で51.8%、60歳代で49.7%となっており、他の年代に比べ特に市民活動への参加意向が高い状況です。

図4-1 市民活動（ボランティア・NPO等）



## (2) 参加した活動分野

【問13で「1. 参加した（している）ことがある」「2. 活動の発足、組織運営に関わった（している）ことがある」と回答した方へおたずねします。】

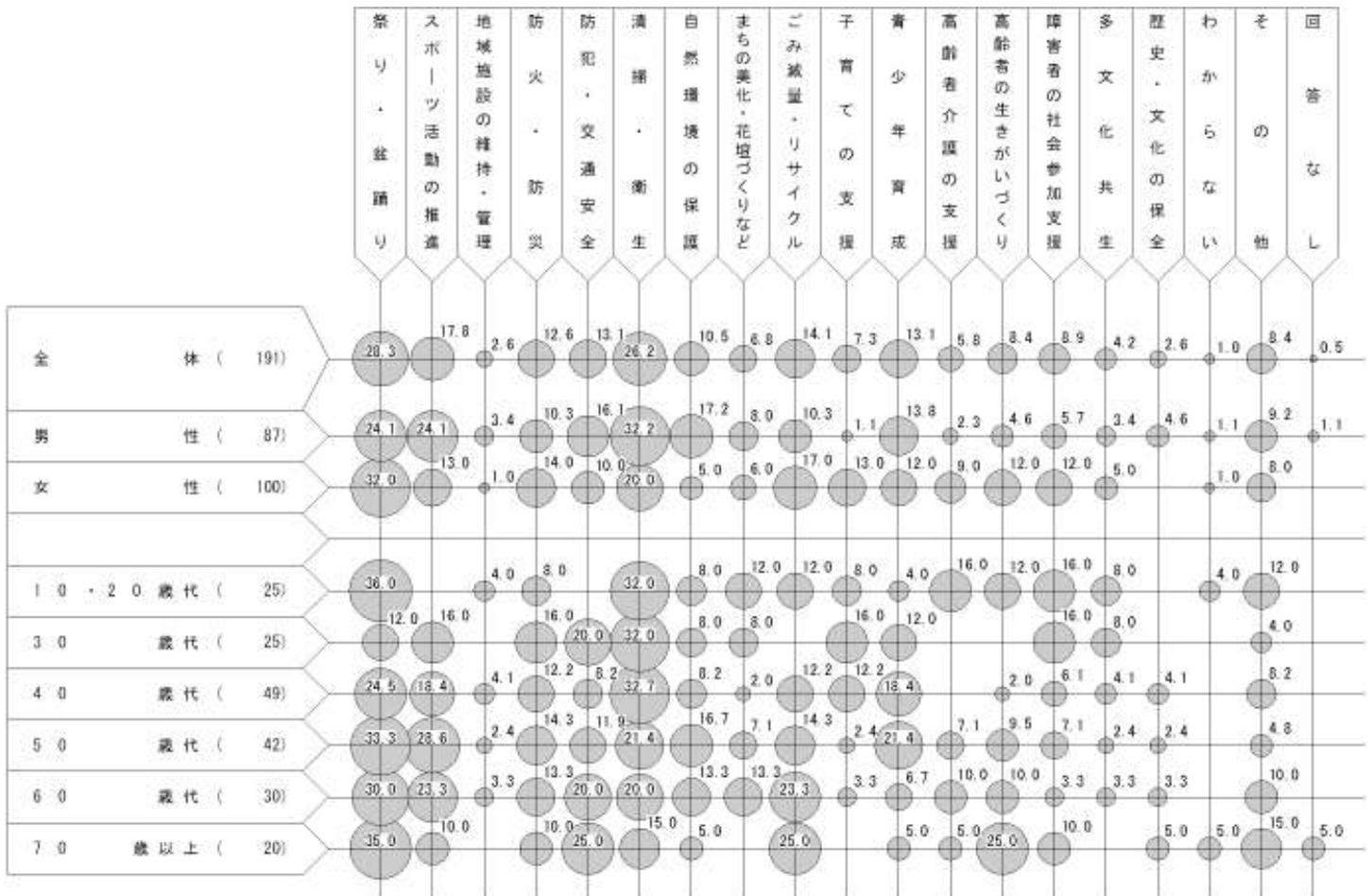
**問13-1** それはどんな活動ですか。特に力を入れているものを教えてください。  
【〇は3つ】

◆活動したことのある分野としては、「祭り・盆踊り」が28.3%で最も高く、次いで、「清掃・衛生」が26.2%となっています。

○ボランティア・NPO 活動をしたことのある人の活動分野としては、「祭り・盆踊り」が28.3%と最も多く、次いで、「清掃・衛生」が26.2%、「スポーツ活動の推進」が17.8%と続いています。

○年齢別にみると、全体で割合の高かった「祭り・盆踊り」、「清掃・衛生」を除くと“10・20歳代”では「高齢者介護の支援」、「障害者の社会参加支援」を、“40歳代・50歳代”では「スポーツ活動の推進」、「青少年育成」などを、“60歳代”では「スポーツ活動の推進」、「70歳代”では、「防犯・交通安全」、「ごみ減量・リサイクル」、「高齢者の生きがづくり」などの活動をしています。

図4-2 活動したことがある分野



### (3) 参加したい活動分野

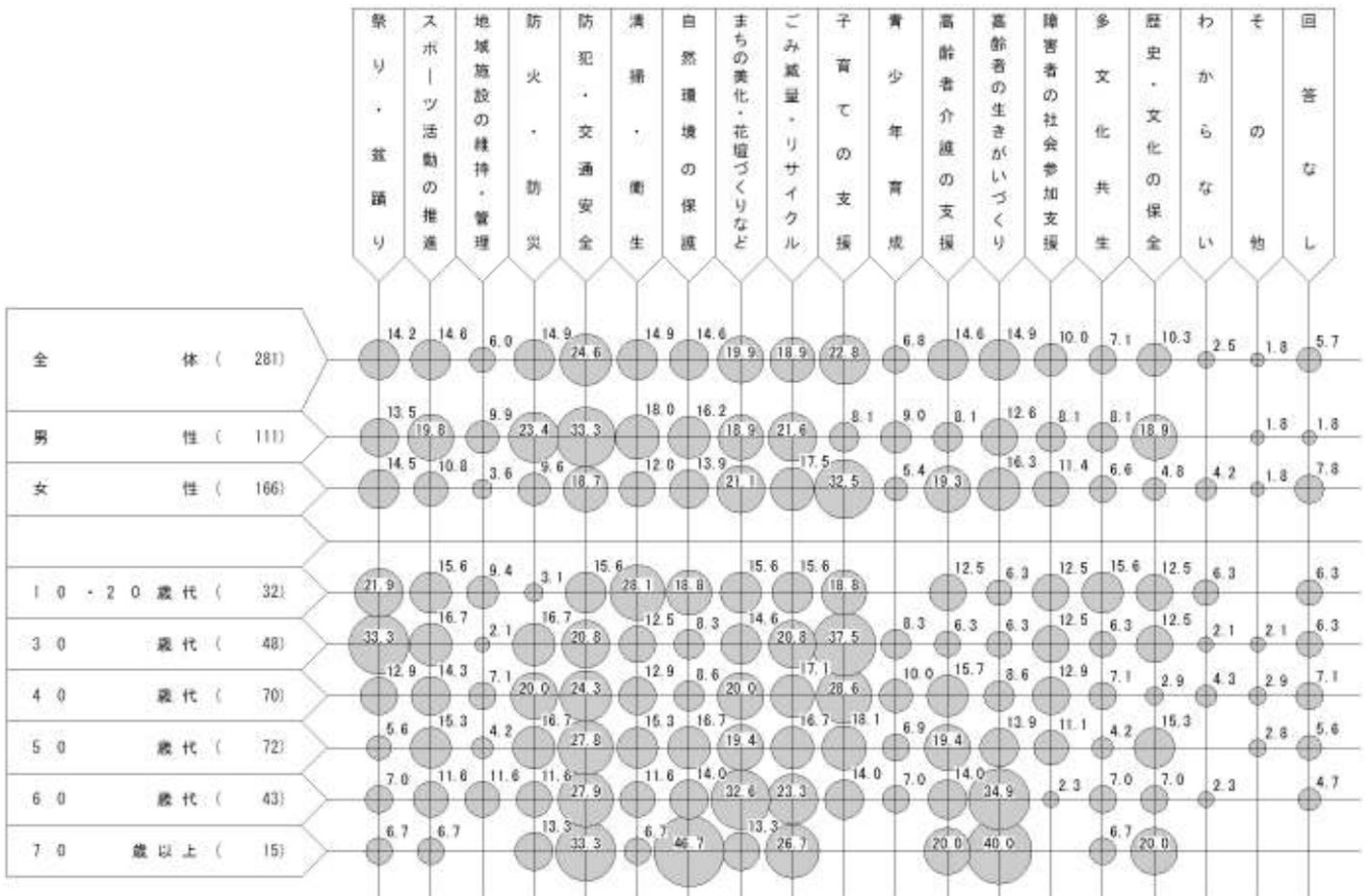
【問13で「3. 関わったことはない（ていない）が、今後は関わってみたい」と回答した方へおたずねします。】

**問13-2** どのような活動をしたいですか。特に活動したいものを教えてください。  
【〇は3つ】

◆今後の市民活動に対するポテンシャルが高い活動分野は、防犯・交通安全、子育て支援となっています。

- これまで市民活動に関わったことのない人が今後関わってみたい分野として、「防犯・交通安全」が24.6%と最も多く、次いで、「子育ての支援」が22.8%、「まちの美化（花壇づくりなど）」が19.9%となっています。防犯・交通安全、子育て支援が今後の市民活動に対するポテンシャルが高い活動分野となっています。
- 性別でみると、「防犯・交通安全」に関わってみたい男性が33.3%と、女性よりも男性で今後関わってみたいと考えている割合が高くなっています。逆に「子育ての支援」については女性が32.5%であり、男性よりも割合が高くなっています。
- 年齢別でみると、「祭り・盆踊り」や「清掃・衛生」、「子育ての支援」について、若い世代で今後関わってみたいと考えている人が多くなっています。

図4-3 今後関わってみたい分野



#### (4) 活動に参加できるための条件

【問13で「3. 関わったことはない(ていない)が、今後は関わってみたい」と回答した方へおたずねします。】

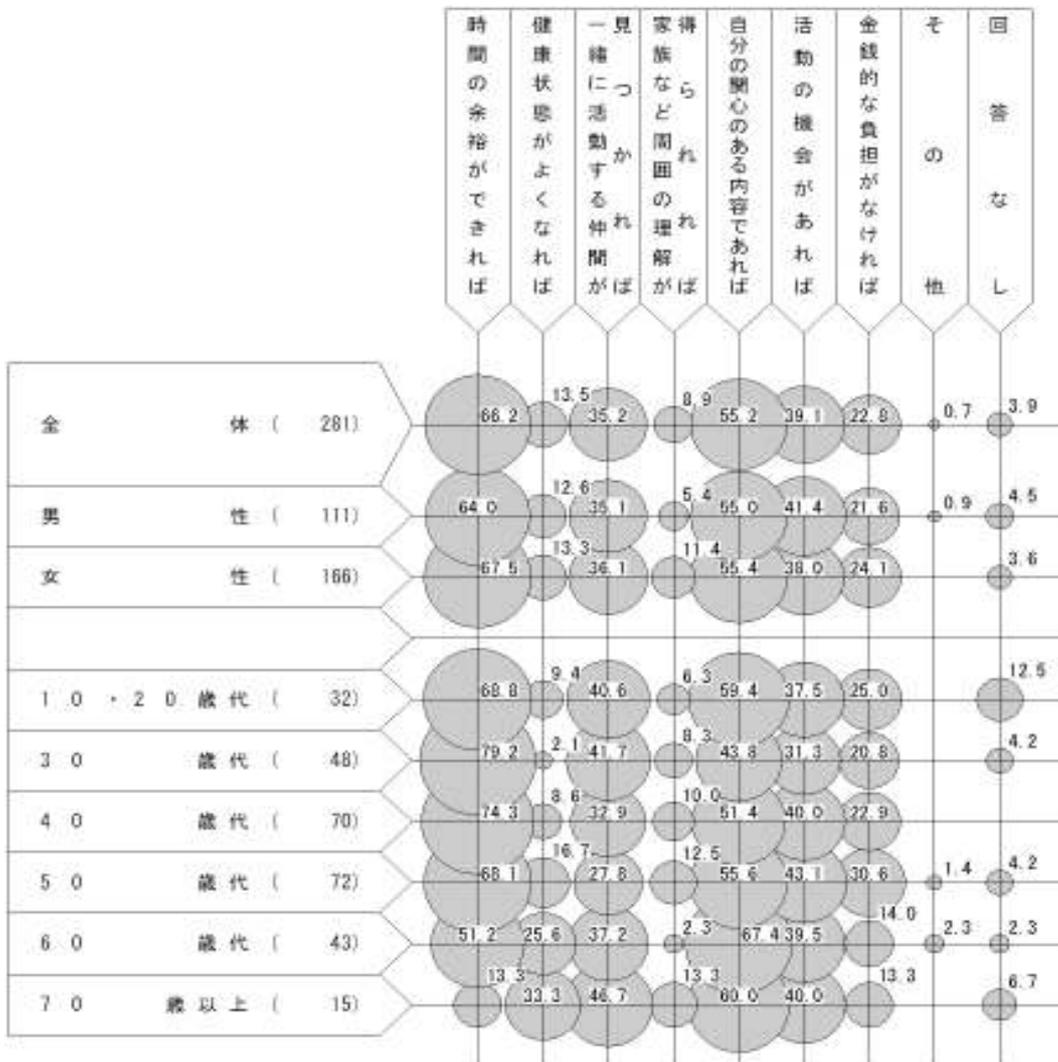
**問13-3** 今後どのようなことが整えば、ボランティア・NPO等の活動に参加したいと思えますか。【〇は3つ】

◆“時間の余裕ができれば”ということと、“関心のある内容であれば”という二つの大きな条件が市民活動を始める要件になっています。

○市民活動に関わってみたい人が、今後ボランティア・NPO等の活動に参加するための条件として、「時間の余裕ができれば」が66.2%と最も多く、次いで、「自分の関心がある内容であれば」が55.2%、「活動の機会があれば」が39.1%となっています。言いかえると、“時間の余裕がない”、“興味・関心のある内容がない”ということが市民活動への参加の大きな阻害要因になっています。

○年代別にみると、50歳代以下の子育て期や働き盛りの年代で「時間の余裕ができれば」が7割前後となっています。また、60歳以上の高齢者層で、「健康状態がよくなれば」の割合が多くなっています。

図4-4 参加する条件



## (5)「町内会」と「ボランティア・NPO等」の役割分担

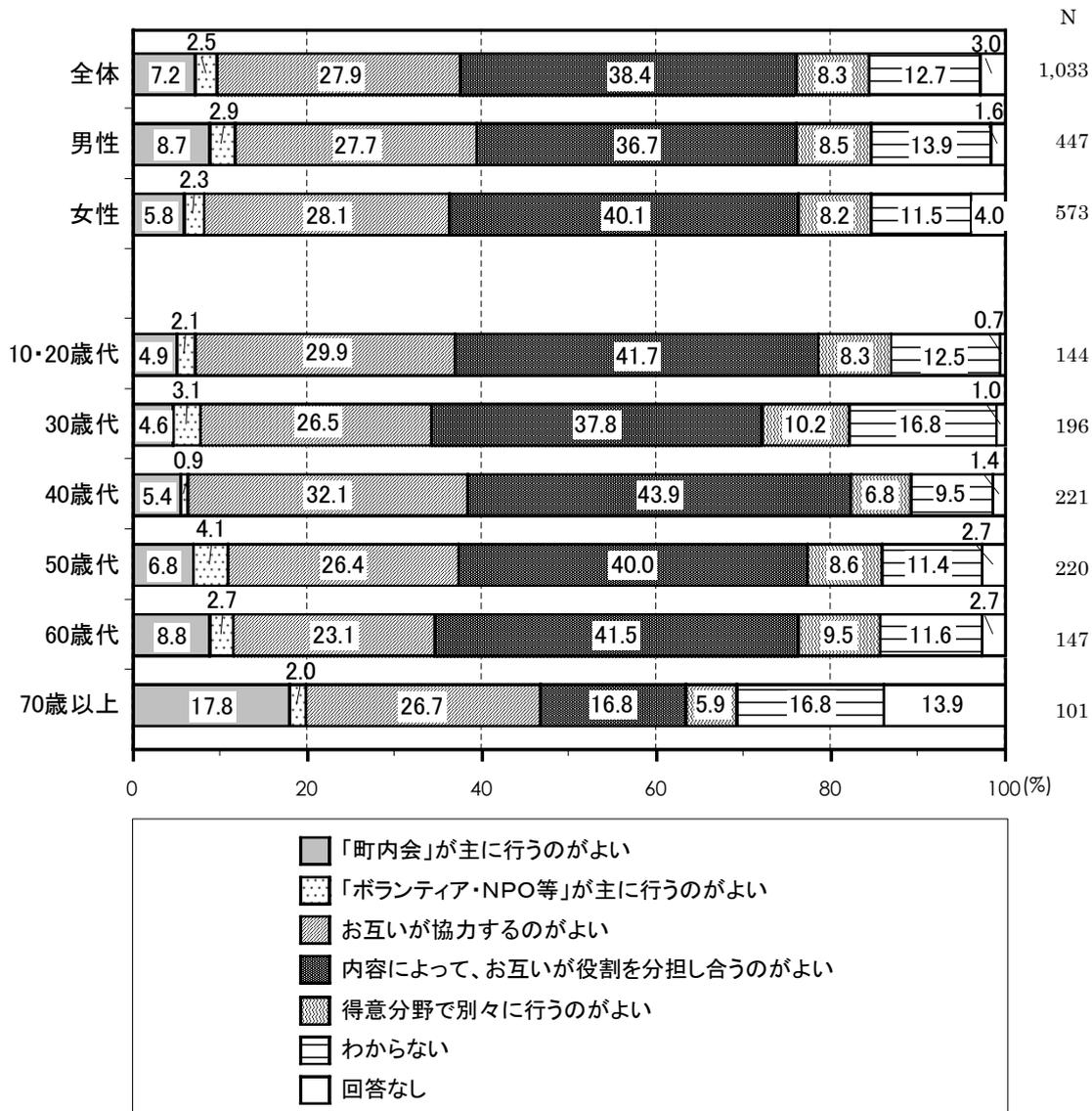
**問14** お住まいの地域で考えたとき、「町内会」と「ボランティア・NPO等」が、地域における活動をどのように役割分担することが望ましいですか。【〇は1つ】

◆地域における町内会とボランティア・NPO等の役割分担としては、「内容によってお互いが役割を分担しあうのがよい」と「お互いが協力するのがよい」がそれぞれ高く、ある程度の役割分担の下にお互いを理解・協力することが求められています。

○地域における町内会とボランティア・NPO等の役割分担としては、「内容によってお互いが役割を分担しあうのがよい」が38.4%と最も多く、次いで、「お互いが協力するのがよい」が27.9%となっています。ある程度の役割分担の下にお互いを理解・協力することが求められています。

○年齢別にみると、70歳以上では「町内会が主に行うのがよい」が17.8%と高くなっており、「内容によってお互いが役割を分担しあうのがよい」が16.8%と低くなっています。

図4-5 「町内会」と「ボランティア・NPO等」の役割分担



# 5 条例の認知度

## (1) 自治基本条例

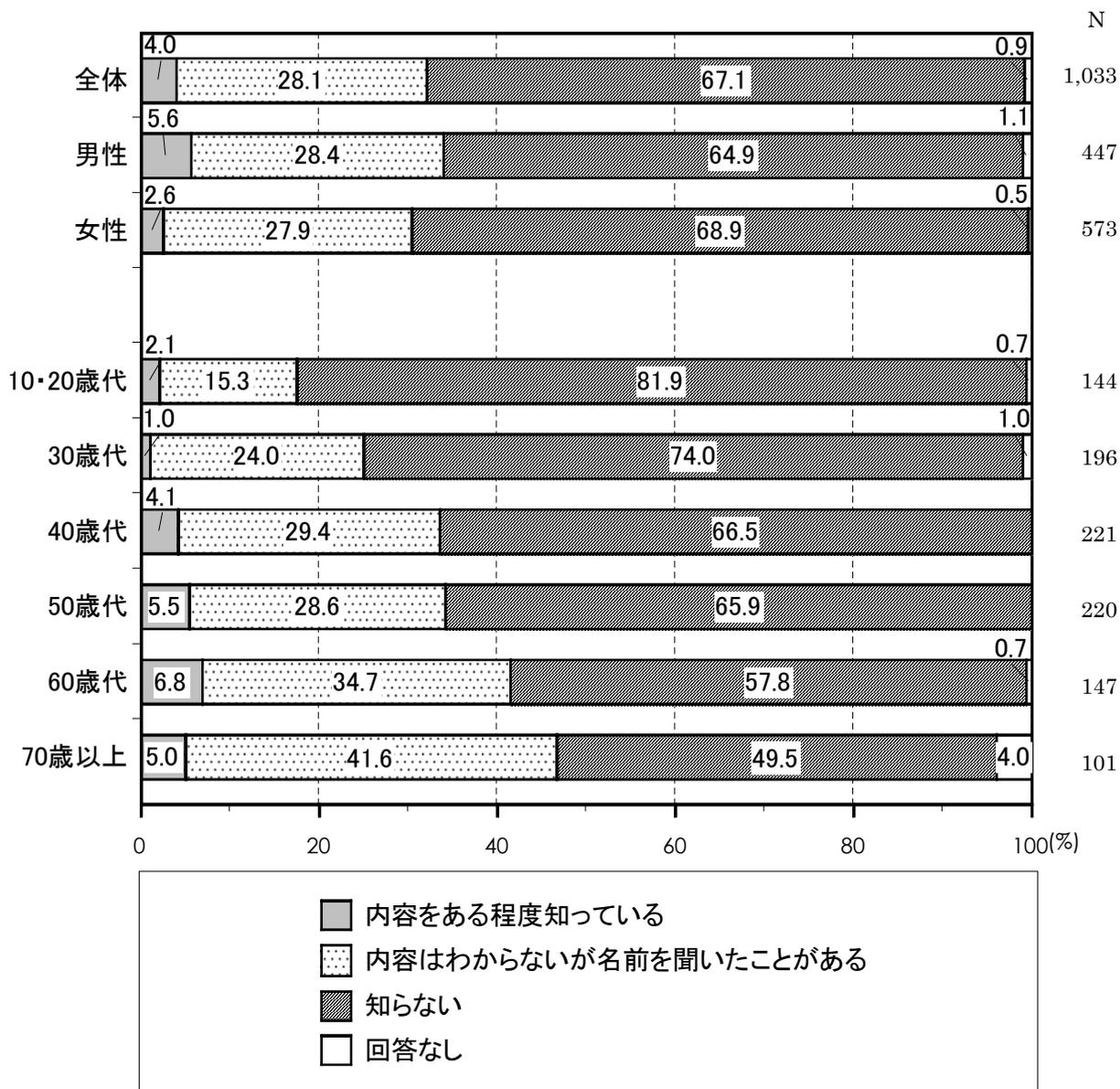
問15 あなたは安城市に「自治基本条例」があることをご存知ですか。【〇は1つ】

◆自治基本条例の認知度は32.1%となっています。最も認知度の高い70歳以上でも、2人に1人自治基本条例を知らない状況です。

○自治基本条例について、「内容をある程度知っている」は4.0%、「内容はわからないが名前を聞いたことがある」が28.1%で、これらを合わせた認知度は32.1%となっています。

○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて認知度も高くなりますが、最も認知度の高い70歳以上でも、2人に1人自治基本条例を知らない状況です。

図5-1 自治基本条例



## (2) 市民参加条例

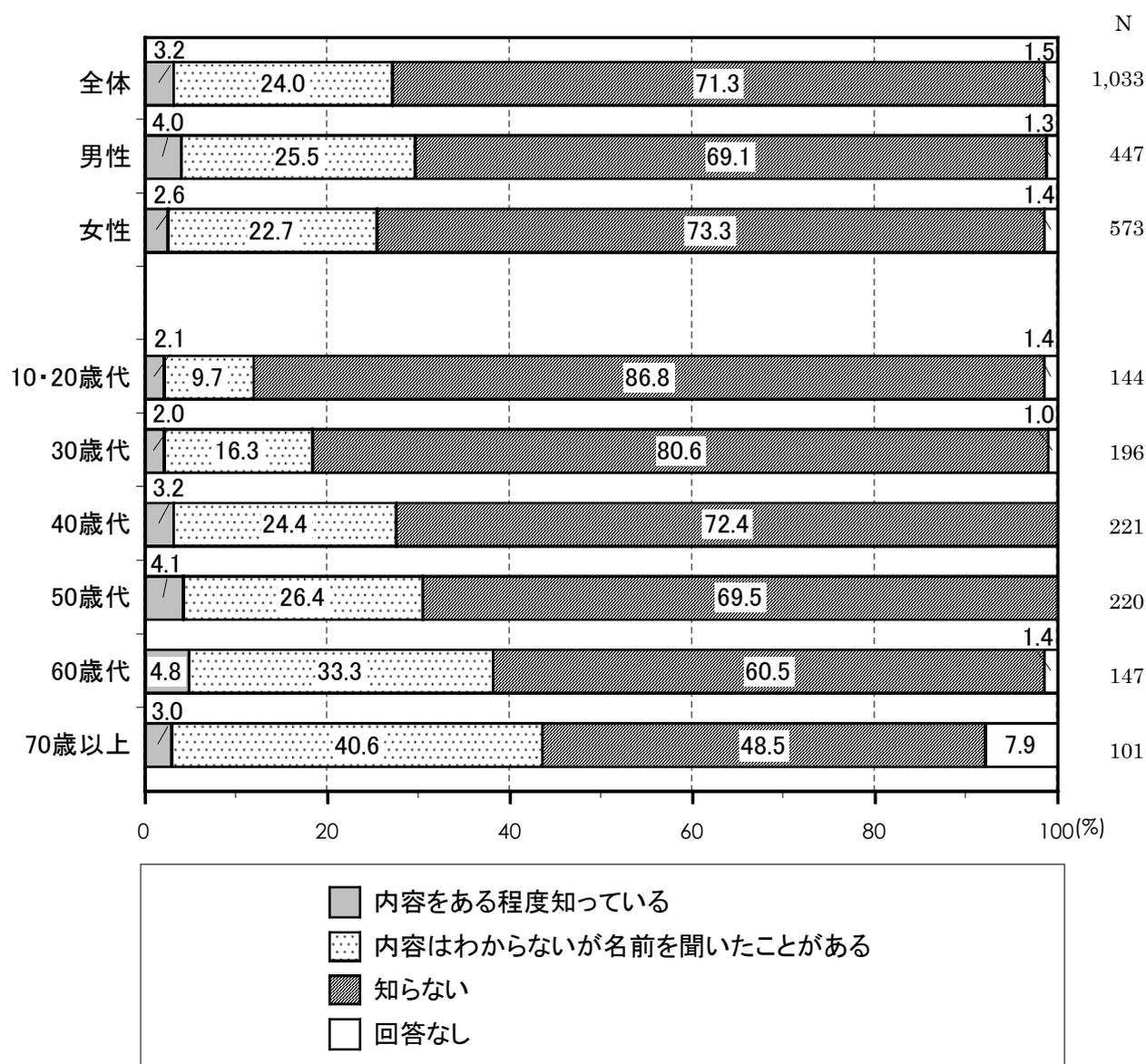
問16 あなたは安城市に「市民参加条例」があることをご存知ですか。【〇は1つ】

◆市民参加条例の認知度は27.2%となっており、自治基本条例よりも認知度が低くなっています。

○市民参加条例について、「内容をある程度知っている」は3.2%、「内容はわからないが名前を聞いたことがある」が24.0%で、これらを合わせた認知度は27.2%となっています。

○年齢別にみると、自治基本条例同様に年齢が高くなるにつれて認知度も高くなりますが、全ての年齢で自治基本条例よりも認知度が低くなっています。

図5-2 市民参加条例



# 6

## 市民の意見の反映状況

### (1) 市民の意見の反映状況

問17 安城市では、「市民の意見」が十分市政に反映されていると思いますか。

【〇は1つ】

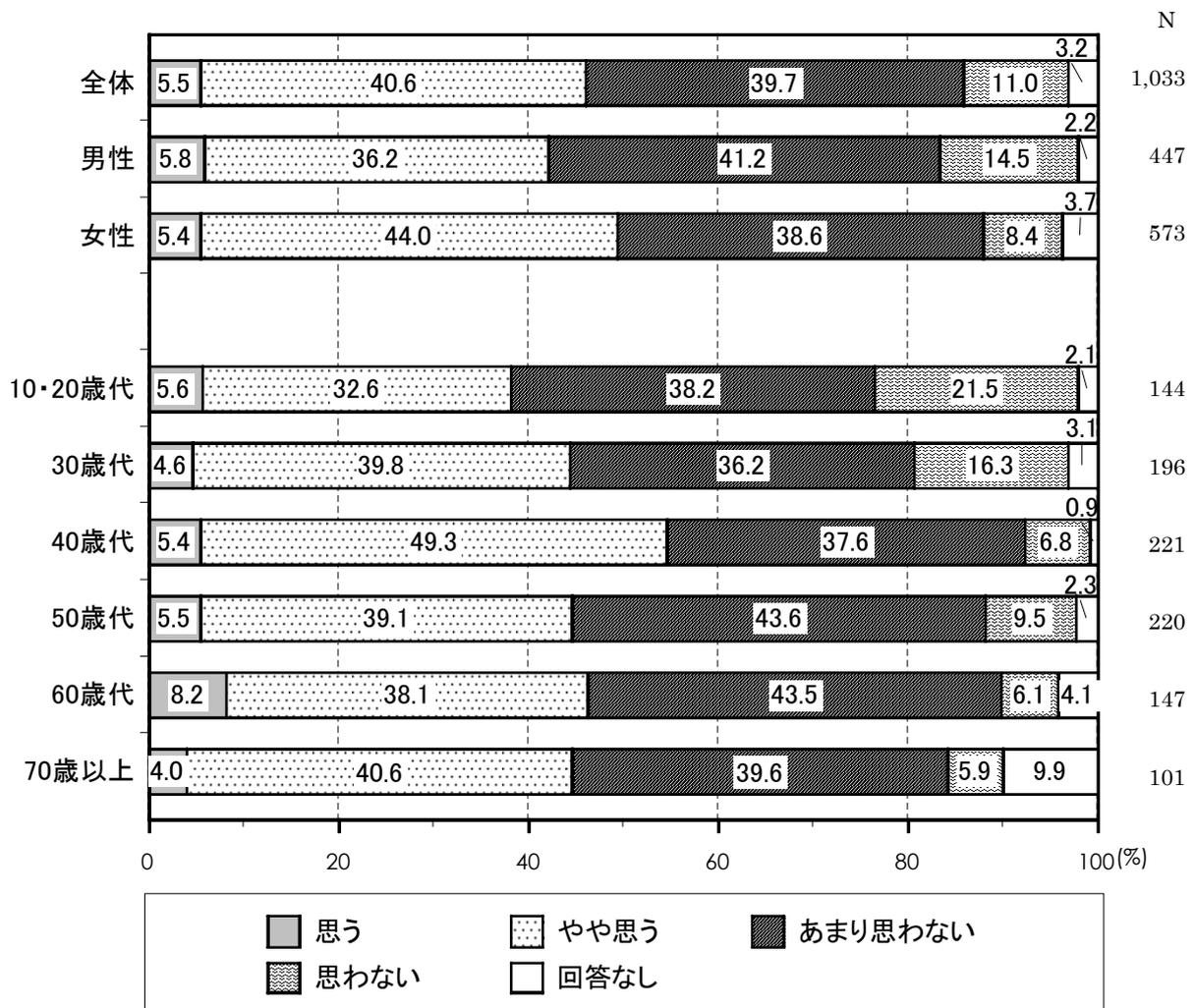
◆市民の意見の市政への反映については、“反映されている”よりも“反映されていない”が4.6ポイント高くなっています。

○市民の意見が十分市制に反映されているかについて、「思う」（5.5%）、「やや思う」（40.6%）を合わせた46.1%が“反映されている”としています。一方で、「思わない」（11.0%）、「あまり思わない」（39.7%）を合わせた50.7%が“反映されていない”としており、“反映されている”よりも4.6ポイント高くなっています。

○性別でみると、男性で市民の意見が市政に“反映されていない”が“反映されている”を13.7ポイント上回っています。

○年代別にみると、10・20歳代で特に“反映されていない”と感じている人が多くなっています。

図6-1 市民の意見の反映状況



## (2) 市民の意見を反映させる方法

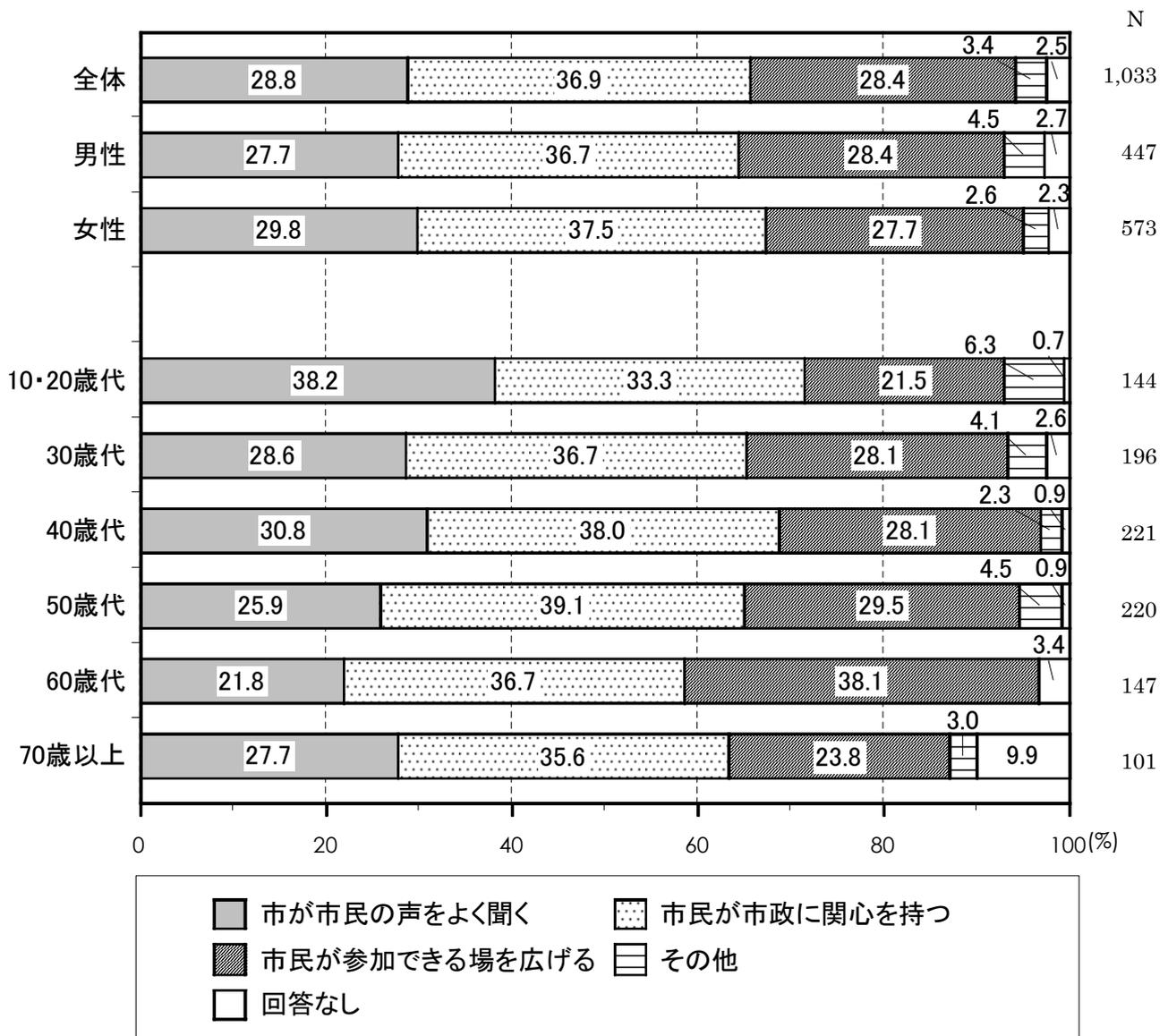
**問18** どのようにしたら、市の施策に「市民の意見」がよりよく反映されると思いますか。【〇は1つ】

◆「市民が市制に関心を持つ」が最も多く、次いで、「市が市民の意見をよく聞く」となっています。市民、市、双方からの意思疎通が必要です。

○市民の意見を市の施策によりよく反映させる方法として、「市民が市制に関心を持つ」が36.9%で最も多く、次いで、「市が市民の意見をよく聞く」が28.8%、「市民が参加できる場を広げる」が28.4%となっています。市民、市、双方からの意思疎通が必要です。

○年齢別にみると、前問で市民の意見が反映されていないと特に感じていた“10・20歳代”では「市が市民の声をよく聞く」の割合が高くなっており、“60歳代”では「市民が参加できる場を広げる」が最も高くなっていきます。また、どの年代も「市民が市政に関心を持つ」は3割以上と高くなっていきます。

図6-2 よりよく反映する方法



### (3) 市民参加の機会

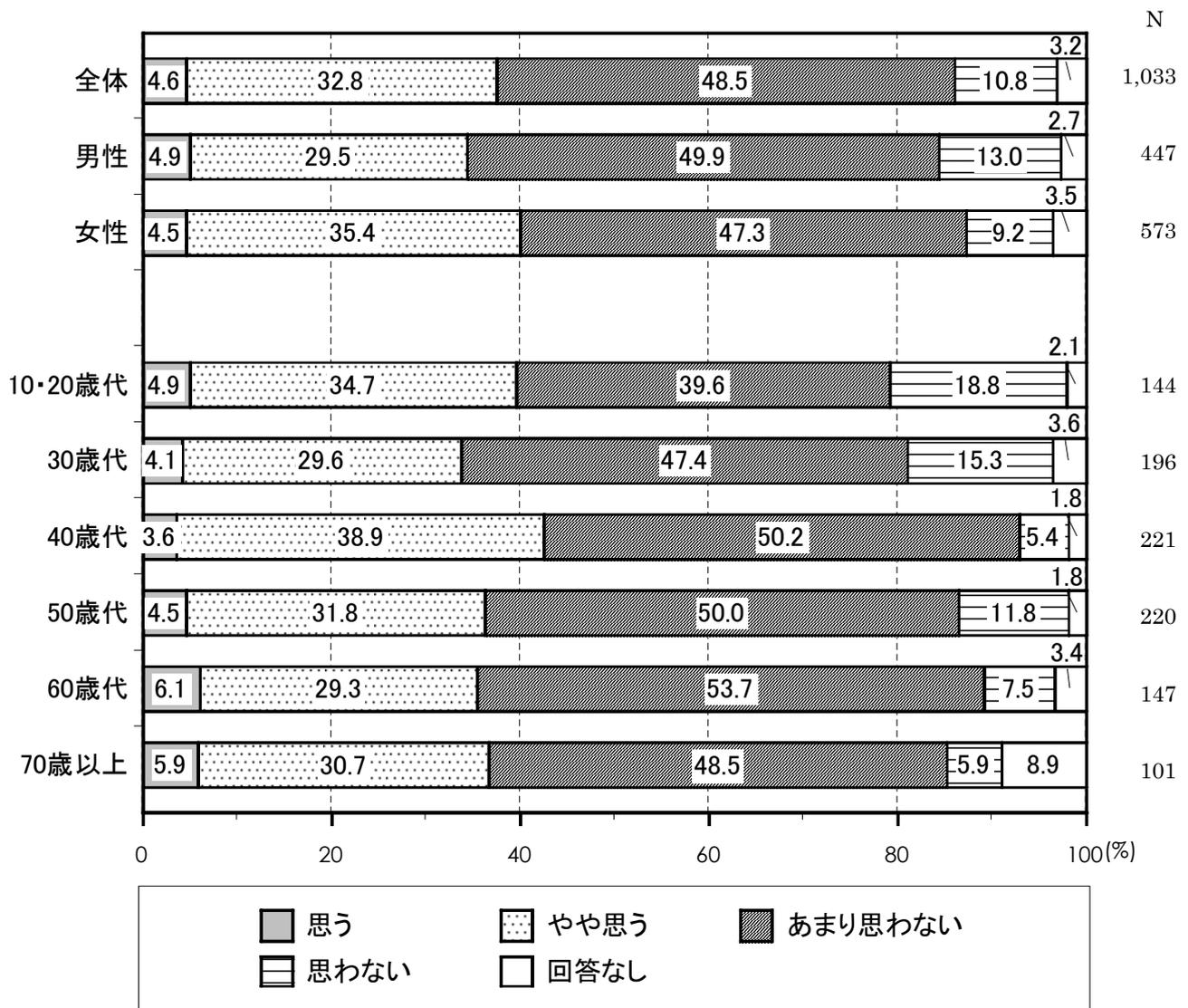
**問19** 安城市では、「市民参加の機会」が十分に用意されていると思いますか。  
【〇は1つ】

◆約6割の人が市民参加の機会が十分に用意されていないと感じています。特に30歳代・50歳代・60歳代にその傾向がみられます。

○「思う」が4.6%、「やや思う」が32.8%で、合わせた37.4%が市民参加の機会が十分に“用意されている”と感じています。「思わない」10.8%、「あまり思わない」が48.5%を合わせた59.3%と、約6割の人が十分に“用意されていない”と感じています。

○年代別にみると、30歳代・50歳代・60歳代で“用意されていない”が“用意されている”を20ポイント以上上回っており、参加の機会が十分に用意されていないと感じています。

図6-3 市民参加の機会



## (4) 市政への参加

問20 あなたは、どのようなかたちで市政に参加したいと思いますか。  
【〇はいくつでも】

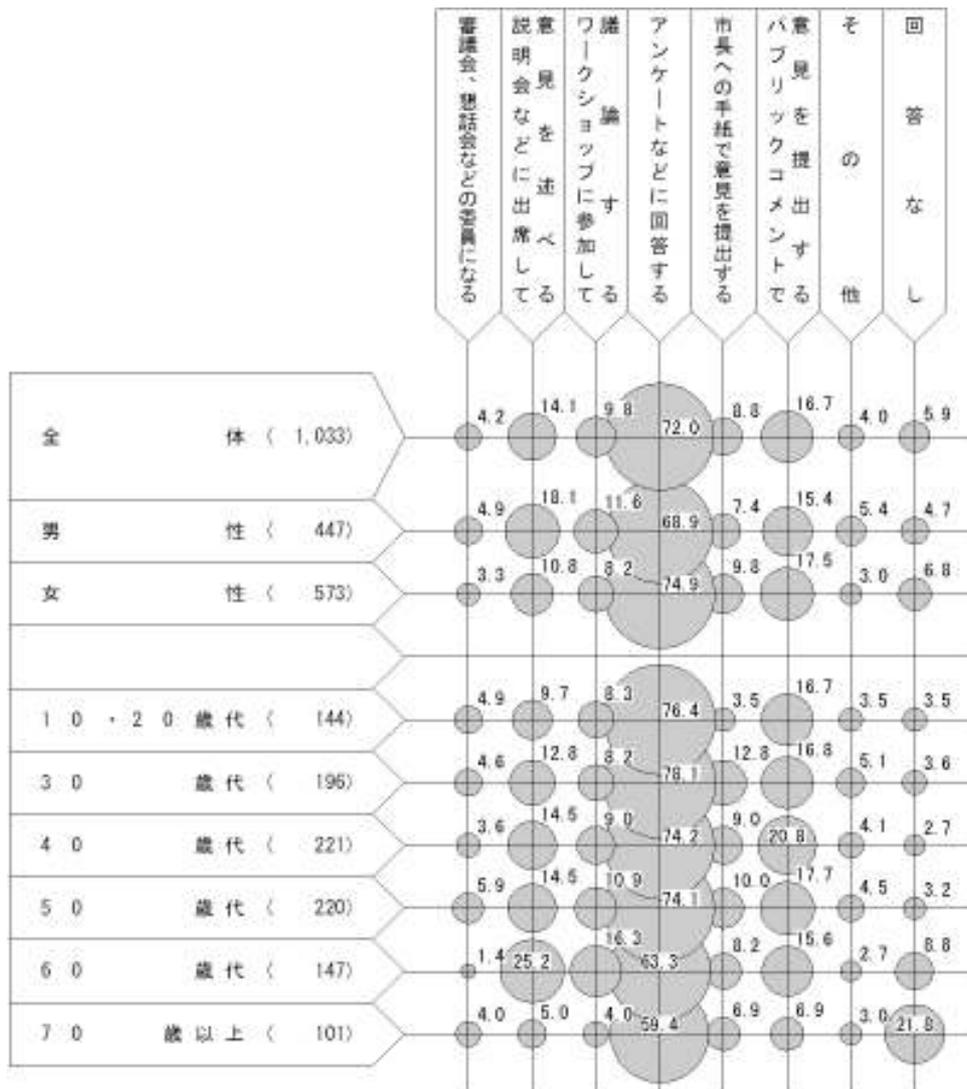
◆「アンケートなどに回答する」が72.0%と圧倒的に多くなっています。直接的な参加より、受動的・間接的な参加意向が多くなっています。

○市政への参加手法については、「アンケートなどに回答する」が72.0%と圧倒的に多くなっています。次いで、「パブリックコメントで意見を提出する」が16.7%、「説明会などに出席して意見を述べる」が14.1%と続いています。

○直接的に参加する「説明会などに出席して意見を述べる」は14.1%、「ワークショップに参加して議論する」は9.8%、「審議会、懇話会などの委員になる」は4.2%に留まっており、直接的な参加より受動的・間接的な参加意向が多くなっています。

○年齢別にみると、“60歳代”で「説明会などに出席して意見を述べる」が25.2%、「ワークショップに参加して議論する」が16.3%と高くなっており、他の年齢に比べ直接的な参加意向が多くなっています。

図6-4 市政への参加



# 7

## 協働の機会、内容、方法

### (1) 「市民協働」の認知度

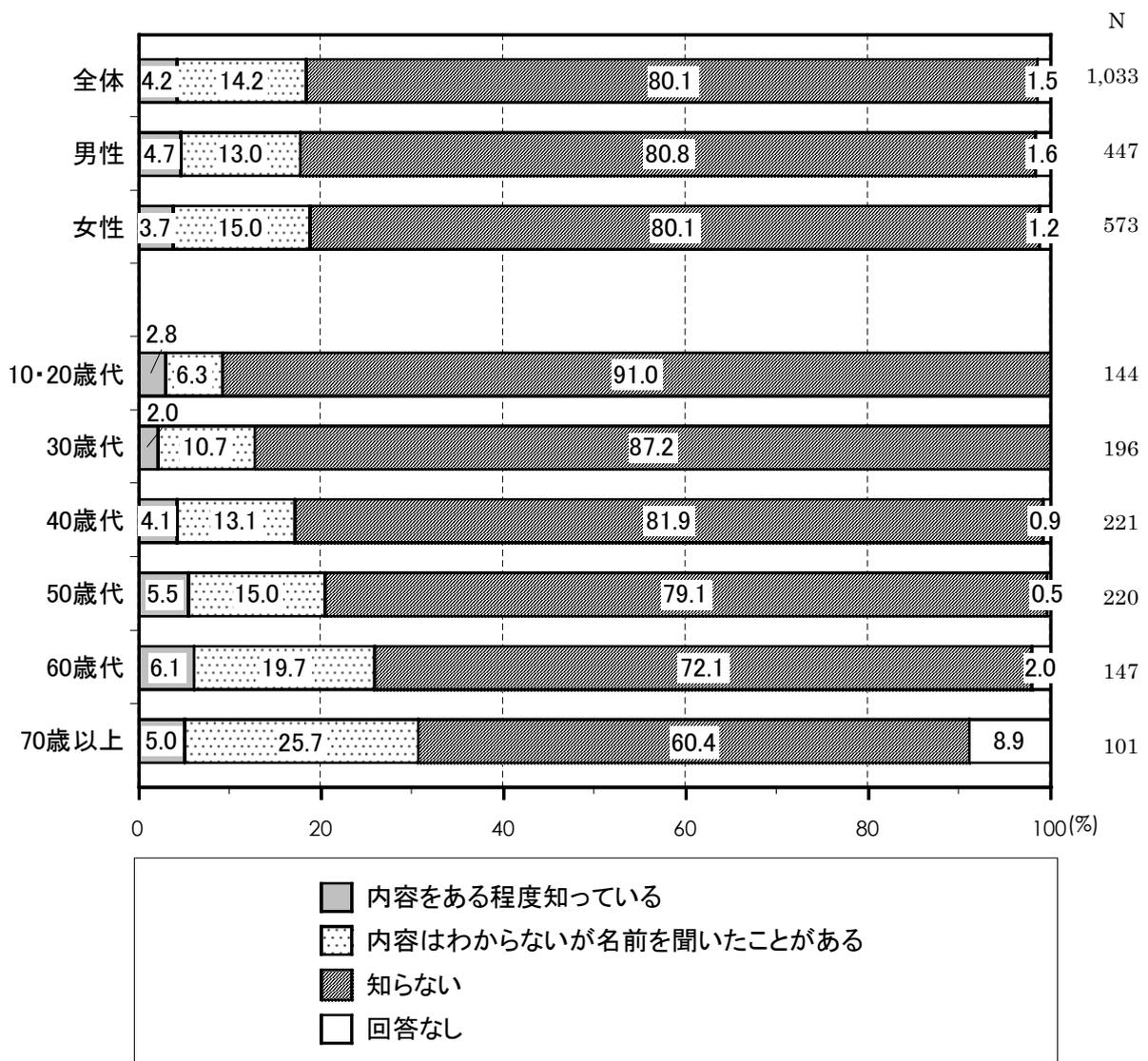
問21 あなたは、「市民協働」をご存知でしたか。【〇は1つ】

◆市民協働の認知度は18.4%と2割に満たなく、市民協働という言葉や意味自体の理解が十分なされていないと推測できます。

○市民協働という言葉の意味など「内容をある程度知っている」が4.2%、「内容はわからないが名前を聞いたことがある」が14.2%となっており、認知度はそれらを合わせた18.4%となっています。市民協働という言葉や意味自体の理解が十分なされていないと推測できます。

○年齢別にみると、年齢が高くなるほど認知度も高くなりますが、認知度が一番低い“10・20歳代”で9.1%、一番高い“70歳以上”で30.7%と大きな差があります。

図7-1 「市民協働」の認知度



## (2)「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」の認知度

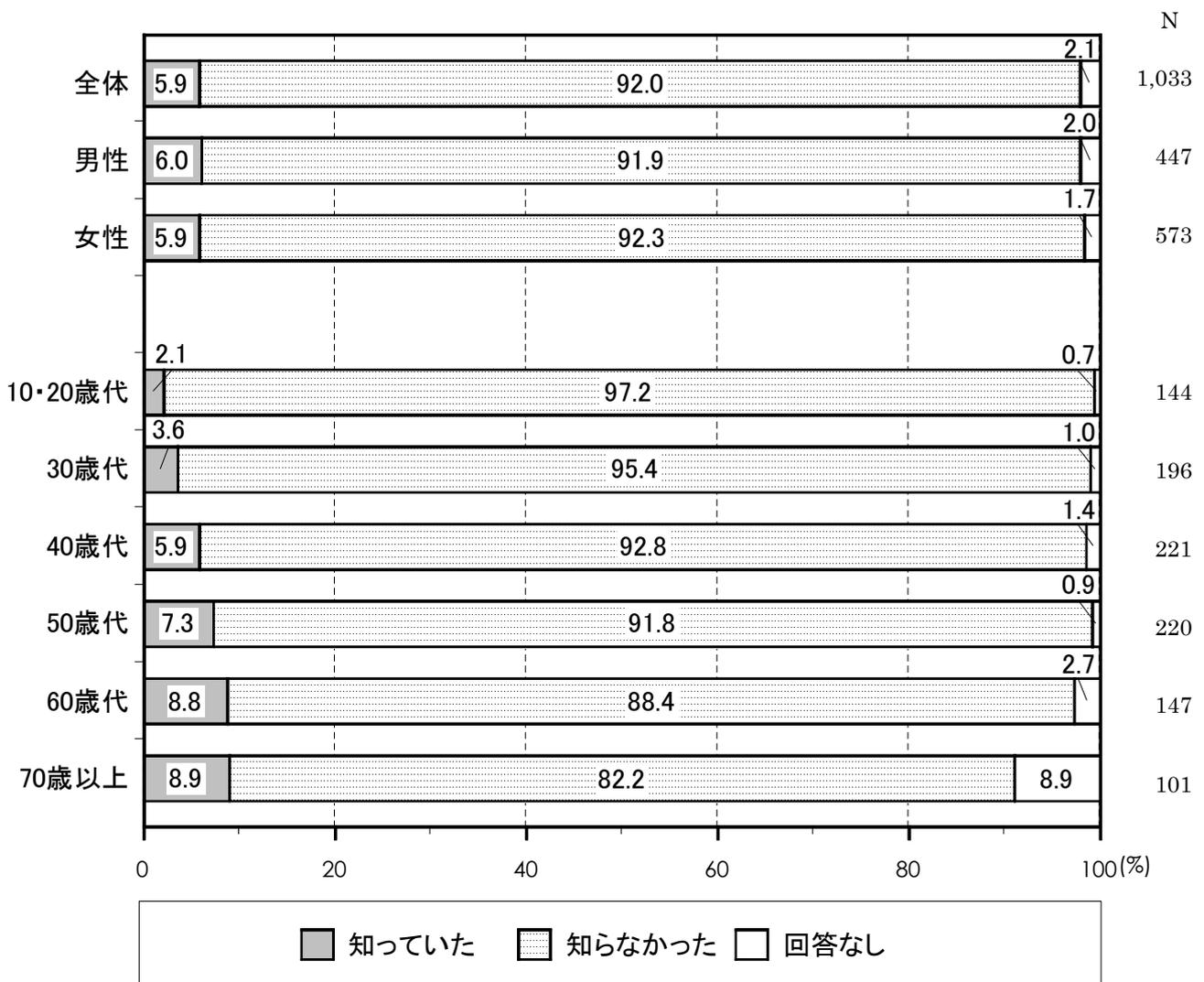
**問22** あなたは、安城市が「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」づくりを進めていることをご存知でしたか。【〇は1つ】

◆「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」づくりについて、「知っていた」は5.9%と非常に低くなっています。

○「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」づくりについて「知っていた」は5.9%と非常に低くなっています。前問の「市民協働」の認知度と同様に非常に低く、情報発信の方法について検討が必要です。

○年齢別にみると、年齢が高くなるほど「知っている」は高くなりますが、一番割合が高い“70歳以上”においても8.9%と1割に満たない状況です。

図7-2 「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」づくり



### (3) 「市民協働推進条例」への関心

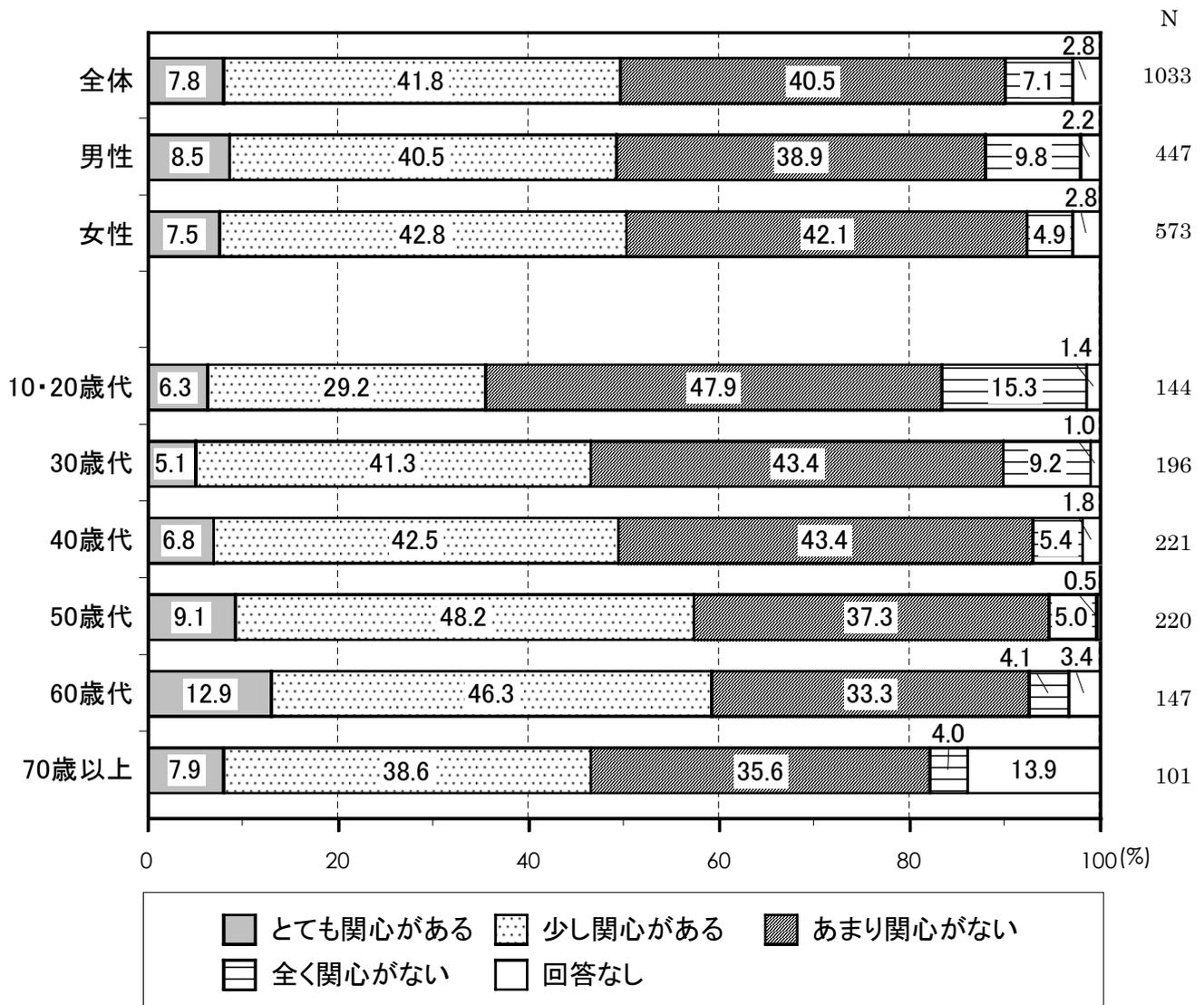
**問23** あなたは、今後策定される「市民協働推進条例」の内容や策定の過程について関心がありますか。【〇は1つ】

◆条例の内容や策定の過程について「関心がある」は、49.6%と約半数の人が関心を持っており、前問では低い認知度であったものの関心度は高いといえます。

○今後策定される「市民協働推進条例」の内容や策定の過程について「関心がある（「とても関心がある」と「少し関心がある」の合計）」は49.6%と約半数の人が関心を持っています。指針や条例づくりの認知度は非常に低くなっていましたが、条例の内容や策定の過程についての関心は高い状況です。

○年齢別でみると、“50歳代”と“60歳代”で高い関心を持っておりそれぞれ57.3%と59.2%となっています。

図7-3 「市民協働推進条例」づくりへの関心



#### (4)「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」への期待

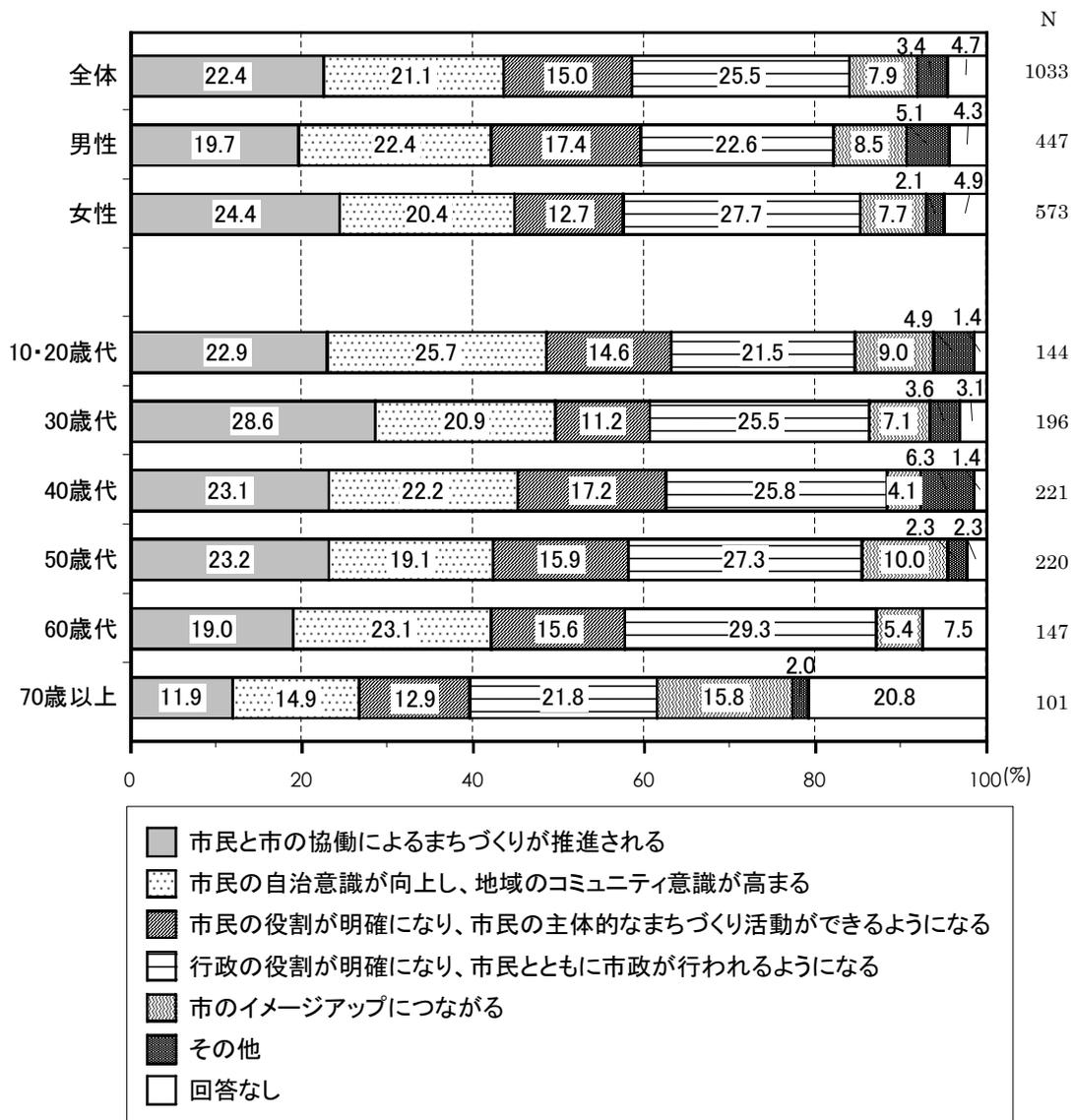
問24 「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」の制定によって、どのような効果を期待しますか。【〇は1つ】

◆「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」が制定される効果については、行政の役割の明確化とともに、市民との市政運営・協働のまちづくりの推進が期待されています。

○「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」が制定される効果については、「行政の役割が明確になり、市民とともに市政が行われるようになる」が25.5%で最も高く、次いで、「市民と市の協働によるまちづくりが推進される」が22.4%、「市民の自治意識が向上し、地域のコミュニティ意識が高まる」が21.1%となっています。行政の役割の明確化とともに、市民との市政運営・協働のまちづくりの推進が期待されています。

○年齢別でみると、30歳代では「市民と市の協働によるまちづくりが推進される」(28.6%)が、“70歳以上”では「市のイメージアップにつながる」(15.8%)が他の年齢に比べ高くなっています。

図7-4 「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」への期待



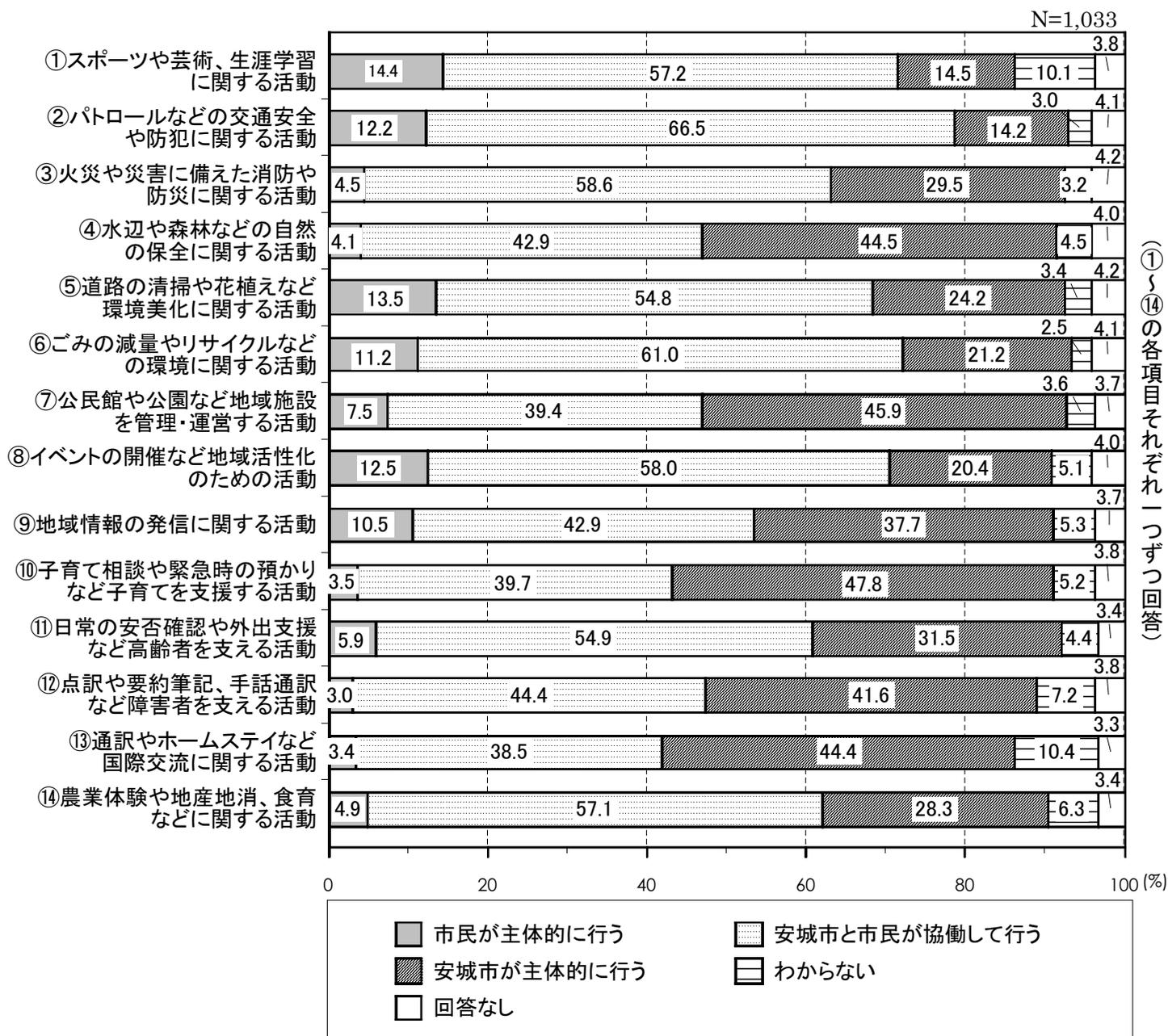
## (5) 市民及び安城市の役割

**問25** 各分野で市民協働を進めるうえで、市民—安城市の役割はどのようにすべきだと思いますか。【〇は①～⑭のそれぞれで1つずつ】

◆「子育て支援」、「地域施設の運営」、「自然の保全」、「国際交流」の4項目については“安城市が主体的に行う”が高くなっていますが、その他は“安城市と市民が協働して行う”が高くなっています。

- 
- 「水辺や森林などの自然の保全に関する活動」、「公民館や公園など地域施設を管理・運営する活動」、「子育て相談や緊急時の預かりなど子育てを支援する活動」、「通訳やホームステイなど国際交流に関する活動」の4項目については“安城市が主体的に行う”が最も高くなっていますが、その他の項目は“安城市と市民が協働して行う”が最も高くなっています。
  - “安城市と市民が協働して行う”は、「パトロールなどの交通安全や防犯に関する活動」が66.5%と最も高く、次いで「火災や災害に備えた消防や防災に関する活動」が58.6%、「イベントの開催など地域活性化のための活動」が58.0%となっています。
  - 「市民が主体的に行う」は、「スポーツや芸術、生涯学習に関する活動」が14.4%と最も高く、次いで「道路の清掃や花植えなど環境美化に関する活動」が13.5%、「イベントの開催など地域活性化のための活動」が12.5%、「パトロールなどの交通安全や防犯に関する活動」が12.2%となっています。
-

図7-5 市民及び安城市の役割



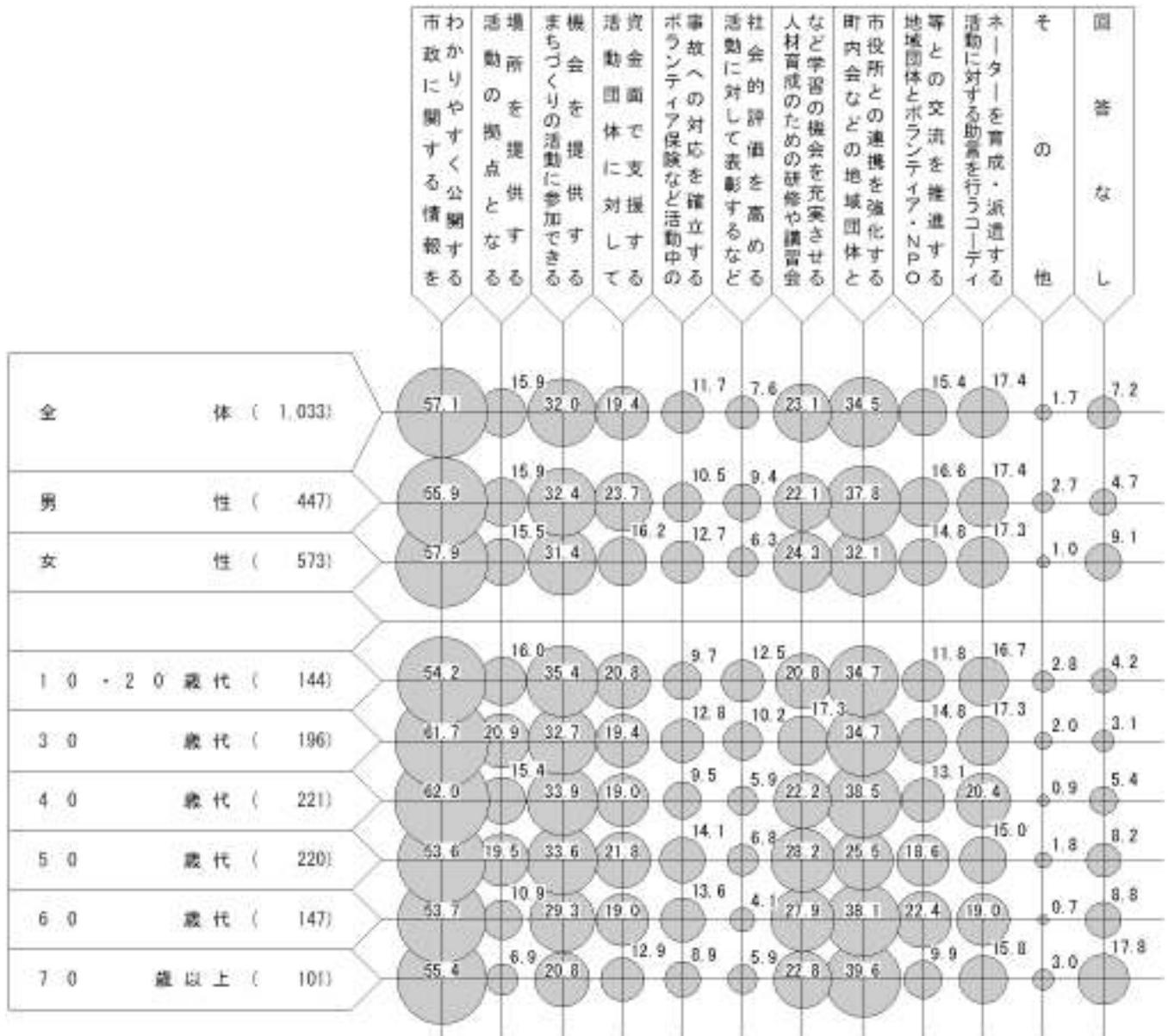
## (6)「協働のまちづくり」の推進方策

**問26** 「協働のまちづくり」を推進するために、安城市は市民や地域へどのような施策・取組みを行う必要があると思いますか。【〇は3つまで】

◆「**市政に関する情報をわかりやすく公開する**」や「**町内会などの地域団体と市役所との連携を強化する**」など、**協働の仕組み・機会の支援に関する項目が上位となっています。**

- 「協働のまちづくり」を推進するための施策・取組みについては、「市政に関する情報をわかりやすく公開する」が57.1%と最も多く、次いで「町内会などの地域団体と市役所との連携を強化する」が34.5%、「まちづくりの活動に参加できる機会を提供する」が32.0%となっており、協働の仕組み・機会の支援に関する項目が上位となっています。
- その他、「まちづくりを行う人材育成のための研修や講習会など、学習の機会を充実させる」が23.1%、「活動団体に対して資金面で支援する」は19.4%、「市民や地域のまちづくり活動に対する指導・助言を行うコーディネーターを育成・派遣する」は17.4%となっており、活動の人材・資金への支援がそれぞれ20%前後となっています。
- 年齢別にみると、「まちづくりを行う人材育成のための研修や講習会など、学習の機会を充実させる」は“50歳代”が、「町内会などの地域団体と市役所との連携を強化する」は“70歳代”が、「町内会などの地域団体とボランティア・NPO等との交流を推進する」は“60歳代”が高くなっています。

図7-6 「協働のまちづくり」の推進方策



# 8

## 公共施設の利用



### (1) 公共施設の利用状況

**問27** あなたが過去1年間に利用したことがある公共施設を教えてください。

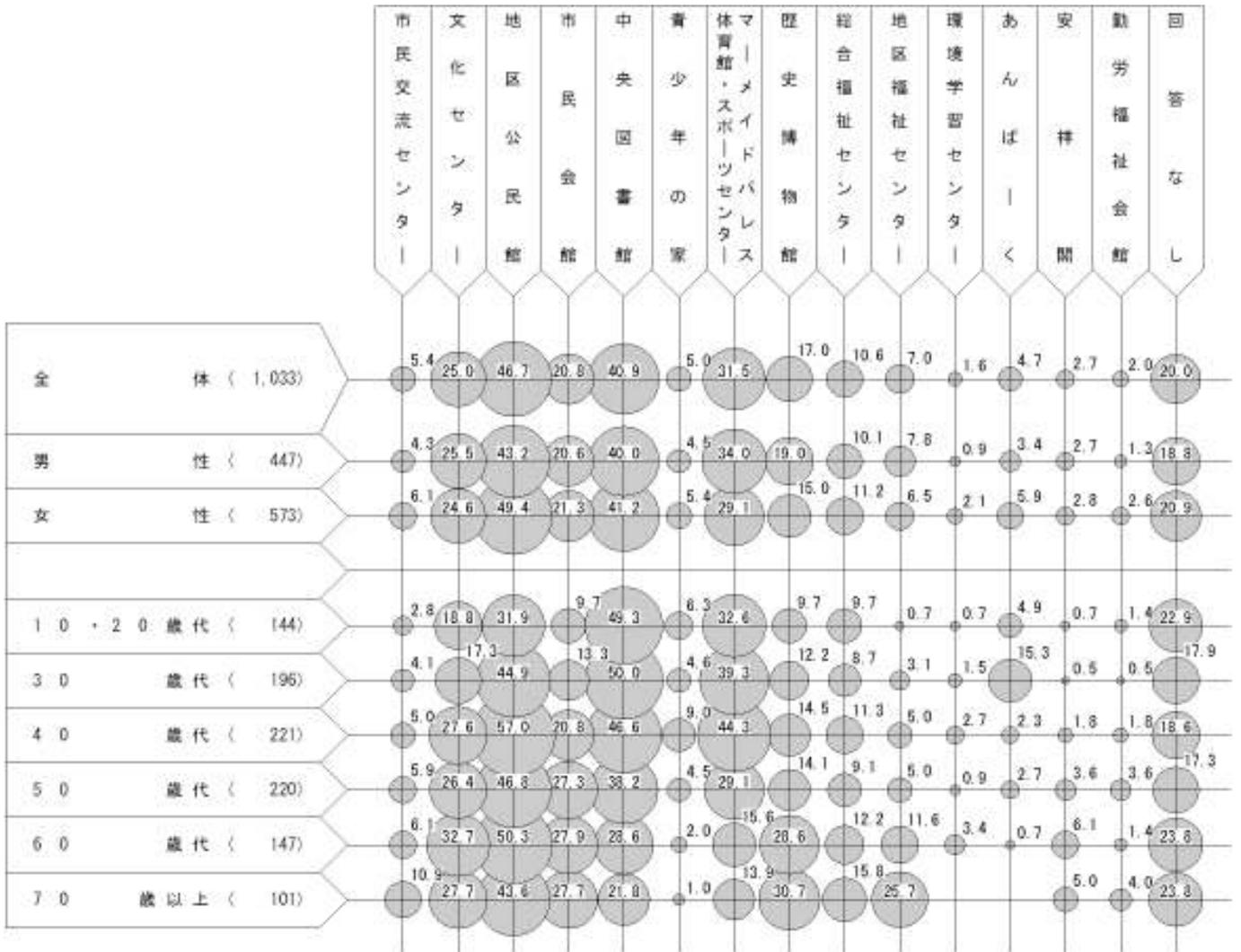
【○は当てはまるもの全て】

◆「**地区公民館**」や「**中央図書館**」が市民に多く利用されています。一方で、「**回答なし**」が**20.0%**と他の設問よりも高く、**全く利用していない人が含まれていると推測**されます。

○過去1年間に利用したことがある公共施設については、「地区公民館」と「中央図書館」がそれぞれ46.7%と40.9%で高くなっています。次いで、「体育館・スポーツセンター・マーメイドパレス」が31.5%、「文化センター」が25.0%、「市民会館」が20.8%で続いています。一方で、「回答なし」が20.0%と他の設問よりも高く、全く利用していない人が多く含まれていると推測されます。

○年齢別でみると、“10・20歳代”では「中央図書館」の利用が多く、“30歳代”では「中央図書館」、「地区公民館」、「体育館・スポーツセンター・マーメイドパレス」、「あんぱ〜く」、が、“40歳代”では、「地区公民館」が「中央図書館」を抜き最も多く、「体育館・スポーツセンター・マーメイドパレス」、「文化センター」の順で、“50歳代”では「市民会館」が、“60歳代”では、「文化センター」、「市民会館」、「歴史博物館」が、“70歳以上”では「市民交流センター」、「市民会館」、「総合福祉センター」、「地区福祉センター」が多くなっています。

図8-1 過去1年間に利用した公共施設



## (2) 活動しやすい公共施設の運営

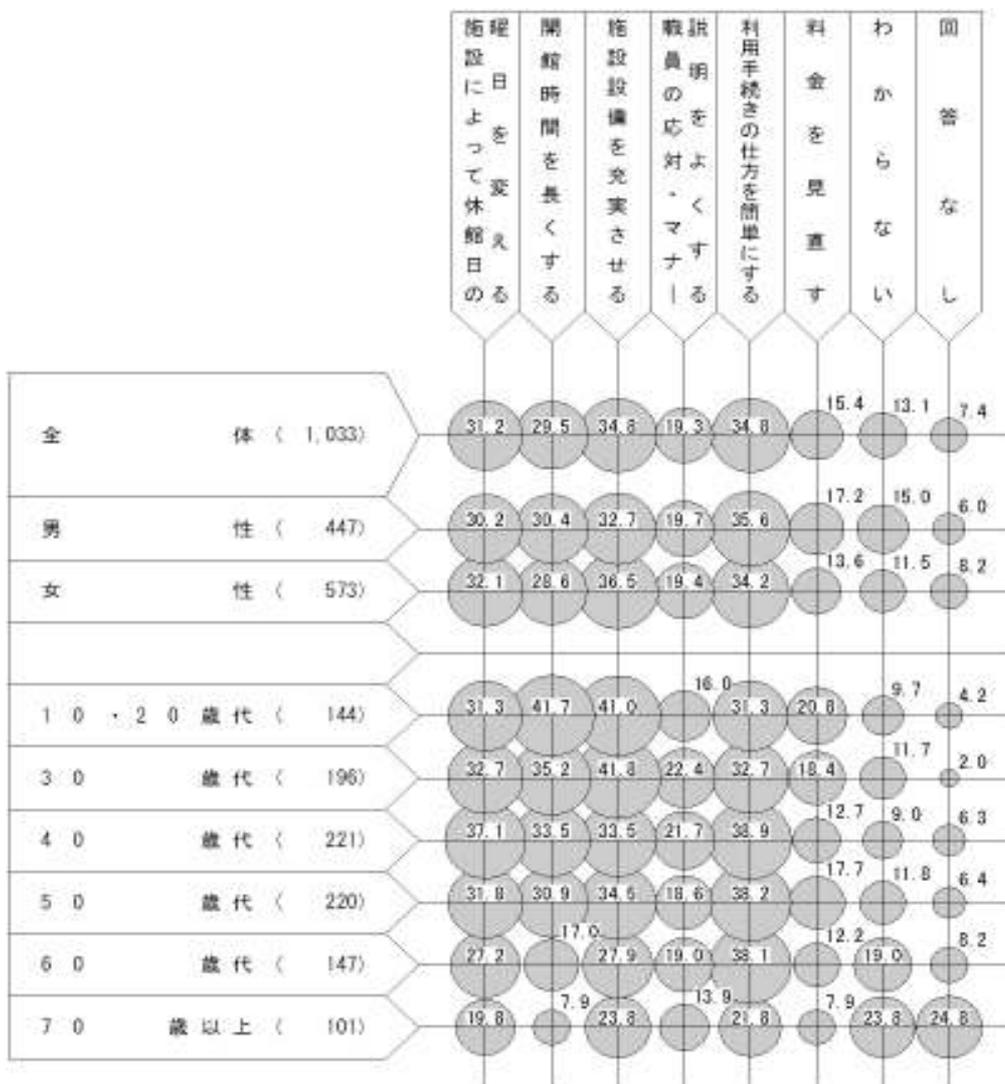
**問28** 市民がより活動しやすい公共施設として、どのような施設運営を行う必要があると思いますか。【〇は3つまで】

◆設備の充実、手続きの簡略化、休館日・開館時間の見直しなどが活動しやすい施設運営として望まれています。特に若年者層では、設備の充実と開館時間の見直しが求められています。

○市民がより活動しやすい施設運営については、「施設設備を充実させる」と「利用手続きの仕方を簡単にする」が共に34.8%で最も高くなっています。次いで、「施設によって休館日の曜日を変える」が31.2%、「開館時間を長くする」が29.5%となっています。設備の充実、手続きの簡略化、休館日・開館時間の見直しなどが活動しやすい施設運営に必要です。

○年齢別でみると、“10・20歳代”と“30歳代”の若年者層で特に「施設設備を充実させる」と「利用手続きの仕方を簡単にする」の回答割合が高くなっています。また、“40歳代”では「施設によって休館日の曜日を変える」が、壮年者層、高齢者層ともに「利用手続きの仕方を簡単にする」が高い傾向にあります。

図8-2 市民が活動しやすい公共施設



## 9

## 自由意見

問29 市民協働を推進するためのアイデアやご意見など、ご自由にお書きください。

◆自由意見については、約2割の人から回答があり、意見数は222件でした。

- 自由意見については、1,033人中179人（17.3%）から回答があり、意見数は222件でした。
- 自由意見の内、特に多かった項目としては、「協働の機会、内容、方法」（54件）、「まちづくり」（32件）、「地域活動（町内会等）」（24件）、「行政全般」（24件）などの意見でした。

地域活動（町内会等）（24件）	性別	年齢	中学校区
町内会について、加入する意義を感じられないが、今は加入している。町内会費のほかに神社費の集金や募金などの協力費の集金が多いと思う。自分の町内に何人いるのかもわからないし、集めた会費などどのように使ったか明細等出してほしい。	女性	40歳代	安祥中
他県から移ってきたため、なかなか町内会や市民活動に参加する機会が無かった。今回、子供が生まれ、安城での住まいも長くなると思う。今後は町内会など参加したい意思はあり、地域住民として、周囲の人たちとコミュニケーションを大切にしたい。市報等の広報誌を参考にしていきたいと思う。是非とも、他県から来た我々のような人たちでも参加できる、安城を知る機会が得られることを期待している。	男性		安城北中
中心部の町内では町内会に加入しない世帯、子ども会に加入しない小学生が急増している現状と聞く。市民協働の推進には、町内活動との連携が不可欠と考える。市が積極的に自主組織への加入促進のための対策を講ずべきと考える。	男性	60歳代	安城南中
町内会は、加入しなければいけない（賃貸住宅）ので、しぶしぶ入っています（管理会社）が、町内会加入は自由の方がいいと思う。形だけ入っているだけで何もかわっていない。他の方も賃貸住宅だけ別にみているようで何も意味がない。	女性	30歳代	安祥中
今はまだ自分のことで時間を使用しているが、もう少し大人になったら安城市民という自覚を持ち。明るく楽しい安城市、町内活動に参加できるよう勉強したいと思う。	女性	10歳代	安城西中
町内会というのは具体的にどのような人がいるのか、何をやっているのか、私たち地域住民にとって、本当の理解や地域のことを知っているとは思えない。地域住民にとって、1番近い立場は町内会だと思うので、透明性の向上を行っていただきたいと思う。 篠目公園で行われる夏祭りはとても良い交流の場だと思う。このような地域の団体、町内会等が親睦を深め、地域住民とのふれあいの場を作って、市民協働活動を行うと良いと思う。	男性	30歳代	篠目中
今、盆踊りは青年団主体で行っていて、灯が消えてしまいそうでとても不安。今は参加が強制ではないので年々人数が減って寂しい。もっと活気があったらと思う。	女性	40歳代	明祥中
町内会の役員は、町内住民の代表のはずだが、外から見ると閉鎖的に見え、もう少し他の住民とのコミュニケーションがあっても良いのではないか。それが市と町内会と住民との間の繋がりや、情報ステーションの役割を果たすことで市と市民とを繋ぐ大きな役目ではないか。	女性	50歳代	安城南中
町内会に入会しないと災害に遭った時、物資の配給は無いと言われた。町内会の組織は協働の基礎であって、村八分の母体にならないようお願いしたい。	女性	40歳代	安城南中

市民税+町内会費を払わないで最低限の行政サービスも受けられないのは、市民税が他の市町村より高額であるということ。これ以上行政の仕事を減らすのは増税と同じ。増税+強制労働をすすめるなら安城市から出るしかない。もっと行政サービスを充実してほしい。 町内会費もほとんどが町内会長への報酬である。	男性	30歳代	篠目中
PTAは任意の団体なのに、勝手にPTA会費を徴収された。市立の学校だが、市はどう考えているのか。市税以外のものがとにかく多すぎる。きちんと任務を果たしてほしい。	男性	30歳代	篠目中
高棚町に住んでいるが町内会自ら、まちを住みにくくしているように思う。自分の家の隣には大型トラックの大駐車場が数年前に出来た。周りの住人の反対意見も現場状況の確認やその報告もなく、町内会が「はい、そうですか」で印鑑を押印してしまった。 今では酷い騒音で眠れない日々が幾度とある。町内の活性化とか、地元の振興とか言うが、その前に風景の変わる大型施設や建物を造る計画があるなら事前に住民たちの意見を聞くべきではないか？現状高棚町ではそれが見られない。 このトラック駐車場の横を小学生が通学路としていて、時間帯によっては車の往来が非常に多い割には信号が設置されない。事故や犠牲者がでないとは動かないのであろうか？	男性	30歳代	安城西中
地域によってはかなりの重労働な役割を順番と言う名のもとに課せられることもあり、各人の事情も考えてもらえないという辛いものがある。同じ市民としても、千差万別、得意、不得意、健康状態…無理強いをすることなく自分のペースで参加できることをやれるようなものにしていただきたい。	女性	60歳代	安祥中
安城市があつてそれぞれの町があり、町の中に区がある様に、町の中のそれぞれのその年の役員さんや代表の方々が今以上に各集会に参加し、その内容を自分たちの町内に発散していけばより濃いつながりになると思う。	女性	30歳代	東山中
町内会は、賃貸住宅の住人は会費を払っているだけで何もしていないので、関与する(しやすい)仕組み作りを。参加したくてもどう参加すればいいかわからない。	男性	30歳代	安城西中
昨年、中学校のPTAで役員をさせていただいた。任期は1年なので、町内会さん等もよく分からないまま終了だった。確かに1年間は小学校の行事等で忙しかったが、終わってしまうと何となくさみしい。縁あつて引き受けた役員なので、任期終了後町内会さんの一部として役員OBの集まりで何かお役に立てる活動ができたらと思う。学校にOB会として残すのは、子どもが卒業してしまった後は学校とのつながりも薄くなると思うので、町内会がいいと思う。強制ではなく、希望者のみでOKだと思う。小中学校の役員さんをされる方は、30代・40代の方が多いと思うので、現在の町内会さんの活動からもっと幅広い活動ができるようになると思う。	女性	40歳代	篠目中
現在在住している所は、古くから住んでいる方と私たちのように新しく住んでいる人とかが混在している。町内会には、管理会社からの依頼もあり加入しているが、実際にあまり活動をしているわけではない。新しい住民でも町内会活動や市民協働について大きな関心を持ち、参加意欲を持っている人もたくさんいるように思う。古くからの住民の方々が新しい人を入れてあげたいという気持ちが高くなれば、もう少し町内会の活動にも参加しやすくなるのではないか。	男性	30歳代	東山中
町内会があるのを初めて知った。	男性	40歳代	安城北中
街路の木が植えてあるところが草だらけ。リーダーになる人を作って、町内会でやったらいい。町内会から組長に頼み、皆さんに連絡して、1か月に1回または2回草取りをする。(岡崎～刈谷線が草が多い)	女性	60歳代	安城南中
市民協働を推進すると言われるが、町内会加入率70%くらいでは十分な活動ができない。独居老人の死亡など大きな問題があるにもかかわらず、市民にお願いするばかりではないか。	男性	60歳代	桜井中
町内会、老人クラブの加入率100%を目指しプロジェクトチームを立ち上げ徹底するべき。	男性	60歳代	桜井中
子ども会の活動も、親同士の付き合い、子どもの友達関係に良い。	女性	50歳代	東山中
PTAの役員で、町内会長、先生方のつながりができて良い。	女性	50歳代	東山中
いろいろな意見を沢山書いてしまったが、今回のアンケートに記入させていただいたので、読んで欲しい。しっかりと読んでいただけないのであれば、今回のアンケートの意味がないように思う。何のとりえもない、ただの主婦が感じたことを安城市さんの心に入れてもらえれば良い。少しでも何年か後に、取り入れ	女性	30歳代	東山中

	てもらえれば良い。子ども会のことをたくさん書いたが、役員仲間と永遠の友達になれたのでいい思い出。しかし、主婦の体力には限界だった。			
市民活動（ボランティア・NPO等）（5件）		性別	年齢	中学校区
	わが町内会ではボランティア活動が盛んである。中学生などもボランティアと言って、色々ある。部活やテスト勉強の時でもボランティアに強制的に、という感じで子どもは嫌になっている。	男性	40歳代	安城西中
	自身足が不自由でボランティアなど協力できないのも申し訳ない。	女性	70歳以上	
	ボランティアを「無償で使える労働力」と考えている人（職員）もいる。お互いに助け合うためには、そのような考え方は無くして欲しいと思う。	女性	40歳代	桜井中
	現在の市民活動は60代以上のリタイア組が多いイメージがある。仕事を持つ若い世代が参加しやすい環境が整わないと、あまり成果のない活動で終わそう。時間のある人が暇つぶしにやっているイメージ。	男性	40歳代	安城北中
	選挙だけでなく、サークル活動やイベントなど誰でも参加できる機会が増えればいいと思っている。	女性	30歳代	安城北中
市民の意見の反映状況（6件）		性別	年齢	中学校区
	「市民協働」という言葉の意味が良く分からない。しかし、安城市の政治に少しは興味があるし、安城市をより良くすることには協力したいと思う。政治と言うのは制度が分かりにくいので、私たち一般市民には理解できない部分が多い、日常生活においてなんとなく不満があっても、どうすることもできず、受け入れざるをえない。政治の仕組みをもっと分かりやすくして欲しい。	男性	30歳代	東山中
	アンケートの中にも、内容が難しく理解できない専門用語や文章がたくさんあった。市民が気軽に政治に参加したり、意見を言ったり、投書したりできるようにして欲しい。	男性	30歳代	東山中
	市に周知するための広報の強化。	男性	30歳代	安城西中
	公民館など市の施設に協働案などを推進するポスターや張り紙などをする。	男性	10歳代	安城北中
	大人だけでなく小学生～高校生にも、プリントを配るなどして興味を持ってもらう。	男性	10歳代	安城北中
	協働や条例など知らないことばかりだった。興味を持たない限り、市の情報は市民に入っていないことを実感した。ホームニュースや広報は読んでいるが、市の活動に関わっていない人はほとんど市のことを知らないと思う。もっと現代に合った工法の仕方を取り入れてもいいのではないかな。	女性	30歳代	東山中
協働の機会、内容、方法（54件）		性別	年齢	中学校区
	市民参加を推進するため、施設利用や活動参加の際にスタンプやポイントカード等を発行し、特典を付けて参加を推進する。また、そのカードに条例の内容などを記載し、PRに役立てる。	男性	40歳代	篠目中
	市政や地域活動等にはやや興味があり、イベント等情報を入手していれば参加しているが、今回アンケートで初めて「市民協働」や条例等を知った。自分たちの住むまちをより良くしたいと誰しも考えていると思うが、その手段や機会が分からず、自分から行動するのは面倒で堅苦しいと考えがちである。もっと気楽に情報を入手でき、（自然に）半強制的に参加できるようなシステムができれば良いのと思う。	女性	30歳代	安城南中
	市の決定事項を市民（その団体等）にお願いするのがいいかと。バラバラなリーダーにお任せするとややこしくなってしまうようで。安城市はとても優しい市だと思う。	女性	30歳代	篠目中
	市政をもっとオープンにする。基本だと思うが、市民の声、意見を1人1人聞く。市議会等に市民を参加させる。（発言権を）	男性	10歳代	安城西中
	市民協働という言葉を知り、困惑したが、ある程度関心を持っていることだと思った。市、町内会、社会としてのルールやマナーをしっかりと意識して生活しているつもりである。その中で感じるのは、ルールを守らない、協力しない人が多いことである。その人たちにいかに関心を持ってもらうかが大切ではないか。町内会に入っていないと集まりで話を聞くチャンスも無く、回覧板を目にすることも無いのだと思う。いつもやっている人にもっとやれ、というだけでなく、やっていない人にもいかにやらせるかを考えるべきだと思う。	女性	40歳代	東山中
	ハンディのある高齢者も気楽に活動できる組織にならないとうまくいかないと思う。	男性	50歳代	桜井中

市民が参加しやすいイベントの企画や参加しやすい雰囲気を作ることが大切だと思う。	女性	20歳代	安祥中
市、ボランティア、NPO等、町内会との交流を推進する。	女性	50歳代	安祥中
市民協働で市民が主体となって、という活動は中心となる人がいるとなかなか回らないが、必ず必要となるもの。役所の働きかけ、動機づけを頑張してほしい。	男性	30歳代	桜井中
いつも思われることは、宗教に対する偏見。共通の目的のためにやっていることが生かされず、お互いが損をしている。宗派を問わず、地域のため、日本のため、世界のためにボランティアを積極的に真心こめてやっている人が多いのに、交流センターには登録できない。どうしていつも宗教を別の枠に括り、参加させないのか。もっと実態を見て、ともに行動できたら良いのに、と思う。	女性	40歳代	安城北中
芸能や手芸などの文化、趣味活動等全体的に日中のものばかりで、働いている者には利用できない場合が多い。	女性	40歳代	安祥中
仕事と家事で忙しいと勝手に理由をつけて何も参加していない。市で決まったことに関しては文句は言わない。皆さまご苦労様という気持ち。時間に余裕ができれば考えたいと思う。	女性	40歳代	安城西中
「市民協働」「自治基本条例」「市民参加条例」等。安城市民として何も知らなかったのが、本当に恥ずかしい。もう少し自分の住んでいる安城に関心を持ちたいと思った。	女性	20歳代	安祥中
まちづくりには協働が必要である。行政だけでなく、市民、企業(事業者)行政が協働を推進できる制度とか体制が必要である。	男性	50歳代	安城南中
協働について、頑張ったメリットがほしいのでは？ ゴミの減量が実現できたら、その地区(町内)の市民税が5%減。NPO、ボランティアの成果によって表彰することでやる気を更に高める。 安城市が協働をメインテーマとするならば、市役所に「協働のまちづくりをするんだ」という意思表示のため、垂れ幕等全市民にアピールすべき。	男性	50歳代	安城南中
子どものサークルをやっていた。役員になって、補助金を市から頂き、その説明を受けたり書類を書いたりした。その時初めて、地域サークルにも市からの補助があることを知り、細かいところまで配慮されていると実感した。サークルを進めていく上で、それは大きなお金になり、楽しく活動できた。ただ、書類提出やお金の支給時期について、もう少しこうしてほしい、という要望は少なからずあったので、そういった意見を汲み取れるようにし、改善されると良いと思う。	女性	30歳代	東山中
若い人をお願いをして。高齢者には分かりかねる。	女性	70歳以上	安城北中
市民協働は、無くても良いがあったらうれしいもの、生活が潤うため。行政の仕事は無いと困るものである。	男性	30歳代	篠目中
市民からのアイデアにいくばくかのお金を払う。	女性	50歳代	安城西中
市民協働という言葉はわかりづらいので、簡単に親しみやすい名前をつけてみるのは如何？	女性	40歳代	安城西中
自分は69歳の高年齢だがまだまだ仕事をしている。 年寄りが元気に参加できるようにしてほしい。	女性	60歳代	東山中
納税しているので、きちんと意見も言える場所がほしい。	女性	30歳代	安城北中
【市民協働】という言葉の感じが硬い。 「市民協働って何？」推進するより市民協働が何か知らない人が多いのでは。	男性	30歳代	安城北中
市民協働を推進するにあたり、我々市民は市政が具体的にやったこと・やれないことを明確にして、やれていないことを協働してやっていくようなことを考えてほしい。 また、実職員が地域まで動いて見ているのか？と思うことが多々ある。 道路環境整備もメインのみ、住民はメインの人ばかりではない。なので課ごとにやってきたことを明確にしてほしい。	男性	40歳代	東山中
ひと家族ごとのヒアリングが必要なのでは？ 本音が聞ける体制にしないと協働以前の問題で犯罪みたいに解決しない問題が残る。	男性	40歳代	東山中

<p>主人を亡くし、市外に勤務している。 近所の人とは最近、話ができる様になったものの今後何をするのがわからない。 勤めているうちはいいが、今後のために準備をしなければと思っている。交流の場に出る勇気がいまもない。こんなひとり暮らしをしてる人は他にもいると思う。 気軽に市のイベント(子どもと老人達と一緒に町内の美化運動や若者達と軽い運動を一緒にできるような)に参加出来たらいいなと思う。</p>	女性	60歳代	明祥中
<p>ごく一部の人が市民協働等の活動にいつも参加していて、大部分の人は全く関係ない・関心ないというのが現状ではないか。 でも今回の東日本大震災で地域の住民と市との協力がとても必要と思った。 市に頼っているだけではこのような震災時、パニックになるだけだと思う。 地域のつながりの意識を高めて、防災に努められたらと思う。 まずはご近所さんの顔と名前を知ることから始めないといけないが・・・</p>	女性	30歳代	安城北中
<p>市民協働は良いことだと思うがタダでは協力できない。 興味を持ってもらいたいと本気で思っているなら【お金】や【物】で関心を惹かないと思う。 何かくれるなら(PC・デジカメ・旅行券・おいしいスイーツ)一生懸命協力する。</p>	女性	30歳代	安城北中
<p>安城市は人口・出生率等の面において発展を続け、活気のある町であると思う。今後のさらなる発展とより良いまちづくりのためにも行政と市民の協働は重要になってくるだろう。 今回のアンケートでは市民協働がテーマであったが、協働において地元企業が果たす役割も大きいものとする。とりわけ環境保全・リサイクルといった面では行政・企業・市民の三者の協力が功を奏せば、より高い相乗効果が得られるのではないだろうか。 私見だが、自分のように安城市で生まれ育った者は地元愛が深いようであるが、より積極的に地域や市政に貢献しようという意識が根付いているとは思えない。 その理由に効果が実感しにくい意見が施策に反応される期待の薄さ等が考えられる。まずは市民に直接利益があり、意見を取り入れやすい分野で協働を行い、成功させることでより多くの市民の意識を高めることに繋がるのではないだろうか。</p>	男性	20歳代	篠目中
<p>具体的なアイデアなど、まだよくわからず(市民協働について)ピンとこない。 幼稚園や保育園、小中学校や公民館などで意見を募る機会があってもいいのでは。 【市民協働】という言葉に込められた思いを広めることがまずは必要な気がする。</p>	女性	30歳代	東山中
<p>安城市も市民も協力し合って楽しいまちづくりが出来ればいいと思う。 【市民協働】初めて知ったので市が行っていることを知る機会があるとわかりやすい。</p>	女性	20歳代	東山中
<p>常々、安城だより等で催しやサークルの紹介があるが、どれも平日昼間の時間設定が多く、「働いている者のことは考慮されていないのだな。」と感じていた。 今時、共働きで平日は朝から夜遅くまで安城にいないと思う。 そういう人達も参加しやすい集いを設けることが有効かと思う。</p>	男性	30歳代	東山中
<p>難しい事はわからないけれど、なんでも協力するのが一番だと思うし、足りない所は補って一番良い形にすればいいのでは？まず何をしてほしいのか聞きたい。</p>	女性	10歳代	安城北中
<p>自分は安城市以外から安城市に引っ越して5年が経つ。現在賃貸アパートに居住。地域との関わりがない。こちらが持とうとしていないものもあるが。家を持つようになってから、地域との関わりもある様に思うが、アパートに住んでいる間はみなさん市民協働ができるのか。賃貸・団地・社宅等、自分以外の持ち物に住んでいる人たちも、意志のある方が積極的に参加できるような姿勢・体制ができることを望む。</p>	男性	30歳代	わからない
<p>このアンケートを終えても正直、「市民協働」と言うものが何を意図しているのかよく分からない。市民が協力しあって、助け合い、より良いまちづくりをすることは当たり前で、あえてそれを半強制的にやろうとしていることが不思議な感じを覚えた。</p>	女性	60歳代	安祥中
<p>「協働」ではなく、もう少し親しみやすい名称が良いと思います。</p>	女性	60歳代	安祥中
<p>もっと情報を公開してわかりやすくした方がいいと思う。</p>	男性	30歳代	安祥中

常日頃、勤務先の仕事に力を注ぐあまり、条例などのことや町内会について全く知識がなかった。大変申し訳ないと思っている。少しずつでも理解するよう努める。	男性	40歳代	わからない
アイデアではないが、もう少し小さな声も拾える方法があると良い。	女性	50歳代	安城南中
自分の住んでいる市に興味を持つこと自体、なかなか難しい。難しいかもしれないが、若い人たちを含め、興味を持ってもらえるような方法が必要だと思う。	男性	20歳代	安祥中
今までは勤めていたので、ほとんど参加していないが、今後できる範囲で参加したい。まだ、活動について理解できていないので、アイデアはない。	女性	60歳代	安城北中
専門の情報誌、すでに発行されているならばいいのだが、なければ一覧になったものを年に1~2回発行するとかして知らせてもらえれば、選んで参加ができるのでは。不足している人材のところ、募集を出すとか定期的に募集をしているところを知らせるとか。	女性	50歳代	わからない
対話する機会を数多く設定することが、市民協働推進の大きな力になると思う。	男性	30歳代	東山中
協働の意義・効果を子どもころから教育して、将来の担い手の育成をすることが大事では。	男性	50歳代	安城西中
市民協働についてもっと宣伝し、啓蒙した方がいい。私は今回初めて知った。	男性	50歳代	わからない
今回アンケートをいただくまで「市民協働」についてまったく知らなかった。なので、冒頭の文から「そうなの?」って感じ。また、「市民協働」の言葉のアピールが少ない気がする。これではお互いに協力して、をめざしているのに、市民は置いてけぼりになってしまったり。「〇〇がきました。市民協働なのでやってください」と押し付けになってしまう可能性もありそう。せっかくいいことをするならば、もっと開かれた場でやっていった方がいいのでは。	女性	30歳代	篠目中
市民協働の推進は理解でき、大切なことだと思うが、なかなか協力する時間がない。	女性	30歳代	篠目中
どこの自治体も、ほとんどの関心ごとが高齢者や障害者、子育て支援をうたっているが、そこだけの人に対しての協働ではなく、高校生から結婚前に働く人や子育てを終えて自分の時間を持っている人たちにも、色々な労があると思う。そんな人たちにもフューチャーして政策を考えていかないと不公平だと思う。働き手の年代の住みやすい市を作り、税金を上げることも重要に思う。	女性	30歳代	安城西中
自分に時間のゆとりがあればいろいろ参加できるが、この社会では…。	女性	30歳代	安城北中
定年した人々が気軽に参加でき、10代から60代と接することがよりよい社会を作ると思う(交通指導などいいと思う)。	女性	30歳代	安城北中
成長モデル案。地域課題(防犯・環境・教育・福祉・地域振興など様々な分野において)地域の助け合いによる解決が必要とされる公共的課題をモデルとする。課題によって登場人物の広がりや変わっていく。①地域課題に気づく人②問題意識を持って解決に向けて動く人③協力者が登場する。地域課題を解決していく過程で、空間が大きくなりそれだけ人や知識が集まってくる。	男性	50歳代	明祥中
地域課題解決のための仕組みづくり。①まちの情報・課題を探し出す仕組み(気づいた人が気軽に言える場や仕組みづくり)、②情報を整理する仕組み(集まった情報をテーマや地区ごとに分けたりするなど、見る人が興味を持って、見やすく整理、公開)、③整理された情報を見られる仕組み(誰もが気軽に簡単に意見やアイデアを言える仕組み)、④解決する仕組み(整理された課題と人をつなぐ)など、市民と行政がプレイヤーであること、そんな物語を作る。	男性	50歳代	明祥中
協働社会のあり方を考える「安城市民参加円卓会議」をやる。	男性	50歳代	明祥中
誰もが自由に参加したことは、続けられて、しなければ良くならないと感じ、行動するという意味がとても深いと思った。市民が提案し、行動することは長く続けられると思う。	女性	50歳代	東山中
<b>公共施設の利用 (22件)</b>			<b>性別</b>
			<b>年齢</b>
			<b>中学校区</b>
デンパークに動物を常時おいてほしい。	女性	10歳代	安城西中
駅前更生病院の跡地は、道の駅になると良い。地域の農産物を使って料理を提供できれば良い。もっと安城市の良さをアピールできると良いと思う。お年寄りの知恵を生かし、三河万歳、安城たこ作り等安城にしか無い物を知ってもらうための活動も行ってほしい。	女性	50歳代	安城南中
市民ギャラリーに長く勤務している女性事務員の傲慢で冷たい態度、事務管理に細かい。皆、言いたくないから黙っているが、いいかげんにしてほしい。市民のギャラリーである。	女性	70歳以上	安城西中

市民ギャラリーにコーヒーを持って入ったら、「お客様ここでは」と。飲み物くらい持って入れるといいと思う。	男性	50歳代	安祥中
学校の代休はいつも月曜である。月曜に図書館や公民館が開いているとありがたい。一部では金曜代休の学校もあり、家族で旅行に行きやすい、と聞いた。その案もいいと思う。	男性	40歳代	安城南中
施設の場所が集中しないよう考えてほしい。同じ市で同じ税金を払っているのに、利便性に差が出るのはおかしい。地域によって納税額が違うならわかるが。	男性	40歳代	安城北中
桜井図書館の職員、接客をしっかりと。民間企業では考えられない態度である。どこにもそれが言えず、市民は我慢している。それで良い給料をもらっていると思うと本当に本当に腹が立つ。他の人も同意見である。	女性	30歳代	桜井中
スポーツセンター等の利用料を少しでも安くしてもらえたら嬉しい。	男性	20歳代	安城南中
歴史博物館・文化センター・公民館・図書館はすべて月曜休みで休館日の曜日を変えてほしい。	男性	60歳代	安城西中
歴史博物館・文化センター・市役所横の公園・秋葉公園・中央図書館をよく利用するが、二本木から遠くて不便。(二本木:刈谷市民かと思う時あり)	男性	60歳代	安城西中
学校行事が土日開催の場合、ほとんどが月曜日代休になる。公共施設(図書館・マーメイドパレス等)が月曜休館のため利用できない。休館日の曜日を変更してもらえたら、空いていて子ども達も有意気に利用できると思う。	女性	30歳代	桜井中
老若男女利用できるようにバリアフリーは必要。コミュニケーションをもつ。気軽に参加できるように重荷に感じさせない。	女性	40歳代	安城北中
町内には高齢者の方がたくさんおられる。その方々が気軽に立ち寄り、皆さんと談笑したり、時間を気にしないで自由に利用できる施設のようなものがあれば良いと思う。	女性	50歳代	安城西中
間28など、施設の利用時間等、柔軟に考えて欲しい。トヨタ、木金操業など安城市としてもサービスの内容の対応が必要では。公務員はサービス残業を自覚して仕事して欲しい。	男性	40歳代	篠目中
学校が代休になる月曜日に市の施設の多くが休日でお休みになっている。代休はたまにしかないから、運営する側には関係ないかもしれないが、利用する側からしてみたら不便ではない。体育館・スポーツセンター・堀内公園・各公民館・図書館等、子どもが休みでも利用できない。なんとかならないものか。	女性	40歳代	安城北中
新しい設備を使ったり、勉強しやすい場所をもっと増やして欲しい。	女性	10歳代	安城西中
硬式野球の練習場がなく困っている。市内に一か所でもあれば助かる。	男性	40歳代	桜井中
デンパークは安城市民の税金で賄われているので効率のいい運営が必要だと思う。	女性	50歳代	篠目中
公共施設の設備が分からない、またはどこにあるのか分からない。	男性	40歳代	安城北中
里町小学校区には、ソフトボール・フットベースボール等が行えるグラウンド(公園)がない。北部小学校区には東栄グラウンド・高根グラウンド・浜屋グラウンドがあり、里町小学校区は子ども会活動でグラウンドがないため、2時間単位で小学校のグラウンドを使用している。不公平をなくして欲しい。	男性	40歳代	東山中
近所に「市民交流センター」ができたので、利用する機会を楽しみにしていたが、今のところほとんど利用する機会がない。駐車場もたくさんあるし、建物も立派なのに一体だれが利用するのか?無駄な事をしている、と言うのが多くの近隣住民の意見。	女性	30歳代	安城北中
安城市には、土ではなくタータンの陸上競技場があって嬉しい。	女性	10歳代	安城西中
<b>交通 (7件)</b>			
<b>性別      年齢      中学校区</b>			
あんくるバスの本数が少ないと聞いた。道路上では、自動車学校など、一定の時間に運行するバスをよく見かける。うまく活用できると良い。	女性	40歳代	安城南中
三河安城駅、えびせん家族、図書館、安城更生病院辺りの道路の朝夕の混雑を解消してほしい。	男性	60歳代	安城南中
名鉄安城駅前に自転車専用道が出来たが、以前より混んでしまい困っている。普通車は2台並べたのに、それができなくなったからだ。ちゃんと調査してから整備してほしい。	女性	70歳以上	東山中
交通安全道路:民家の前の木がすごく大きくなってぼさぼさになっているため、自動車が来ている事がわからず視界が悪くて困る。小さな子供や小学生の自転車が見難い。大きな事故にならないよう調査をお願いしたい。	女性	50歳代	安城北中

JR 三河安城駅に快速列車を停車させてほしい。	女性	50歳代	安城西中
公共施設を利用するためには新安城駅発のあんくるバスの増便をお願いしたい。	女性	70歳以上	わからない
一般道路が異常に狭いところがある。小川町内にて。	男性	60歳代	桜井中
防災・防犯（9件）	性別	年齢	中学校区
防災、災害時の役割分担、自治体、町内単位等でいざという時のための準備を。安城市民全員がどこのコミュニティに属しているかを連絡したり把握してもらおう。	男性	50歳代	安城北中
ウォーキング・ランニングする人が多くいる。この人たちから交通ヒヤリ、ハット箇所、環境美化の悪い所の情報を得るようにすればと思う。	男性	60歳代	安城北中
地域パトロール員として、帽子等で目立つようにすればどうか。	男性	60歳代	安城北中
震災後、人と人との絆の大切さを痛感している。皆で住みやすいまちづくりを進めていけると良いと思う。防災についても見直していかなければいけないと思っている。	女性	50歳代	安城北中
犯罪に関して未だ発生し、安心したまちにはなっていない。市をあげて【0ゼロ】にする位の活動をみせてほしい。市民は無駄なお金を払っている訳ではない。	男性	40歳代	東山中
三河安城駅周辺に住んでいるが、夜中まで騒音に悩まされている。パトロールをお願いしたい。	女性	50歳代	安城西中
防犯、交通ルールに関しての市民協働には警察にも大いに参加してもらおうことが大事と思う。	男性	60歳代	桜井中
夜間のパトロールをよく見る機会がある、とてもいい。	女性	50歳代	東山中
学校の付き添いも子どもたちの安全にとっても良い(60歳以上の仕事になって良いこと)。	女性	50歳代	東山中
環境・美化（6件）	性別	年齢	中学校区
町内の美化を推進したい。いつも近所の方が掃除しているので、小学校や中学校で各地区のゴミ拾い活動を試みる。	男性	50歳代	安城北中
一言だが、この最近家の回りとか道路に犬のふんが転がっていて本当に嫌な思いをしている。私の近くに「犬のふんは持ち帰りましょう」と看板をボランティアで色んなところにおいて活動していた方がいた。その時は、目がそちらへ行くのか、ふんのしっばなしは少なかったように思う。犬を飼うならモラルを守ってほしいと常々思っている。市からそういう看板でもいいので、所々に置いて飼い主の意識を高めてほしいと思う。	女性	50歳代	安城南中
ゴミを燃やしている、洗濯物が臭くなる。小川町内にて。	男性	60歳代	桜井中
自宅周辺は犬の散歩コースに利用されているが、フンの始末など飼い主の『基本マナー』が不足している。レベルアップの施策を行政も支援願いたい。環境美化・衛生意識向上が必要。	男性	60歳代	桜井中
三河安城駅南側(岡刈線あたり)のムクドリについて対策は考えているのか。市報等で知らせていただけると嬉しい。	女性	30歳代	わからない
家の前、溝をきれいにする町内一斉掃除、消毒も良い。	女性	50歳代	東山中
ゴミ（10件）	性別	年齢	中学校区
ゴミの分別に努力しており、一覧表を見ても分からない物もあり悩む。市役所へ出かけた折に、相談に乗ってもらった。各支所に月に1度時間を決め、駐在指導をしていただくとか、分別に悩むコーナーを設け、回答をいただく場所があれば助かるのだが。	男性	60歳代	明祥中
市民協働についてではないが、「可燃ごみ」の袋を元(大きく)戻してほしい。これまで使っていたゴミ箱がゴミになってしまう。	女性	40歳代	安城南中
行政、地域によってゴミの分別が異なるか？モデル地域を設定する意図が理解できず。	男性	50歳代	明祥中
市の資源ごみ回収、子ども会ポスターを書いて回収日が分かれば協力するようにしている。他の日は小学校区、中学校区ごとに尋ねて、とあるが、広報などで知らせてもらえれば協力する。	女性	40歳代	安城南中
ゴミの分別ができていない家があるが、個人的なことなので言えなくて困っている。ゴミのマナーができていない家に限って、町内会の寄付金を一切出さない。	女性	60歳代	安城北中

ゴミステーションの場所は、町内会が管理しているから市役所では分からない、と言われた。こういう内容を町内会にさせるのは行政の怠惰である。	男性	30歳代	篠目中
町内はグリーンベルトがきれい。郊外に行くと雑草が気になる位、伸びている。ゴミステーションの汚れが気になる。まち並みが汚い(裏通り)。永久的にごみ出す作業は続くのに、地面にごみ袋とカラス除けのネットの山と言うのは見苦しいと思うが、ゴミ箱の設置(碧南参考)というのは金銭的にも場所的にも大変なのか？	女性	60歳代	安城西中
ゴミだしのマナーが悪く、他町内から置いていかれる方もいれば中身がぐちゃぐちゃに入っているため、回収されず残っているものもある。特にゴミ置き場の近所の方は大変迷惑だと思う。名前記入を義務付ける等何か対策はないか。	男性	40歳代	桜井中
燃えるごみの日のカラス被害が多くあり困る。以前テレビで「カラスは黄色い袋では中身が見えにくい」と言っていた。燃えるゴミとプラ、入れ替えてみると効果ないか。	女性	30歳代	桜井中
燃やせるごみの出し日に多い所は何日も多く、少しの所は少しのときがあるが、市から提供される害鳥網は同じ大きさだと思う。	女性	70歳以上	東山中
<b>子育て・教育 (9件)</b>	<b>性別</b>	<b>年齢</b>	<b>中学校区</b>
小学生や幼児を持つ親(特に母親)の育ちからくるものか、常識があまりにもずれていて、わが子の言動に対して良い悪いすら言わない。町内、地域など小さい単位で親の成長のため、市として今まで以上に講演会や問題を抱えている家庭の親への教育活動の場を与えてほしいと思う。何をやっても問題がある家庭の親は参加しない、問題を抱えているわけではない親ほど、より良くしたい、勉強したいと思ひ、興味を示していると思う。どうしたら本当に伝えたい、勉強してほしい親子に参加してもらえるか、町内会、市、地域の皆のアイデアを出し合える場をつくってほしい。	女性	40歳代	安城南中
1歳の子どもがいるので、子育て支援を推進してほしい。予防接種など受けた方が良いとされる現在有料のものについては無料化してほしい。保育園などもなかなか入れないと聞く。入園できるようにしてほしい。	女性	30歳代	安祥中
以前住んできた所より子育てへの補助が手厚いと感じる。市と市民が一体となって住みやすい環境を整えるという取り組みは素晴らしいことと思う。こちらに転入する際の手続きで市役所に伺った時、職員の丁寧な対応には大変好感が持てた。節電のため、役所内が暑そうだが、体調に気をつけて職務にあたられてほしい。	女性	30歳代	安祥中
子どもは宝である。教育の公平を実現すべく、私学助成を手厚くしていただくようお願いする。	女性	40歳代	安城南中
学校の各教室に扇風機を設置してほしい。 授業中はタオルを巻いたり、扇ぐことが禁止だそうで汗が止まらないとのこと。	女性	30歳代	桜井中
色々な面で、安城市は暮らしやすいと思う。子育ても安全もできていると感じる。	女性	50歳代	安城南中
子育て支援、よく言われるが、確かに必要な事と思うが、我々が若いころにはこんなに騒がれず無事子育てを終わりつつあるが、今の若い方は頭の中身はいいと思うが、常識的なことなど欠けていると思う。子育て支援を半分、子育て中の保護者教育支援を半分行うべき。	男性	60歳代	桜井中
保育料が高い。母子家庭なのに、生活保護ももらえないし、手当も4カ月で2万だし。もう少し保育料を何とかして欲しい。	女性	20歳代	安城南中
安城市で延長保育できる幼稚園がゼロなのはどうしてだろうか。岡崎市ではよく聞くのに。予算の問題や市民からの要望があまりないのかもしれないが、幼稚園に入れて働きたいお母さんも少なからずいると思う。検討して欲しい。	女性	20歳代	安城南中
<b>まちづくり (31件)</b>	<b>性別</b>	<b>年齢</b>	<b>中学校区</b>
家族を大切にしながら安心して暮らしていけるような町内にしてほしい。	女性	40歳代	安城西中
自転車安全、安心して走行できる道路も作ってほしい。	男性	50歳代	安城北中
桜井、里等の区画整理はかなり進んでいるが、他地域の整理が進んでいない。反対者も多いと聞くが、もう少し市の方が積極的に進められないものか？他の市町村に比べて遅れているのでは。	男性	60歳代	明祥中
安城市はとても良い市だと思う。他の市の方にも自慢できるほど。これからももっともっと自慢できる市になるよう、市民の声を生かしてほしい。	女性	40歳代	安城南中
多文化性について、国籍の違う子どもに日本の文化を教えてほしい。地域に溶け込んでいない。	男性	30歳代	安城南中

安城市に来て30年近くなるが、地元の方との交流があまり無く、会社と家の行き帰りだけで済んだように思う。来年定年になるため、安城市のことを知りたいと思う。	女性	50歳代	安城西中
私も含め、日々の生活に追われ、市民協働に関することなど考える余裕もないのが現状だと思う。市、県、国でやることの区別も難しい。その区別を市でまとめてもらい、その指示に従うよう努力するのが私にできることかと思う。不満な点が考えられないのは、現状に満足しているということもあるので、安城市の今の在り方で良いのでは、と思う。	女性	30歳代	桜井中
分かりやすい表示等、関心を持てるようなことをしてほしい。	女性	30歳代	東山中
この機会にさくら学園東南の風俗を早くとる。環境首都を目指すなら。	男性	50歳代	安城北中
トヨタ関連の会社も多く、交通の便、住環境等、大変住みやすいまちである。田畑が多い今の自然環境が変わらない施策を希望するので田畑が潰れて道路が広がったり、新しい住宅が建つと寂しい。新しく住宅地(田畑)を開発するのではなく、空き地(工場の跡地)、空き家など利用する等考えてほしい。	女性	50歳代	安城北中
子どもが喜ぶようなイベントを市民会館でやってほしい。市の運動公園等で親子で遊べるようなイベント(体を動かす、物を作る)をやってほしい。	女性	30歳代	安城北中
安城はまちもきれいだし、住みやすい所だと思う。	女性	40歳代	篠目中
都市計画を推進していくうえで、市側の担当者がころころと変わっていくのは如何なものか？10年20年のスパンで物事を考えていくうえで、人材育成を踏まえた形を望む	女性	40歳代	安城南中
福祉・スポーツ面では他町村より優れていると思う。文化面の強化もしてほしい。入場料のいる施設ではなく、自然の森のような人々が集える場所のイメージ。ボランティアで賄ってもいいと思えるようなNYのセントラルパークは理想	女性	50歳代	東山中
市民協働推進には関係ないが、土地の料金や税の優遇を実施して桜井町にたくさんのお店が出店できるようにしてまちの発展に協力してほしい。バス・電車の便がもっと増えるよう働きかけをお願いしたい。	男性	30歳代	桜井中
安城市が力を入れている地域はどんどん道路・公園などきれいなまちづくりをしていて、力を入れない地域は公園がひとつもないとか、出来れば重点的にやるのではなく満遍なく行ってほしい。	女性	30歳代	東山中
デンパークにかかる費用を、施設の充実・市内の慢性渋滞を改善することが有意義であり、優先順位は先だと思う。	女性	30歳代	安城北中
安城市は良いまちだと思う。	女性	70歳以上	安城南中
隣りにどんな人が住んでいるのかもわからない世の中。万が一の時、頼れない。マンションの住人の顔がわかる安心して暮らせる生活がしたい。	女性	30歳代	東山中
安城は住みやすくていい市だと思う。	男性	20歳代	安祥中
各町に児童館や公園(遊具のある)をおいて欲しい。私の住んでいるまちは広いのに児童館はないし(横山)公園は野球などをやるだけだっ広いグラウンドだけ。小さい子供を連れてのお散歩や地域の人と交流するのも、よその地区(町)の児童館や公園へ行っている。同じ地域のお友達ができず、他県より来た私たちにはなじみにくいまちとなっている。これから育っていくまちを作っていく子供たちのためにも住みやすい環境を整え、まずは近所の方々たちとの交流や関わりが持てる場所を設置してほしいと切に願う。	男性	30歳代	安城南中
下水道、小川町はいつごろになるか。	男性	60歳代	桜井中
近所や地域をより知っていく事によって、地域やまわりの友情や団結、地域が活性化していき、公民館や体育館などの公共施設の利用も多くなり、より安城市が良くなり、行事の利用も多くなるのでないかと思う。	男性	10歳代	安祥中
市町の安城市に対する心の中身が伝わってこない。広報誌は毎月読了しているが、身が不自由で、足(車)がなく、近所の方とも親しくならない。今の住所に引っ越してきて、一人の方と少し親しくさせてもらっているが、手伝ってもらいたいがいいにくくて市外の友人についたのんでしまい、安城の地に足が落ち着かない。片付けができず、無理してやると10時間くらいダウンしてしまう。年齢のこともあるが、住居のせいもあるのか。前のところでは、忙しかったけど、心は満たされていた。今は寂しい。都会でもなく田舎でもなく中途半端な土地柄もあるのかと思う。期待してきたのに当てが外れ残念。	女性	70歳以上	安城南中
私にもできることがあると信じている。	女性	70歳以上	安城南中
JR 駅前南側の商店街は、大須のような若い人たちや女性客が集まるようなお店や飲食店、おしゃれなカフェなどを集めた大胆な改革を強く希望する。	女性	50歳代	安城南中

年寄りの意見を無視、これからの人のために頑張って欲しい。	男性	30歳代	安城北中
商店街のグルメの店のチケットや食事をするイベントがあり、見ましたがチラシを終了してから見たので、もっと早く広告を公民館・回覧板などで知らせて欲しかった。		50歳代	桜井中
都市計画にしても、どのようになっていけるかが分からない。	男性	60歳代	安城南中
小・中学生の心の悩みを聞いたら、子どもたちが明るくのびのびとすべし。人生をエンジョイして欲しい。	女性	30歳代	安城北中
政治・経済に関心がありニュースをよく見るが、国や県のことがほとんどで市のことはまれで、関心が薄いかもしれない。市のことが一番身近な政治で大事かもしれない。	男性	60歳代	安城西中
<b>行政全般（24件）</b>	<b>性別</b>	<b>年齢</b>	<b>中学校区</b>
安城市はエコカー補助金を来年3月31日まで延長してくれたが、車自体が手に入らない。もう半年でも延長してほしい。	女性	40歳代	篠目中
近隣の各市との合併は進められるのか？観光で刈谷、知立、東浦が共同で行われるとか、なぜ安城も七夕という大きなイベントができるのに参加しなかったのか。市民としてなぜかと疑問に感じた。農協、消防、保健所が広域化しているが、早く行政も広域化してもっと住みよい安城地区にしてほしい。碧海市をつくらう。	男性	50歳代	安城北中
北明治町内会に所属しているが、露骨に選挙になると保守系の支援に変わる町内会が多いと思う。それでは多様な市民感覚から離れていくと思う。いろいろな人が町内会、消防に入るにより、一層市民協働が発展すると思う。町内会活動、市民協働にサラリーマンが忙しくて参加できないのではなく、市として、その場を提供すればもっと多くの人が参加する。	男性	50歳代	安城北中
市民あつての市役所であり、サラリーマン、個人事業者と同じ休日ではおかしいのでは。市役所は市民のためのサービス業ではないか。	男性	40歳代	桜井中
市長と直接話せる機会をもっと増やすべき。	男性	40歳代	安城西中
安城市議員と市役所職員を20～30%カットし、人件費を節約し、各家庭の省エネ施策補助費等に回し、今後の安城市、愛知県、日本の将来のため(40年後)借金の無い日本にしてほしい。安城市は大変裕福で道路整備と建屋をつくってばかり。何か無駄な金を使っているか。安城市民の1人として強く申し立てをする。	男性	50歳代	篠目中
市役所、及び市の運営に関する仕事に就く人はそれが最高のサービス業である認識を持ってほしい。「市役所に用事があるなら、仕事を休んで平日に来い」という姿勢である限り、協働はあり得ない。 大垣共立銀行前にあった五千万円といわれたステンレスアーチの行方も、何度も作りかえられる駅前通りの歩道、立派な花壇付ベンチも無くなり、コンクリートでなく、なぜ、花崗岩の縁石にする必要があるのか。各々に理由があり、なんらかで市民にも知らせているかもしれないが、良い方向にあることが分かる事業をした上で、市民の協力が得られるのではないか。	女性	50歳代	安城南中
大切な職務と思う。苦勞も多く、暑さも厳しくなるが、お体ご自愛を。	女性	40歳代	篠目中
年金からあまりお金を引かないで。	女性	70歳以上	安城北中
公務員は自分の子どもの行事などで有休ではなく、それ対応であると聞いた。子育てに力を入れてくれるのはわかるが、それは有休でいいのでは・・・？税金を使わないでほしい。	女性	30歳代	東山中
時代時代で市がすすめるべき方針を市民の同意のもと決められる市になってほしい。 今でいえば、反原発。関係ないかもしれないが姿勢を示してほしい。 あとCO2、本当に温暖化の主原因なのか？独自の調査と意見で新しい方策を打ち出してもいいのでは？	男性	30歳代	安城西中
市役所等を新幹線三河安城駅付近に移転すべきだ。	女性	50歳代	安城西中
市議員の定員と議員報酬を減らしてほしい。	女性	50歳代	安城西中
市民協働課が存在すること自体驚いた。 安城市が特殊な事情がある自治体とも思えないので幅広く意見を聞くのも大切だが、特別職員と役員のみで充分推進出来ると思う。他市では副市長からトップダウンでひとりの役人で協議を推進している。	男性	30歳代	安城西中
月に一度でいいから、市役所に来てほしい。車にも乗れず、あんくるバスも時間がかかって大変なので、話を聞いて欲しい。	男性	70歳以上	安祥中
市が今、何を行いたいかが全く分からない。	男性	20歳代	安祥中

もう先がないのではっきりさせたいことがある。私の土地を削り、市のOBの方の畑に入る道にされてしまった。元の通りにして欲しい。	女性	70歳以上	明祥中
安易にお金を出すようなことは考えるべきだと思う。	男性	30歳代	安城西中
表題とは違うかもしれないが、投票に行くごとに、何か息苦しいというか、雰囲気良くないようで(堅苦しい)。バックミュージックでも流れていればいいのにといいながら、投票する。和やかな空気が流れていると、投票場に向かう人も増えるのではないかと毎回思う。	女性	60歳代	安城北中
現在の日本の流れとして、政治家が票を持つ多数派(低・中所得者)の方を向いているので、税をしっかりと取って国や県・市が再配分する方向の話ばかりだと思う。本来日本は、資本主義なのにどんどん社会主義化していると思う。国や県市は最低限のことだけやって、後は市民に任せる方向にして、税金等を安くする方向にして欲しい。	男性	40歳代	安城北中
安城市を日本で一番税金の安い市にして欲しい。他より安ければ人が集まり、より良くなると思う。他の市と変わらないのは面白い。	男性	40歳代	安城北中
名称の改善、簡単な一言の表現 例:暮らしを支える条例。全ての名称を簡略化すると良い。	男性	70歳以上	桜井中
市側がお役所仕事というイメージを払拭するほどの意識改革がなければ変わらないと思う。	男性	30歳代	安祥中
国政や県政でも同様だが、いざと言う時に(今回は困難だが)機能していないように思う。色々な検討議会ばかり立ち上げたり、マスコミにしても肝心の被災地優先とは言いがたい行動ばかりが目立ったように感じた。本書にもあったが、市政に関しても政と言うか祭りごとに見え、いわゆる茶番かな。	男性	60歳代	安城南中
<b>アンケート (12件)</b>	<b>性別</b>	<b>年齢</b>	<b>中学校区</b>
安城市へ来て3カ月。分からない事ばかりであった。力になれなくて。	女性	30歳代	安城西中
今回のアンケートは私にとってはとても難しく、お役に立たず、申し訳ない。	男性	70歳以上	安城西中
アンケートの結果と結果に関してどう考え対応していくのか教えてほしい。	男性	40歳代	安城北中
20年余り安城市に居住しているながら、外のことがわからず申し訳ない。	女性	70歳以上	安城北中
アンケートに答えづらい問題がある。	男性	30歳代	安城南中
【市民協働】についての知識が全くなくアンケートに回答する時困った。具体的な資料を同封してもらえると良かった。	女性	40歳代	東山中
今回このアンケートに答えるためにインターネットで自治基本条例や協働推進条例に目を通したり、市民活動センターのイベント情報を見て、私にも何かできることがあるかもと思った。有意義な機会をくださってありがとう。よくできたアンケートだと思う。	女性	40歳代	東山中
後期高齢者で、病気で声を失っているため、種々の機会を与えていただいても出席できないので、アンケートの回答も満足にはできないのでよろしく。	男性	70歳以上	篠目中
アンケートの内容を参考にさせていただきたい。今回、アンケートに答えさせていただいたことで、安城市が取り組んでいることが知ることができた。良い機会をいただけて良かった。自分が住んでいる町に対して関心を持つことができたので、このようなアンケートはとてもいい方法だと思う。	女性	20歳代	安城北中
アンケートの内容が、いきなりの割に専門的すぎないか。市民目線から内容を簡単にしないと回収率が10%と思われ、幅広い意見を集めることができず、結果に偏りがみられることにならないか。	男性	40歳代	安城北中
アンケートに回答しましたが、あまり画期的な意見がなく、お役にたつのか…。	女性	30歳代	篠目中
市民協働に関して、意見を求める前にこのアンケートの提出の期限が短すぎる。協働が「暮らしやすいまちづくりをみんなで進めること」なら、短期間のこんな質問で分かるのかと思う。書く時間を確保する前に、考える時間を作る前にすごい酷だと思った。安城は良いところもいっぱいあるし、市長さんも素敵だと思うけど、市民の声とか、市民と協働するってこういうことなんだ、と未成年ながら、大変だと思った。	女性	10歳代	安城北中
<b>その他 (3件)</b>	<b>性別</b>	<b>年齢</b>	<b>中学校区</b>
大丈夫である。	男性	20歳代	安城北中
具体的に意味が良く分かっていないので、アイデアができない。	女性	70歳以上	明祥中
現在、病気。	男性	70歳以上	安祥中

## 市民協働に関するアンケート調査のお願い

「最近“きょうどう”っていう言葉を聞くけれど、私には関係ない？」

いいえ、日常的にみなさんが関係していることです。

例えば、ゴミ。一人ひとりがごみ出しのルールを守らなかったら、

家の周りも、まちの中も汚れてしまいます。

みんなが環境を守り、気遣い、協力しあうこと、

それが協働のまちづくりのはじまりです。

さあ、いよいよ協働のまちづくりの開幕です。

**主役はあなた！！**

### 《調査へのご協力をお願いします》

安城市では、市民が主役の自治の実現を目指し、「安城市自治基本条例」「安城市市民参加条例」を制定しました。現在、さらに「市民協働」を推進するため「協働に関する指針」づくりを始めており、のちには市民協働推進条例の制定も目指しています。

このアンケート調査は、指針策定の基礎資料にするとともに、協働によるまちづくりを推進する各施策へ市民の皆様のご意見を反映させるために実施します。この調査票は、安城市在住の16歳以上の方を対象として、無作為に2,000人を選ばせていただきお送りしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査にご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

平成23年7月

安城市長 神谷 学

### ご回答にあたってのお願い

#### 調査票の取扱い

この調査票は、「市民協働」に関する施策策定の目的だけに使われるもので、それ以外の目的に使うことはありません。

#### 記入方法

ご記入は、封筒あて名のご本人をお願いします。ただし、ご本人が何らかの事情で答えられない場合は、ご家族等と相談のうえお答えください。

設問の回答は、ご自身の考えに近い項目を選び、番号に○印を記入してください。

#### 回答期限

ご記入いただいたこの調査票は7月15日（金）までに、同封している返信用封筒（切手は必要ありません）に入れて、投函してください。

お問い合わせ 安城市役所 市民生活部 市民協働課 市民協働係

電話：0566-71-2218（直通） / FAX：0566-76-1112



**問5** あなたが現在お住まいの中学校区はどこですか。【○は1つ】  
中学校区がわからない場合は、ご住所をお書きください。

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1. 安城南中学校          | 2. 安城北中学校 |
| 3. 明祥中学校           | 4. 安城西中学校 |
| 5. 桜井中学校           | 6. 東山中学校  |
| 7. 安祥中学校           | 8. 篠目中学校  |
| 9. わからない（ _____ ）町 |           |

**ここに注意！！**

中学校区が分からないときは、お住まいの町名を書いてね。



**問6** 安城市にお住いになって何年ですか。【○は1つ】

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満        | 2. 1年以上～3年未満   |
| 3. 3年以上～5年未満   | 4. 5年以上～10年未満  |
| 5. 10年以上～20年未満 | 6. 20年以上～30年未満 |
| 7. 30年以上       |                |

ここからが  
本番だよ！  
一緒に頑張ろう☆



安城市マスコットキャラクター  
「サルビー」

**教えてサルビー！ .....**  
**「協働ってなぜ必要なの??」**

私たちが暮らしているまちを、より安全で快適な住みよいまちにしたいっていうのは、みんなが思っていることだよ。

一人でやったら時間がかかるし、行きづまることもあるけれど、みんなで行ったら助けあうことができ、市民だけ、行政だけ、事業者だけではできなかったことが、お互いを活かしあうことで、できるようになるんだ。

協働を推進することで、私たちのニーズにあったサービスが受けられたり、地域の連帯感や絆が強まったり、生きがいが増えたり、いろいろな相乗効果が期待できるんだよ。

② お住まいの地域における活動についておたずねします。

問7

あなた(あるいはご家族)は、町内会に加入していますか。

【〇は1つ】

1. 加入している ⇒問8へ

2. 加入していない ⇒問7-1へ

問7で「2. 加入していない」と回答した方へおたずねします。

問7-1 あなたが町内会に加入していない理由は何ですか。

【〇は1つ】

1. 現住所に長く住むつもりがないから
2. 会費が高いから
3. 役や当番をこなすのが時間的に困難だから
4. 加入する方法がわからないから
5. 加入する意義が感じられないから
6. その他(具体的に )

ここに注意!!

問7の回答によって、  
答える問題が違うよ。  
要チェック!



教えてサルビー!

### 「地域を支える“町内会”」

安城市には、79の町内会があり、生活に密接な自主活動を行っているんだ。  
いざと言うときに頼りになるのは、やっぱり同じ地域に住んでいる周囲の人たち。町内会に加入して、快適なくらしをしよう!

### 「総合型地域スポーツクラブ」

「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができる新しいスポーツクラブのこと。市内では Anjo ほく部みんスポクラブ(東山中学校区)などがあるよ!!

【5つの特徴】

- ① 複数の種目のスポーツができる。
- ② 地域のだれでもが年齢、技術レベル、体力に応じたスポーツ活動ができる。
- ③ 活動の拠点となるスポーツ施設、休憩施設があり、情報交換もできる。
- ④ 質の高い指導者のもと、個々のスポーツニーズに応じた指導ができる。
- ⑤ 会費やスポンサーなどによる活動資金を基に、地域住民が主体的にクラブ運営をしている。

全ての方へおたずねします。

問8

あなたは、地域における活動にどのように関わっていますか。  
【〇は①～⑧のそれぞれで1つつ】

ここに注意！！

8つの設問に回答してね！



	役員を経験したことがある	参加したことがある	関わっていない
①消防団や地域防災などの防災活動	1	2	3
②青色パトロールや防犯教室などの防犯活動	1	2	3
③地域福祉委員会や民生委員などの福祉活動	1	2	3
④ごみ減量や公園美化などの環境活動	1	2	3
⑤芸能や手芸などの文化・趣味活動	1	2	3
⑥野球チームやグラウンドゴルフなどのスポーツ活動	1	2	3
⑦子ども会、PTA、スクールガードなどの青少年育成活動	1	2	3
⑧広く地域の課題に取り組む自主グループ活動	1	2	3

問9

あなたは、地域における活動が必要だと思いますか。【〇は1つ】

1. 必要だと思う
2. ある程度必要だと思う
3. あまり必要ではない
4. 必要ではない
5. どちらともいえない



「地域における活動」  
のここがポイント！

地域で行われているお祭りや、清掃活動、運動会などを見たり、参加したことはありませんか？

安城市では、主に町内会が地域で行われているさまざまな活動を担ってくれているんだよ。



問12

あなたがお住まいの地域の課題を考えたときに、「町内会」が担うべき活動は何だと思いますか。【〇はいくつでも】

- 1. 祭り・盆踊り
- 2. 運動会・スポーツ大会
- 3. 地域施設の維持・管理
- 4. 防火・防災
- 5. 防犯・交通安全
- 6. 清掃・衛生
- 7. 自然環境の保護
- 8. まちの美化（花壇づくりなど）
- 9. ごみ減量・リサイクル
- 10. 子育ての支援
- 11. 青少年育成
- 12. 高齢者介護の支援
- 13. 高齢者の生きがいづくり
- 14. 障害者の社会参加支援
- 15. 多文化共生\*
- 16. 歴史・文化の保全
- 17. わからない
- 18. その他（具体的に )



「地域の課題」のここがポイント！

お住まいの地域が抱えている問題・課題は何があるか、地域を見わたしてみよう。

協働のはじめの一步は、意識改革から。まずは地域に関心を持つことから始めてみよう。



「多文化共生」のここがポイント！

「多文化共生」とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、外国人と日本人とが、共に地域で生きていくことなんだ。

③ ボランティア・NPO等への参加状況・意向についておたずねします。

問13

あなたは、ボランティア・NPO等の活動にどのように関わっていますか。【〇は1つ】

- 1. 参加した（している）ことがある } ⇒問13-1へ
- 2. 活動の発足、組織運営に関わった（ている）ことがある } ⇒問13-1へ
- 3. 関わったことはない（ていない）が、今後は関わってみたい ⇒問13-2、問13-3へ
- 4. 関わったことはなく（ていない）、今後も関わるつもりはない } ⇒問14へ
- 5. わからない }



教えてサルビー！

「NPO法人」（特定非営利活動法人）

「NPO」とは、NonProfit（非営利）Organization（団体組織）の略。みんなの利益になることを活動の目的として、利益の追求をしない自主的な団体のことをいうんだよ。

安城市に事務所をおくNPO法人は29団体あるよ。（平成23年5月末）

問13で「1. 参加した(している)ことがある」  
「2. 活動の発足、組織運営に関わった(ている)ことがある」と  
回答した方へおたずねします。

問13-1 それはどんな活動ですか。特に力を入れているものを教えてください。【〇は3つ】

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 祭り・盆踊り       | 2. スポーツ活動の推進      |
| 3. 地域施設の維持・管理   | 4. 防火・防災          |
| 5. 防犯・交通安全      | 6. 清掃・衛生          |
| 7. 自然環境の保護      | 8. まちの美化（花壇づくりなど） |
| 9. ごみ減量・リサイクル   | 10. 子育ての支援        |
| 11. 青少年育成       | 12. 高齢者介護の支援      |
| 13. 高齢者の生きがいづくり | 14. 障害者の社会参加支援    |
| 15. 多文化共生※      | 16. 歴史・文化の保全      |
| 17. わからない       |                   |
| 18. その他（具体的に    | ）                 |

**ここに注意！！**

問13の回答によっ  
て、答える問題が違  
うよ。要チェック！



問13で「3. 関わったことはない(ていない)が、今後は関わってみたい」と  
回答した方へおたずねします。

問13-2 どんな活動をしたいですか。特に活動したいものを教えてください。【〇は3つ】

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 祭り・盆踊り       | 2. スポーツ活動の推進      |
| 3. 地域施設の維持・管理   | 4. 防火・防災          |
| 5. 防犯・交通安全      | 6. 清掃・衛生          |
| 7. 自然環境の保護      | 8. まちの美化（花壇づくりなど） |
| 9. ごみ減量・リサイクル   | 10. 子育ての支援        |
| 11. 青少年育成       | 12. 高齢者介護の支援      |
| 13. 高齢者の生きがいづくり | 14. 障害者の社会参加支援    |
| 15. 多文化共生※      | 16. 歴史・文化の保全      |
| 17. わからない       |                   |
| 18. その他（具体的に    | ）                 |

もう一息！  
がんばろう！！



問13で「3. 関わったことはない(ていない)が、今後は関わってみたい」と回答した方へおたずねします。

問13-3 今後どのようなことが整えば、ボランティア・NPO等の活動に参加したいと思いますか。【〇は3つ】

1. 時間の余裕ができれば
2. 健康状態がよくなれば
3. 一緒に活動する仲間が見つければ
4. 家族など周囲の理解が得られれば
5. 自分の関心のある内容であれば
6. 活動の機会があれば
7. 金銭的な負担がなければ
8. その他（具体的に )

ここに注意！！

問13の回答によって、答える問題が違います。要チェック！



全ての方へおたずねします。

問14

お住まいの地域で考えたとき、「町内会」と「ボランティア・NPO等」が、地域における活動をどのように役割分担することが望ましいですか。【〇は1つ】

1. 「町内会」が主に行うのがよい
2. 「ボランティア・NPO等」が主に行うのがよい
3. お互いが協力するのがよい
4. 内容によって、お互いが役割を分担し合うのがよい
5. 得意分野で別々に行うのがよい
6. わからない



協働の「役割分担」のここがポイント！

町内会、ボランティア・NPO等で、得意分野は様々だよね。それぞれが自分の得意な分野で十分に力を発揮するためには、役割分担をする方法もあるよ。

お互いが、それぞれに必要なとされるところで力を発揮すれば、新しいサービスや、きめ細かいサービスを提供することもできるんだ。

#### ④ 条例の認知度についておたずねします。

問15

あなたは安城市に「自治基本条例」があることをご存知ですか。【〇は1つ】

1. 内容をある程度知っている
2. 内容はわからないが名前を聞いたことがある
3. 知らない



ウェブサイトもみてね!!【安城市 自治基本条例】で検索  
<http://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/joreikeikaku/jichikihon/>



#### 「自治基本条例」の ここがポイント!

自治基本条例は、いわば「安城市の憲法」!!  
自分たちのまちを自分たちの手で育てていくという、「自治」のための基本的なルールを定めたものなんだ。

問16

あなたは安城市に「市民参加条例」があることをご存知ですか。【〇は1つ】

1. 内容をある程度知っている
2. 内容はわからないが名前を聞いたことがある
3. 知らない



ウェブサイトもみてね!!【安城市 市民参加】で検索  
<http://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/siminsankatokyodo/sankatokyodo.html>



#### 「市民参加条例」の ここがポイント!

市民のみんなが、まちづくりに主体的に参加できるように、市民参加の手法を定めたものなんだ。



### 教えてサルビー!! ..... 「市民参加ってどうすればいいの?」

みんなは、できたてホヤホヤの「市民参加条例」を知っているかな。この条例は、市民のみんなの考えや思いを届ける役割を持っているんだ。

具体的な参加の方法としては、①パブリックコメントによる意見の提出②市民と市が意見交換・審議をする場へ参加③アンケートやモニター、フォーラム、シンポジウムに参加④市民政策提案手続（10人以上の市民の連署をもって市に政策を提案）があるよ。

### 「ダンボールコンポスト」

みんなは安城市が「環境首都」を目指して、様々な活動を行っていることを知っているかな? そのうちの一つがごみの減量化。安城市の家庭ごみの40%は生ごみが占めているんだ。そこで有効なのが「ダンボールコンポスト」による生ごみの堆肥化なんだ。ダンボールコンポストは臭わないし、省エネで経済的、さらにダンボール箱の中身がほとんど増えないという優れものなんだ。みんな、地球にやさしい生活をしよう!



環境戦隊サルビアン

⑤ 施策への市民の意見の反映状況についてお訪ねします。

問17

安城市では、「市民の意見」が十分市政に反映されている  
と思いますか。【○は1つ】

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 思う      | 2. やや思う |
| 3. あまり思わない | 4. 思わない |

もうすぐ終わり。  
最後まで  
がんばって！



問18

どのようにしたら、市の施策に「市民の意見」がよりよく反  
映されると思いますか。【○は1つ】

1. 市が市民の声をよく聞く
2. 市民が市政に関心を持つ
3. 市民が参加できる場を広げる
4. その他（具体的に )

問19

安城市では、「市民参加の機会」が十分に用意されている  
と思いますか。【○は1つ】

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 思う      | 2. やや思う |
| 3. あまり思わない | 4. 思わない |

「ワークショップ」  
ってなに？



共同作業を通して、市民  
の多様な意見を引き出  
しながら、一定の方向性  
を見出すための会議の  
ことだよ。

問20

あなたは、どのようなかたちで市政に参加したいと思いま  
すか。【○はいくつでも】

1. 審議会、懇話会などの委員になる
2. 説明会などに出席して意見を述べる
3. ワークショップに参加して議論する
4. アンケートなどに回答する
5. 市長への手紙で意見を提出する
6. パブリックコメントで意見を提出する
7. その他（具体的に )

「パブリックコメント」  
ってなに？



市が施策の立案などを  
行うときに、市民の意見  
を聞くことだよ。  
市政に関心を持ってい  
る人から広く意見をも  
らうことで、行政の透明  
性を確保しながら、市民  
参加によるまちづくり  
を推進しているんだ。

## ⑥ 協働の機会、内容、方法についてお訪ねします。

問21

あなたは、「市民協働」をご存知でしたか。  
【〇は1つ】

1. 内容をある程度知っている
2. 内容はわからないが名前を聞いたことがある
3. 知らない



「市民協働」ってなに？

市民のみんなと安城市がお互いに知恵と力を出し合い、得意な部分を活かしながら、暮らしやすいまちづくりを進めていくことだよ。

問22

あなたは、安城市が「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」づくりを進めていることをご存知でしたか。  
【〇は1つ】

1. 知っていた
2. 知らなかった



協働に関する指針とは？

「安城市自治基本条例」での「協働」の定義に基づいて、協働のまちづくりを進めるためのそれぞれの役割や具体的方法をまとめるものだよ。

問23

あなたは、今後策定される「市民協働推進条例」の内容や策定の過程について関心がありますか。【〇は1つ】

1. とても関心がある
2. 少し関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない



「市民協働推進条例」のここがポイント！

協働のまちづくりを推進するための姿勢や、市の取組みをより明確にするための条例だよ。安城市は、この条例をつくるために、がんばっているんだ。

問24

「協働に関する指針」や「市民協働推進条例」の制定によって、どのような効果を期待しますか。【〇は1つ】

1. 市民と市の協働によるまちづくりが推進される
2. 市民の自治意識が向上し、地域のコミュニティ意識が高まる
3. 市民の役割が明確になり、市民の主体的なまちづくり活動ができるようになる
4. 行政の役割が明確になり、市民とともに市政が行われるようになる
5. 市のイメージアップにつながる
6. その他（具体的に )

問25

各分野で市民協働を進めるうえで、市民—安城市の役割はどのようにすべきだと思いますか。【○は①～⑭のそれぞれで1つずつ】

ここに注意！！

14問と回答数が多いけど  
頑張ろう！



市民が主体的に行う	安城市と市民が協働して行う	安城市が主体的に行う	わからない
-----------	---------------	------------	-------

【文化・芸術又はスポーツの振興】				
①スポーツや芸術、生涯学習に関する活動	1	2	3	4
【地域の防犯・防災活動の推進】				
②パトロールなどの交通安全や防犯に関する活動	1	2	3	4
③火災や災害に備えた消防や防災に関する活動	1	2	3	4
【環境の保全】				
④水辺や森林などの自然の保全に関する活動	1	2	3	4
⑤道路の清掃や花植えなど環境美化に関する活動	1	2	3	4
⑥ごみの減量やリサイクルなどの環境に関する活動	1	2	3	4
【まちづくりの推進】				
⑦公民館や公園など地域施設を管理・運営する活動	1	2	3	4
⑧イベントの開催など地域活性化のための活動	1	2	3	4
⑨地域情報の発信に関する活動	1	2	3	4
【子育て支援】				
⑩子育て相談や緊急時の預かりなど子育てを支援する活動	1	2	3	4
【福祉の増進】				
⑪日常の安否確認や外出支援など高齢者を支える活動	1	2	3	4
⑫点訳や要約筆記、手話通訳など障害者を支える活動	1	2	3	4
【国際交流の推進】				
⑬通訳やホームステイなど国際交流に関する活動	1	2	3	4
【食料・農業・交流の推進】				
⑭農業体験や地産地消、食育などに関する活動	1	2	3	4

問26

「協働のまちづくり」を推進するために、安城市は市民や地域へどのような施策・取組みを行う必要があると思いますか。  
【〇は3つまで】

1. 市政に関する情報をわかりやすく公開する
2. 活動の拠点となる場所を提供する
3. まちづくりの活動に参加できる機会を提供する
4. 活動団体に対して資金面で支援する
5. ボランティア保険など活動中の事故への対応を確立する
6. 活動に対して表彰するなど、社会的評価を高める
7. まちづくりを行う人材育成のための研修や講習会など、学習の機会を充実させる
8. 町内会などの地域団体と市役所との連携を強化する
9. 町内会などの地域団体とボランティア・NPO等との交流を推進する
10. 市民や地域のまちづくり活動に対する指導・助言を行うコーディネーターを育成・派遣する
11. その他（具体的に )



教えてサルビー！！

### 「協働に関する指針を考える市民会議」 (略称：あんねっと)

市民と市職員で結成した市民会議「あんねっと」では、市政への「市民参加」の具体的な方法やルール、「協働」を推進するための指針づくりの検討を毎月行っているんだ。その内容は、市公式ウェブサイトで見ることができるよ。市のトップページのキーワード検索で、『あんねっと』と入力すると、活動の様子や『かわらばん「あんねっと新聞」』が掲載されているから、ぜひ見てね！！



あんねっとの会議の様子

《安城市ウェブサイト》

<http://www.city.anjo.aichi.jp/>

★検索手順★

『ホーム』－『市政情報』

－『市民参加と協働』

－『協働に関する指針を考える市民会議』

⑦ 市民が活動しやすい公共施設のあり方についてお訪ねします。

問27

あなたが過去1年間に利用したことがある公共施設を教えてください。【〇は当てはまるもの全て】

1. 市民交流センター（市民活動センター）
2. 文化センター（中央公民館）
3. 地区公民館
4. 市民会館
5. 中央図書館
6. 青少年の家
7. 体育館・スポーツセンター・マーメイドパレス
8. 歴史博物館（市民ギャラリー）
9. 総合福祉センター（社会福社会館）
10. 地区福祉センター
11. 環境学習センター（秋葉いこいの広場）
12. あんぱ〜く（子育て支援センター）
13. 安祥閣
14. 勤労福社会館

問28

市民がより活動しやすい公共施設として、どのような施設運営を行う必要があると思いますか。【〇は3つまで】

1. 施設によって休館日の曜日を変える
2. 開館時間を長くする
3. 施設設備を充実させる
4. 職員の対応・マナー・説明をよくする
5. 利用手続きの仕方を簡単にする
6. 料金を見直す
7. わからない

やったね！！  
忘れずに投函  
してね。



問29

市民協働を推進するためのアイデアやご意見など、ご自由にお書きください。

**アンケートは以上で終わりです。**

**長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。**

**最後に記入漏れや回答ミスがないか、もう一度ご確認をお願いいたします。**

**集計結果につきましては、**

**協働のまちづくりの基礎データとして有効に活用させていただきます。**

